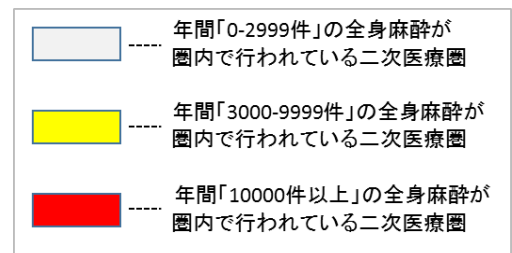
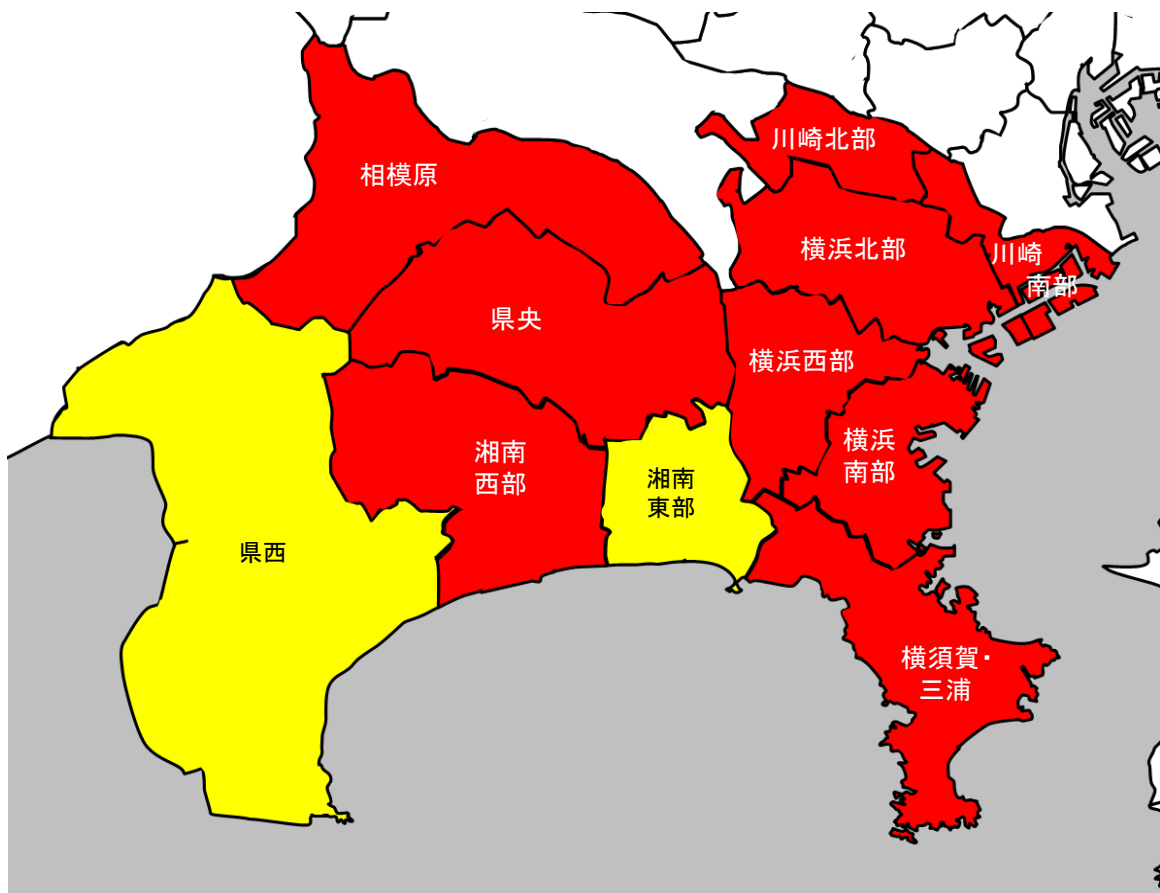


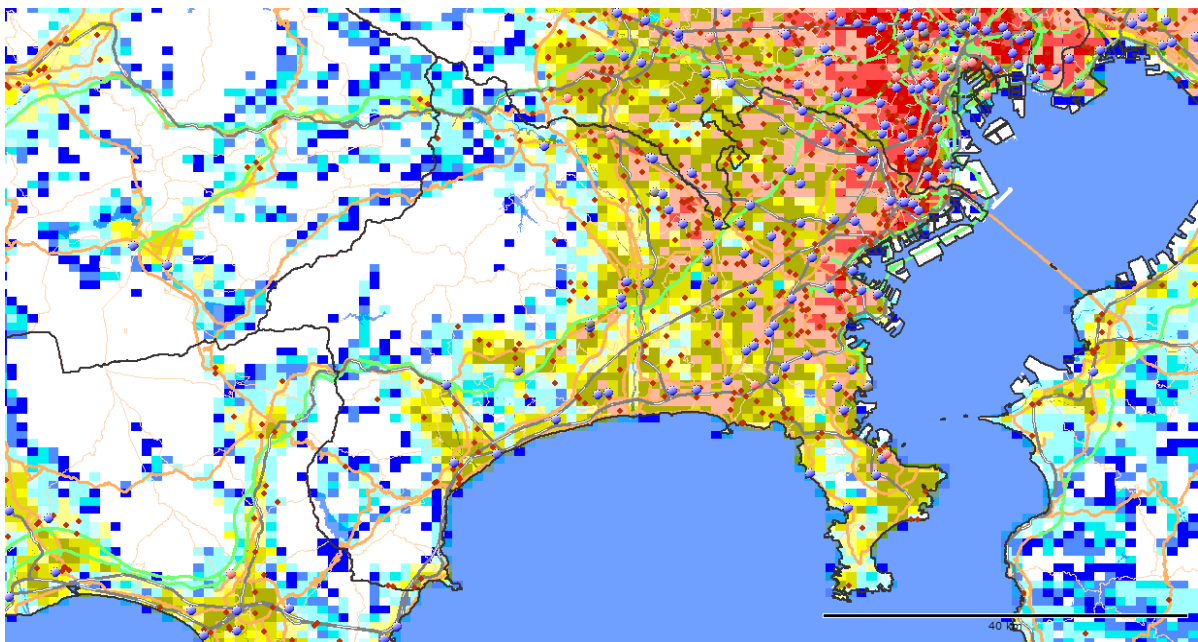
14. 神奈川県



目次

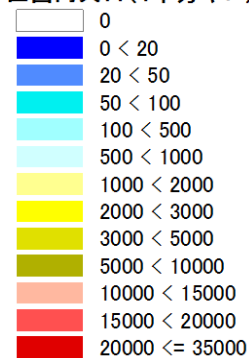
神奈川県	14	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	14	-	8
1. 横浜北部医療圏	14	-	26
2. 横浜西部医療圏	14	-	31
3. 横浜南部医療圏	14	-	36
4. 川崎北部医療圏	14	-	41
5. 川崎南部医療圏	14	-	46
6. 横須賀・三浦医療圏	14	-	51
7. 湘南東部医療圏	14	-	56
8. 湘南西部医療圏	14	-	61
9. 県央医療圏	14	-	66
10. 相模原医療圏	14	-	71
11. 県西医療圏	14	-	76

14. 神奈川県

人口分布(1km²区画単位)

1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS
Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(神奈川県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 神奈川県は、総人口約9,126千人(2015年)、面積2,416km²、人口密度は3,778人/km²である。

*人口の将来予測： 神奈川県の総人口は2025年に9,070千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に8,541千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の993千人が、2025年にかけて1,467千人へと増加し(2015年比+48%)、2040年には1,555千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 神奈川県の一人当たり医療費(国保)は330千円(偏差値46)、介護給付費は233千円(偏差値44)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 神奈川県の一人当たり急性期医療密度指数は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数は0.5で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46(病院医師数46、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は41と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 神奈川県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、116,060人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が56,293床(偏差値46)、高齢者住宅等が59,767床(偏差値61)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、79,459人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム69、軽費ホーム47、グループホーム50、サ高住47である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、13,137人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-15%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移

【人口と医療需要】

神奈川県の総人口は、2005年8,791,597人が、2015年に9,126,214人と4%増加し、2025年の人口が9,069,562人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に20%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

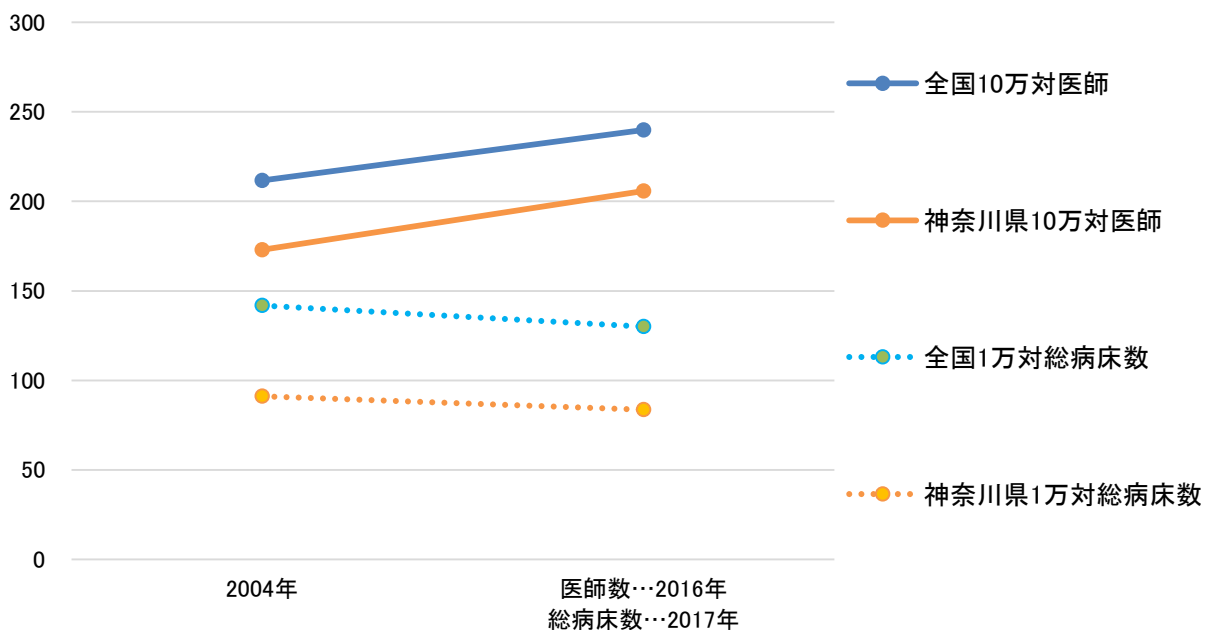
2004年の病院数が357(人口10万人当たり4.1病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2017年に338(人口10万人当たり3.7病院(全国平均6.6)偏差値44)となり、13年間で19病院が減少した。

2004年の診療所数が5,977(人口10万人当たり68診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2017年に6,661(人口10万人当たり73診療所(全国平均80)偏差値46)と、684診療所が増加した。

2004年の総病床数が80,171床(人口1万人当たり91(全国平均142)偏差値41)であったが、2017年に76,366床(人口1万人当たり84(全国平均130)偏差値41)と、3,805床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が15,209人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2016年に18,784人(人口10万人当たり206人(全国平均240人)偏差値46)と、3,575人の増加、率にして24%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

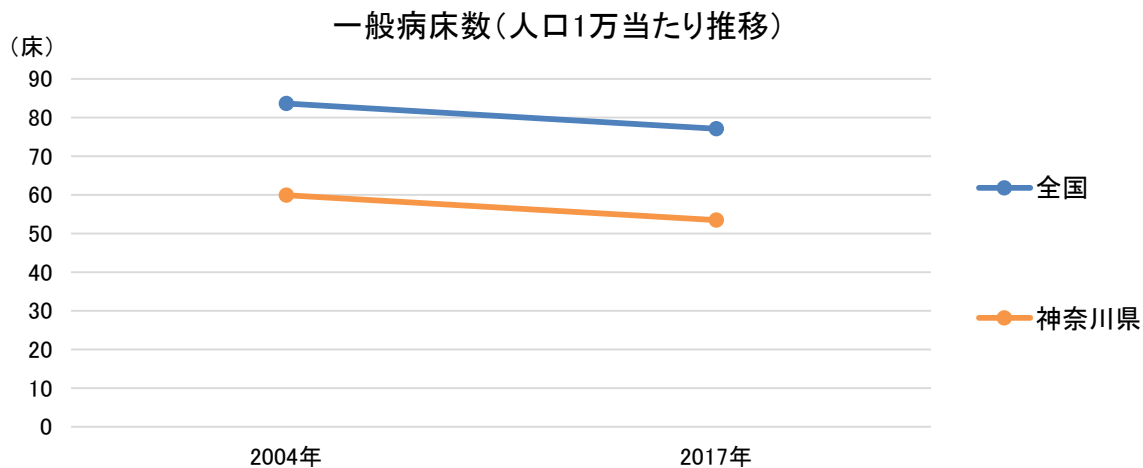
人口当たり医師数・総病床数の推移



14.神奈川県(2018年版)

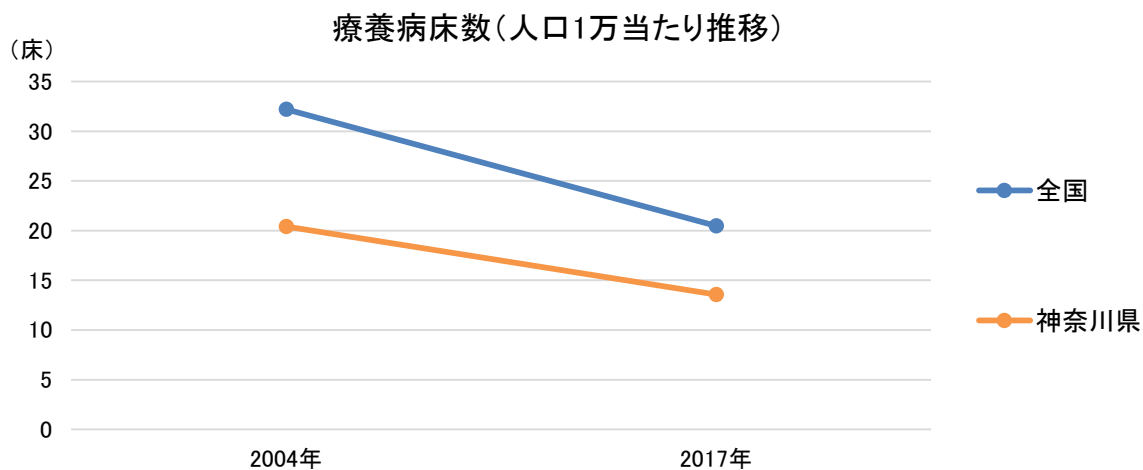
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が52,665床(人口1万人当たり60(全国平均84)偏差値42)であったが、2017年に48,791床(人口1万人当たり53(全国平均77)偏差値41)と、3,874床の減少、率にして7%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



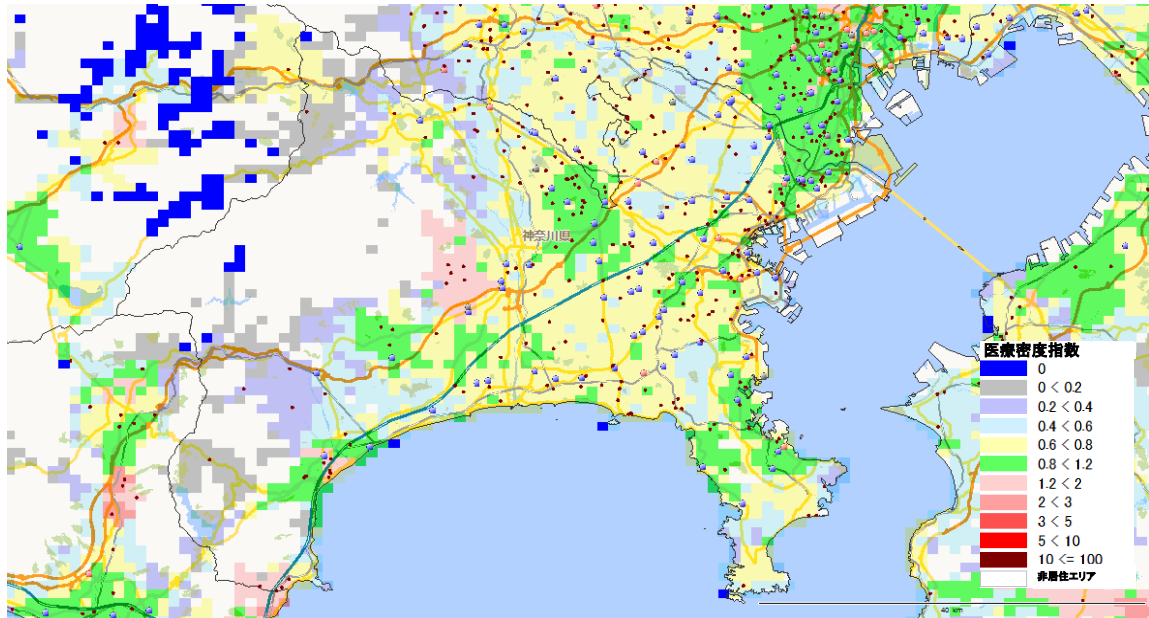
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が12,221床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2017年に13,460床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均20)偏差値44)と、1239床の増加、率にして10%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



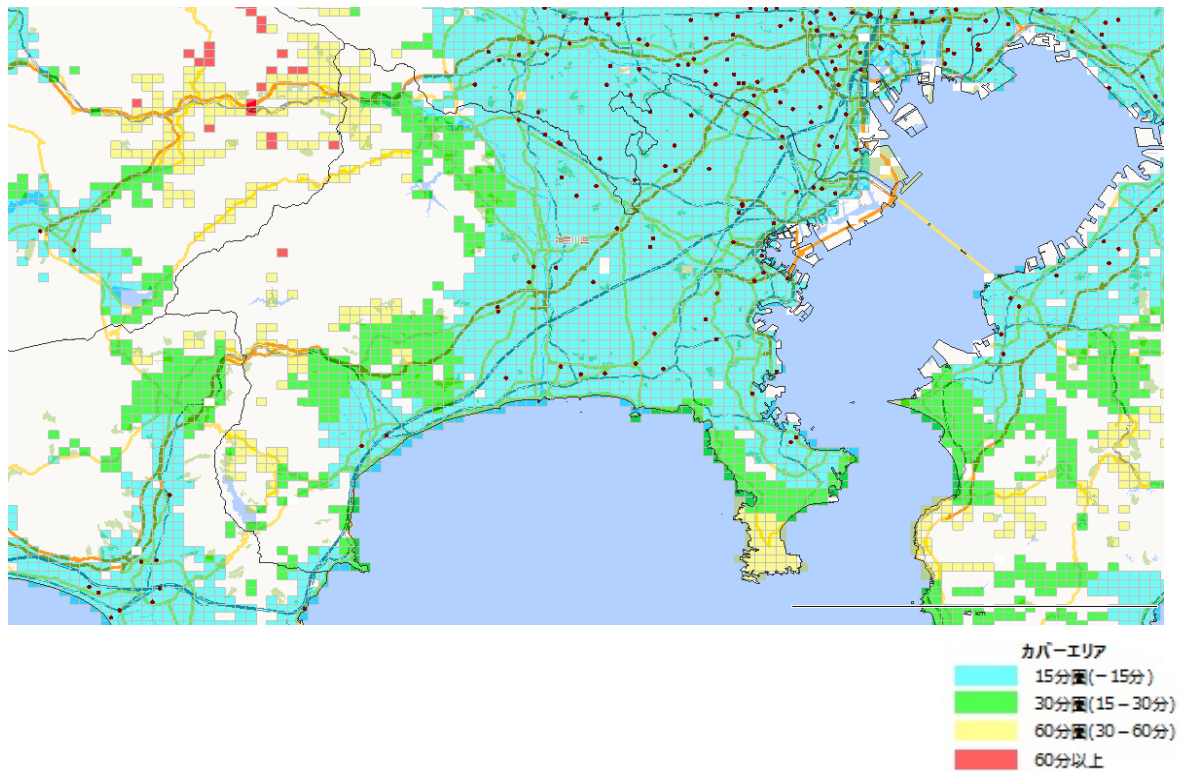
(神奈川県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



14.神奈川県(2018年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 14-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
神奈川県	9,126	2位	2,416	43位	3,777.7		24%	9,070	8,541	993	1,467	1,555	-1%	-6%	48%	6%
横浜北部	1,570	17%	177	7%	8,873.8	大都市型	20%	1,635	1,641	142	218	263	4%	0%	54%	21%
横浜西部	1,105	12%	138	6%	7,994.2	大都市型	26%	1,075	987	136	192	198	-3%	-8%	41%	3%
横浜南部	1,050	12%	122	5%	8,582.8	大都市型	26%	1,005	902	127	178	175	-4%	-10%	40%	-2%
川崎北部	843	9%	79	3%	10,714.1	大都市型	20%	876	873	76	121	148	4%	0%	59%	22%
川崎南部	632	7%	64	3%	9,828.8	大都市型	19%	670	689	57	76	83	6%	3%	33%	9%
横須賀・三浦	714	8%	207	9%	3,453.4	大都市型	31%	661	564	106	138	124	-7%	-15%	30%	-10%
湘南東部	711	8%	119	5%	5,995.9	大都市型	24%	724	701	78	117	126	2%	-3%	50%	8%
湘南西部	587	6%	253	10%	2,316.7	大都市型	26%	560	490	67	106	108	-5%	-13%	58%	2%
県央	846	9%	293	12%	2,888.4	大都市型	24%	833	767	82	134	135	-2%	-8%	63%	1%
相模原	721	8%	329	14%	2,193.1	大都市型	24%	711	658	73	121	131	-1%	-7%	66%	8%
県西	347	4%	635	26%	546.6	地方都市型	30%	320	268	48	65	63	-8%	-16%	35%	-3%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月

資_図表 14-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
神奈川県	0.74	0.50	105,218	120,881	-14.9%
横浜北部	0.73	0.49	15,777	18,553	-17.6%
横浜西部	0.75	0.25	17,797	16,329	8.2%
横浜南部	0.75	0.37	9,345	15,550	-66.4%
川崎北部	0.70	0.28	11,403	9,776	14.3%
川崎南部	0.86	0.35	4,624	6,110	-32.1%
横須賀・三浦	0.67	0.56	10,161	11,202	-10.2%
湘南東部	0.75	0.79	6,619	9,092	-37.4%
湘南西部	0.86	0.67	7,227	8,486	-17.4%
県央	0.76	0.93	7,998	10,817	-35.3%
相模原	0.64	0.82	8,618	9,730	-12.9%
県西	0.68	1.01	5,649	5,236	7.3%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375))
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 14-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
神奈川県	330	46	0.960	116	44	0.878	188	50	1.009	233	44
横浜北部	308	41	0.934	108	42	0.850	175	42	0.981	249	49
横浜西部	345	50	0.985	120	46	0.892	198	56	1.039	249	49
横浜南部	359	53	1.004	123	47	0.894	208	61	1.069	249	49
川崎北部	316	43	0.968	111	43	0.882	180	45	1.019	251	50
川崎南部	330	46	1.021	122	46	0.980	184	47	1.048	251	50
横須賀・三浦	347	50	0.968	117	44	0.846	204	59	1.043	238	46
湘南東部	318	43	0.916	108	42	0.810	184	47	0.974	205	36
湘南西部	334	47	0.939	123	46	0.894	187	49	0.964	211	38
県央	319	44	0.931	113	43	0.860	182	46	0.975	195	33
相模原	319	44	0.936	114	43	0.868	180	45	0.974	218	40
県西	353	51	0.982	132	49	0.950	195	54	0.999	216	39
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 14-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
神奈川県	842	44	0.944	374	41	0.851	430	51	1.029
横浜北部	881	47	0.983	393	43	0.885	446	55	1.068
横浜西部	841	44	0.945	369	41	0.842	432	51	1.032
横浜南部	852	44	0.955	365	40	0.829	447	55	1.069
川崎北部	903	49	1.020	403	44	0.923	460	58	1.107
川崎南部	934	51	1.047	436	48	0.982	462	59	1.113
横須賀・三浦	831	43	0.925	349	39	0.781	445	55	1.065
湘南東部	804	40	0.907	350	39	0.800	417	47	1.002
湘南西部	820	42	0.918	395	43	0.895	394	41	0.940
県央	773	38	0.886	346	39	0.817	390	41	0.941
相模原	790	39	0.900	354	39	0.829	397	42	0.954
県西	831	43	0.932	394	43	0.890	406	45	0.975
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

14.神奈川県(2018年版)

資_図表 14-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
神奈川県	338	4.0%	3.7	44	6,661	6.6%	73	46
横浜北部	49	14%	3.1	42	1,247	19%	79	50
横浜西部	49	14%	4.4	45	844	13%	76	48
横浜南部	35	10%	3.3	43	886	13%	84	52
川崎北部	20	6%	2.4	41	517	8%	61	40
川崎南部	19	6%	3.0	42	461	7%	73	46
横須賀・三浦	29	9%	4.1	44	531	8%	74	47
湘南東部	23	7%	3.2	43	569	9%	80	50
湘南西部	22	7%	3.7	44	385	6%	66	42
県央	32	9%	3.8	44	541	8%	64	42
相模原	37	11%	5.1	47	419	6%	58	39
県西	23	7%	6.6	50	261	4%	75	48
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 14-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
神奈川県	6,661	6.6%	73	46	6,442	6.8%	71	48	219	3.0%	2.4	45
横浜北部	1,247	19%	79	50	1,200	19%	76	51	47	21%	3.0	46
横浜西部	844	13%	76	48	821	13%	74	50	23	11%	2.1	44
横浜南部	886	13%	84	52	869	13%	83	55	17	8%	1.6	43
川崎北部	517	8%	61	40	502	8%	60	42	15	7%	1.8	43
川崎南部	461	7%	73	46	445	7%	70	48	16	7%	2.5	45
横須賀・三浦	531	8%	74	47	503	8%	70	48	28	13%	3.9	47
湘南東部	569	9%	80	50	552	9%	78	52	17	8%	2.4	44
湘南西部	385	6%	66	42	372	6%	63	44	13	6%	2.2	44
県央	541	8%	64	42	519	8%	61	43	22	10%	2.6	45
相模原	419	6%	58	39	407	6%	56	41	12	5%	1.7	43
県西	261	4%	75	48	252	4%	73	49	9	4%	2.6	45
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 14-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(481)	98,355		77	(94)	1,653,234		1,301	(537)
神奈川県	73,844	4.7%	809	41	2,522	2.6%	28	45	76,366	4.6%	837	41
横浜北部	8,892	12%	566	36	530	21%	34	45	9,422	12%	600	37
横浜西部	10,503	14%	950	44	208	8%	19	44	10,711	14%	969	44
横浜南部	8,217	11%	783	41	146	6%	14	43	8,363	11%	797	41
川崎北部	5,785	8%	686	39	176	7%	21	44	5,961	8%	707	39
川崎南部	5,030	7%	796	41	146	6%	23	44	5,176	7%	819	41
横須賀・三浦	6,046	8%	846	42	354	14%	50	47	6,400	8%	896	42
湘南東部	4,827	7%	679	39	197	8%	28	45	5,024	7%	706	39
湘南西部	6,294	9%	1,072	47	197	8%	34	45	6,491	8%	1,106	46
県央	6,511	9%	770	41	319	13%	38	46	6,830	9%	808	41
相模原	7,642	10%	1,060	47	148	6%	21	44	7,790	10%	1,081	46
県西	4,097	6%	1,180	49	101	4%	29	45	4,198	5%	1,209	48
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 14-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,865		701	(223)	325,228		256	(203)	331,700		261	(210)
神奈川県	46,411	5.2%	509	41	13,318	4.1%	146	45	13,875	4.2%	152	45
横浜北部	5,921	13%	377	35	2,023	15%	129	44	948	7%	60	40
横浜西部	5,980	13%	541	43	1,334	10%	121	43	3,163	23%	286	51
横浜南部	6,365	14%	606	46	685	5%	65	41	1,091	8%	104	43
川崎北部	3,452	7%	409	37	813	6%	96	42	1,520	11%	180	46
川崎南部	4,295	9%	680	49	445	3%	70	41	238	2%	38	39
横須賀・三浦	4,042	9%	566	44	1,068	8%	149	45	930	7%	130	44
湘南東部	2,957	6%	416	37	951	7%	134	44	913	7%	128	44
湘南西部	3,502	8%	597	45	1,228	9%	209	48	1,508	11%	257	50
県央	3,979	9%	471	40	940	7%	111	43	1,586	11%	188	47
相模原	3,875	8%	538	43	2,732	21%	379	56	1,029	7%	143	44
県西	2,043	4%	588	45	1,099	8%	317	53	949	7%	273	51
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

14.神奈川県(2018年版)

資_図表 14-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期リハビリ病棟病床数				地域包括ケア病棟病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	73,895		58	(63)
神奈川県	3,716	4.6%	41	45	2,725	3.7%	30	45
横浜北部	585	16%	37	44	411	15%	26	45
横浜西部	494	13%	45	46	318	12%	29	45
横浜南部	511	14%	49	47	335	12%	32	46
川崎北部	220	6%	26	42	86	3%	10	42
川崎南部	207	6%	33	43	239	9%	38	47
横須賀・三浦	255	7%	36	44	335	12%	47	48
湘南東部	238	6%	33	44	208	8%	29	45
湘南西部	333	9%	57	49	227	8%	39	47
県央	519	14%	61	50	299	11%	35	46
相模原	245	7%	34	44	181	7%	25	45
県西	109	3%	31	43	86	3%	25	45
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資_図表 14-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
神奈川県	18,878	17,727	50	55,696	29,110	13,994	37.8%	48	0.4%	48
横浜北部	1,409	1,359	0	7,701	4,541	2,269	23.0%	42	0.0%	48
横浜西部	1,816	1,750	0	8,736	4,249	1,375	29.2%	44	0.0%	48
横浜南部	5,237	4,672	0	2,909	1,731	645	73.0%	61	0.0%	48
川崎北部	676	676	0	5,092	2,866	817	19.1%	40	0.0%	48
川崎南部	1,706	1,616	0	3,324	2,727	397	37.2%	47	0.0%	48
横須賀・三浦	1,725	1,419	50	4,358	2,733	967	34.2%	46	4.9%	50
湘南東部	937	937	0	4,128	2,066	1,149	31.2%	45	0.0%	48
湘南西部	2,073	2,017	0	4,217	1,485	1,228	57.6%	55	0.0%	48
県央	750	744	0	6,025	3,254	1,365	18.6%	40	0.0%	48
相模原	1,438	1,432	0	6,200	2,488	2,683	36.5%	47	0.0%	48
県西	1,111	1,105	0	3,006	970	1,099	53.3%	53	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覧平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 14-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
神奈川県	160,656	4.1%	1,760	45	58,944	6.4%	646	47
横浜北部	23,652	15%	1,506	44	9,072	15%	578	44
横浜西部	21,456	13%	1,942	45	7,872	13%	712	49
横浜南部	22,440	14%	2,138	46	6,228	11%	593	45
川崎北部	11,112	7%	1,317	43	4,428	8%	525	42
川崎南部	15,996	10%	2,532	48	5,340	9%	845	54
横須賀・三浦	13,224	8%	1,851	45	3,804	6%	532	43
湘南東部	11,196	7%	1,574	44	5,064	9%	712	49
湘南西部	13,080	8%	2,228	47	3,372	6%	574	44
県央	11,160	7%	1,320	43	7,044	12%	833	54
相模原	13,596	8%	1,886	45	5,016	9%	696	49
県西	3,744	2%	1,078	42	1,704	3%	491	41
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 14-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
神奈川県	18,784	6.2%	206	46	12,160	6.0%	133	46	6,624	6.5%	73	47
横浜北部	2,817	15%	179	43	1,508	12%	96	41	1,309	20%	83	51
横浜西部	2,279	12%	206	46	1,424	12%	129	46	855	13%	77	49
横浜南部	3,033	16%	289	55	2,131	18%	203	56	902	14%	86	52
川崎北部	1,682	9%	199	45	1,134	9%	134	47	548	8%	65	43
川崎南部	1,548	8%	245	51	1,038	9%	164	51	510	8%	81	50
横須賀・三浦	1,570	8%	220	48	950	8%	133	46	620	9%	87	53
湘南東部	1,225	7%	172	42	641	5%	90	40	584	9%	82	51
湘南西部	1,264	7%	215	47	1,031	8%	176	52	233	4%	40	32
県央	1,136	6%	134	38	648	5%	77	39	488	7%	58	40
相模原	1,657	9%	230	49	1,314	11%	182	53	343	5%	48	36
県西	573	3%	165	42	341	3%	98	42	232	4%	67	44
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

14.神奈川県(2018年版)

資_図表 14-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
神奈川県	1,453	6.5%	15.9	48	883	6.5%	9.7	48	760	6.8%	8.3	49
横浜北部	211	15%	13.4	45	158	18%	10.1	49	146	19%	9.3	51
横浜西部	185	13%	16.7	49	83	9%	7.5	43	90	12%	8.1	48
横浜南部	230	16%	21.9	55	176	20%	16.8	63	110	14%	10.5	54
川崎北部	158	11%	18.7	51	77	9%	9.1	47	59	8%	7.0	45
川崎南部	115	8%	18.2	51	67	8%	10.6	50	59	8%	9.3	51
横須賀・三浦	136	9%	19.0	51	55	6%	7.7	44	59	8%	8.3	49
湘南東部	102	7%	14.3	46	62	7%	8.7	46	55	7%	7.7	47
湘南西部	92	6%	15.7	48	47	5%	8.0	44	40	5%	6.8	45
県央	60	4%	7.1	38	54	6%	6.4	41	53	7%	6.3	44
相模原	133	9%	18.5	51	79	9%	11.0	51	69	9%	9.6	52
県西	31	2%	8.9	40	25	3%	7.2	43	20	3%	5.8	42
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 14-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
神奈川県	400	7.1%	4.4	50	623	6.3%	6.8	47	484	6.3%	5.3	47
横浜北部	84	21%	5.3	54	101	16%	6.4	46	88	18%	5.6	48
横浜西部	50	13%	4.5	51	81	13%	7.3	49	53	11%	4.8	45
横浜南部	66	17%	6.3	59	93	15%	8.9	53	73	15%	7.0	53
川崎北部	33	8%	3.9	48	55	9%	6.5	46	47	10%	5.6	48
川崎南部	33	8%	5.2	54	54	9%	8.5	53	44	9%	7.0	53
横須賀・三浦	34	9%	4.8	52	44	7%	6.2	45	37	8%	5.2	47
湘南東部	21	5%	3.0	43	57	9%	8.0	51	33	7%	4.6	45
湘南西部	18	5%	3.1	44	27	4%	4.6	40	31	6%	5.3	47
県央	25	6%	3.0	43	42	7%	5.0	42	28	6%	3.3	40
相模原	26	7%	3.6	46	52	8%	7.2	48	38	8%	5.3	47
県西	10	3%	2.9	43	17	3%	4.9	41	12	2%	3.5	40
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 14-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
神奈川県	616	6.7%	6.7	49	1,246	5.9%	13.7	46	1,024	6.2%	11.2	46
横浜北部	91	15%	5.8	46	158	13%	10.1	41	160	16%	10.2	44
横浜西部	96	16%	8.7	54	184	15%	16.7	50	111	11%	10.0	44
横浜南部	103	17%	9.8	58	184	15%	17.5	51	149	15%	14.2	53
川崎北部	50	8%	5.9	46	109	9%	12.9	45	88	9%	10.4	45
川崎南部	28	5%	4.4	42	109	9%	17.3	51	105	10%	16.6	58
横須賀・三浦	57	9%	8.0	52	84	7%	11.8	43	103	10%	14.4	53
湘南東部	52	8%	7.3	50	77	6%	10.8	42	57	6%	8.0	39
湘南西部	40	6%	6.8	49	90	7%	15.3	48	56	5%	9.5	43
県央	41	7%	4.8	43	88	7%	10.4	41	77	8%	9.1	42
相模原	37	6%	5.1	44	118	9%	16.4	50	85	8%	11.8	48
県西	21	3%	6.0	47	45	4%	13.0	45	33	3%	9.5	43
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 14-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
神奈川県	375	6.2%	4.1	47	398	5.9%	4.4	46	333	5.9%	3.6	47
横浜北部	54	14%	3.4	44	72	18%	4.6	47	39	12%	2.5	43
横浜西部	46	12%	4.2	47	52	13%	4.7	47	48	14%	4.3	50
横浜南部	55	15%	5.2	52	57	14%	5.4	50	43	13%	4.1	49
川崎北部	22	6%	2.6	40	38	10%	4.5	47	43	13%	5.1	52
川崎南部	27	7%	4.3	48	33	8%	5.2	50	38	11%	6.0	55
横須賀・三浦	31	8%	4.3	48	27	7%	3.8	43	25	8%	3.5	47
湘南東部	29	8%	4.1	47	20	5%	2.8	39	18	5%	2.5	44
湘南西部	27	7%	4.6	49	28	7%	4.8	48	28	8%	4.8	51
県央	31	8%	3.7	45	31	8%	3.7	43	14	4%	1.7	41
相模原	38	10%	5.3	53	25	6%	3.5	42	32	10%	4.4	50
県西	15	4%	4.3	48	15	4%	4.3	46	5	2%	1.4	40
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

14.神奈川県(2018年版)

資_図表 14-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病理 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	救急科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
神奈川県	476	6.7%	5.2	49	105	6.6%	1.2	49	295	7.8%	3.2	51
横浜北部	62	13%	3.9	45	8	8%	0.5	42	47	16%	3.0	50
横浜西部	79	17%	7.1	55	16	15%	1.4	52	30	10%	2.7	49
横浜南部	103	22%	9.8	63	19	18%	1.8	56	52	18%	5.0	60
川崎北部	35	7%	4.1	46	11	10%	1.3	50	22	7%	2.6	48
川崎南部	31	7%	4.9	48	10	10%	1.6	53	29	10%	4.6	58
横須賀・三浦	36	8%	5.0	48	7	7%	1.0	47	25	8%	3.5	53
湘南東部	31	7%	4.4	46	4	4%	0.6	43	22	7%	3.1	51
湘南西部	29	6%	4.9	48	8	8%	1.4	51	30	10%	5.1	61
県央	27	6%	3.2	43	5	5%	0.6	43	12	4%	1.4	42
相模原	36	8%	5.0	48	14	13%	1.9	57	20	7%	2.8	49
県西	7	1%	2.0	39	3	3%	0.9	46	6	2%	1.7	43
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 14-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ ーション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
神奈川県	160	7.5%	1.8	51	140	5.6%	1.5	47
横浜北部	26	16%	1.7	50	29	21%	1.8	49
横浜西部	23	14%	2.1	53	11	8%	1.0	43
横浜南部	28	18%	2.7	58	25	18%	2.4	53
川崎北部	13	8%	1.5	49	12	9%	1.4	46
川崎南部	12	8%	1.9	52	10	7%	1.6	47
横須賀・三浦	14	9%	2.0	52	10	7%	1.4	46
湘南東部	8	5%	1.1	46	12	9%	1.7	48
湘南西部	8	5%	1.4	47	14	10%	2.4	53
県央	8	5%	0.9	44	9	6%	1.1	43
相模原	15	9%	2.1	53	3	2%	0.4	39
県西	5	3%	1.4	48	5	4%	1.4	46
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 14-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
神奈川県	57,506	5.0%	630	41	46,714	5.1%	512	41	10,793	4.8%	118	42
横浜北部	8,029	14%	511	36	6,114	13%	389	36	1,915	18%	122	42
横浜西部	8,118	14%	735	44	6,644	14%	601	45	1,474	14%	133	44
横浜南部	7,841	14%	747	45	6,525	14%	622	46	1,317	12%	125	43
川崎北部	4,179	7%	495	36	3,424	7%	406	37	755	7%	90	38
川崎南部	4,814	8%	762	45	4,041	9%	640	47	773	7%	122	42
横須賀・三浦	4,116	7%	576	39	3,189	7%	446	39	927	9%	130	43
湘南東部	3,649	6%	513	36	2,802	6%	394	36	847	8%	119	42
湘南西部	4,620	8%	787	46	4,030	9%	687	48	590	5%	100	39
県央	4,514	8%	534	37	3,532	8%	418	37	982	9%	116	41
相模原	5,307	9%	736	44	4,488	10%	623	46	819	8%	114	41
県西	2,319	4%	668	42	1,924	4%	554	43	395	4%	114	41
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 14-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
神奈川県	6,135	4.4%	67	43	22,104	7.3%	242	51
横浜北部	948	15%	60	41	4,168	19%	265	53
横浜西部	931	15%	84	46	2,791	13%	253	52
横浜南部	697	11%	66	42	2,606	12%	248	51
川崎北部	372	6%	44	38	1,868	8%	221	48
川崎南部	342	6%	54	40	1,652	7%	261	52
横須賀・三浦	531	9%	74	44	1,655	7%	232	49
湘南東部	374	6%	53	40	1,763	8%	248	51
湘南西部	507	8%	86	46	1,344	6%	229	49
県央	738	12%	87	46	1,672	8%	198	46
相模原	483	8%	67	43	1,636	7%	227	49
県西	214	3%	61	42	949	4%	273	54
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

14.神奈川県(2018年版)

資_図表 14-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
神奈川県	823	5.8%	0.8	49	66	4.8%	0.1	47	691	6.3%	0.7	51
横浜北部	149	18%	1.0	54	10	15%	0.1	48	134	19%	0.9	62
横浜西部	93	11%	0.7	46	13	20%	0.1	52	100	14%	0.7	53
横浜南部	81	10%	0.6	45	8	12%	0.1	47	82	12%	0.6	49
川崎北部	61	7%	0.8	49	2	3%	0.0	42	48	7%	0.6	48
川崎南部	54	7%	1.0	52	3	5%	0.1	45	33	5%	0.6	46
横須賀・三浦	91	11%	0.9	50	6	9%	0.1	46	65	9%	0.6	47
湘南東部	88	11%	1.1	56	7	11%	0.1	51	49	7%	0.6	48
湘南西部	64	8%	0.9	52	2	3%	0.0	42	47	7%	0.7	51
県央	53	6%	0.6	45	6	9%	0.1	48	60	9%	0.7	53
相模原	43	5%	0.6	43	6	9%	0.1	50	44	6%	0.6	47
県西	46	6%	0.9	52	3	5%	0.1	47	29	4%	0.6	47
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資_図表 14-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
神奈川県	116,060	6.8%	117	58	56,293	5.6%	57	46	59,767	8.6%	60	61
横浜北部	18,115	16%	127	64	8,766	16%	62	50	9,349	16%	66	65
横浜西部	18,934	16%	139	71	10,559	19%	78	63	8,375	14%	62	62
横浜南部	9,963	9%	78	35	5,451	10%	43	35	4,512	8%	35	46
川崎北部	12,525	11%	166	87	4,332	8%	57	47	8,193	14%	108	92
川崎南部	5,309	5%	94	44	2,147	4%	38	31	3,162	5%	56	59
横須賀・三浦	10,760	9%	101	49	5,331	9%	50	41	5,429	9%	51	56
湘南東部	8,113	7%	104	50	3,708	7%	48	39	4,405	7%	56	59
湘南西部	7,995	7%	118	59	3,500	6%	52	42	4,495	8%	67	65
県央	9,032	8%	110	54	4,562	8%	55	45	4,470	7%	54	58
相模原	9,422	8%	128	65	5,180	9%	71	57	4,242	7%	58	60
県西	5,892	5%	122	61	2,757	5%	57	46	3,135	5%	65	64
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 14-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
神奈川県	19,967	5.4%	20	46	35,012	6.1%	35	50	1,314	2.2%	1.3	44
横浜北部	3,258	16%	23	51	5,338	15%	38	52	170	13%	1.2	44
横浜西部	4,112	21%	30	63	6,303	18%	46	61	144	11%	1.1	43
横浜南部	2,225	11%	17	42	3,226	9%	25	40	0	0%	0	41
川崎北部	1,539	8%	20	46	2,703	8%	36	51	90	7%	1.2	44
川崎南部	622	3%	11	30	1,525	4%	27	42	0	0%	0	41
横須賀・三浦	1,833	9%	17	41	3,472	10%	33	47	26	2%	0.2	41
湘南東部	1,316	7%	17	40	2,272	6%	29	44	120	9%	1.5	45
湘南西部	1,208	6%	18	42	2,292	7%	34	49	0	0%	0	41
県央	1,605	8%	20	45	2,957	8%	36	51	0	0%	0	41
相模原	1,271	6%	17	41	3,223	9%	44	59	686	52%	9.3	64
県西	978	5%	20	46	1,701	5%	35	50	78	6%	1.6	45
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 14-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
神奈川県	34,594	14.6%	34.8	69	769	3.3%	0.8	47	12,181	6.0%	12.3	50
横浜北部	5,006	14%	35.2	69	100	13%	0.7	47	1,905	16%	13.4	52
横浜西部	4,748	14%	34.9	69	190	25%	1.4	50	2,202	18%	16.2	57
横浜南部	2,899	8%	22.8	58	0	0%	0	43	995	8%	7.8	42
川崎北部	5,688	16%	75.3	106	214	28%	2.8	57	1,169	10%	15.5	55
川崎南部	1,640	5%	29.0	63	0	0%	0	43	812	7%	14.3	53
横須賀・三浦	3,697	11%	34.9	69	0	0%	0	43	1,100	9%	10.4	47
湘南東部	2,128	6%	27.3	62	0	0%	0	43	735	6%	9.4	45
湘南西部	2,679	8%	39.7	73	225	29%	3.3	59	666	5%	9.9	46
県央	2,210	6%	26.9	61	0	0%	0	43	840	7%	10.2	46
相模原	2,001	6%	27.2	62	40	5%	0.5	46	1,193	10%	16.2	57
県西	1,898	5%	39.2	73	0	0%	0	43	564	5%	11.6	49
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

14.神奈川県(2018年版)

資_図表 14-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)				サ高住 (非特定 施設)			
					サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)
神奈川県	12,223	5.3%	12.3	47	1,381	6.3%	1.4	50	10,842	5.2%	10.9	47
横浜北部	2,338	19%	16.4	53	0	0%	0	43	2,338	22%	16.4	55
横浜西部	1,235	10%	9.1	43	98	7%	0.7	46	1,137	10%	8.4	43
横浜南部	618	5%	4.9	37	0	0%	0	43	618	6%	4.9	38
川崎北部	1,122	9%	14.9	51	0	0%	0	43	1,122	10%	14.9	53
川崎南部	710	6%	12.5	48	25	2%	0.4	45	685	6%	12.1	49
横須賀・三浦	632	5%	6.0	38	33	2%	0.3	44	599	6%	5.6	39
湘南東部	1,542	13%	19.8	58	48	3%	0.6	46	1,494	14%	19.2	59
湘南西部	925	8%	13.7	49	157	11%	2.3	55	768	7%	11.4	48
県央	1,420	12%	17.3	54	386	28%	4.7	69	1,034	10%	12.6	50
相模原	1,008	8%	13.7	49	204	15%	2.8	58	804	7%	10.9	47
県西	673	6%	13.9	50	430	31%	8.9	92	243	2%	5.0	38
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 14-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
神奈川県	9,631	5.6%	9.7	46	6,393	5.3%	6.4	45	3,238	6.3%	3.3	51
横浜北部	1,601	17%	11.3	53	995	16%	7.0	48	605	19%	4.3	60
横浜西部	1,549	16%	11.4	54	1,043	16%	7.7	52	506	16%	3.7	55
横浜南部	979	10%	7.7	38	550	9%	4.3	35	429	13%	3.4	52
川崎北部	908	9%	12.0	57	674	11%	8.9	58	234	7%	3.1	49
川崎南部	436	5%	7.7	38	261	4%	4.6	36	176	5%	3.1	49
横須賀・三浦	818	8%	7.7	38	546	9%	5.2	39	272	8%	2.6	44
湘南東部	722	7%	9.3	44	487	8%	6.2	44	235	7%	3.0	49
湘南西部	645	7%	9.6	46	407	6%	6.0	43	238	7%	3.5	53
県央	713	7%	8.7	42	474	7%	5.8	42	239	7%	2.9	48
相模原	821	9%	11.2	53	645	10%	8.8	57	176	5%	2.4	43
県西	440	5%	9.1	44	312	5%	6.4	45	128	4%	2.6	45
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 14-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
神奈川県	92,596	6.1%	93	51	79,459	6.2%	80	51	13,137	5.9%	13.2	49
横浜北部	14,741	16%	104	59	12,565	16%	88	59	2,176	17%	15.3	53
横浜西部	14,927	16%	110	64	13,292	17%	98	67	1,635	12%	12.0	47
横浜南部	10,020	11%	79	39	8,066	10%	63	36	1,954	15%	15.4	53
川崎北部	7,876	9%	104	60	6,871	9%	91	61	1,005	8%	13.3	50
川崎南部	4,832	5%	85	44	3,830	5%	68	40	1,003	8%	17.7	57
横須賀・三浦	8,660	9%	82	41	7,434	9%	70	42	1,226	9%	11.6	46
湘南東部	6,794	7%	87	46	5,748	7%	74	45	1,047	8%	13.4	50
湘南西部	5,688	6%	84	43	4,983	6%	74	46	705	5%	10.4	44
県央	7,515	8%	91	49	6,521	8%	79	50	994	8%	12.1	47
相模原	7,376	8%	100	56	6,385	8%	87	57	991	8%	13.5	50
県西	4,168	5%	86	45	3,765	5%	78	49	403	3%	8.3	41
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 14-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療利用者数				訪問看護利用者数				訪問介護利用者数			
	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
神奈川県	112,799	9.2%	114	61	43,498	8.5%	44	60	80,737	6.6%	81	52
横浜北部	23,879	21%	168	76	8,258	19%	58	70	13,861	17%	97	59
横浜西部	10,833	10%	80	51	6,591	15%	48	63	9,034	11%	66	47
横浜南部	11,178	10%	88	54	6,134	14%	48	63	11,532	14%	91	56
川崎北部	9,778	9%	129	65	4,060	9%	54	67	6,414	8%	85	54
川崎南部	10,238	9%	181	80	2,532	6%	45	60	5,534	7%	98	59
横須賀・三浦	11,489	10%	108	59	3,088	7%	29	48	7,867	10%	74	50
湘南東部	10,291	9%	132	66	3,193	7%	41	57	7,073	9%	91	56
湘南西部	6,678	6%	99	57	2,766	6%	41	57	4,464	6%	66	47
県央	8,648	8%	105	59	2,978	7%	36	54	6,431	8%	78	51
相模原	5,905	5%	80	51	2,432	6%	33	51	6,119	8%	83	53
県西	3,882	3%	80	51	1,466	3%	30	49	2,408	3%	50	41
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

14.神奈川県(2018年版)

資_図表 14-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
神奈川県		8,791,597	9,126,214	4%	9,069,562	3%	20%	9%	30%
横浜北部	大都市型	1,442,557	1,570,303	9%	1,635,089	13%	23%	13%	39%
横浜西部	大都市型	1,080,260	1,105,037	2%	1,074,546	-1%	19%	6%	27%
横浜南部	大都市型	1,056,811	1,049,504	-1%	1,005,322	-5%	16%	5%	22%
川崎北部	大都市型	768,177	843,416	10%	875,777	14%	25%	15%	44%
川崎南部	大都市型	558,834	631,797	13%	670,119	20%	21%	10%	33%
横須賀・三浦	大都市型	736,761	714,415	-3%	661,310	-10%	12%	1%	13%
湘南東部	大都市型	671,891	711,178	6%	723,768	8%	22%	11%	35%
湘南西部	大都市型	590,691	587,047	-1%	560,205	-5%	18%	8%	27%
県央	大都市型	822,880	845,580	3%	833,158	1%	22%	10%	34%
相模原	大都市型	701,630	720,780	3%	710,539	1%	22%	11%	36%
県西	地方都市型	361,105	347,157	-4%	319,729	-11%	13%	2%	15%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口・年齢(3区分)・割合・就業者数・昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資_図表 14-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
神奈川県	357	4.1	42	338	3.7	44	-19	-5%
横浜北部	52	3.6	41	49	3.1	42	-3	-6%
横浜西部	51	4.7	44	49	4.4	45	-2	-4%
横浜南部	38	3.6	41	35	3.3	43	-3	-8%
川崎北部	18	2.3	38	20	2.4	41	2	11%
川崎南部	26	4.7	44	19	3.0	42	-7	-27%
横須賀・三浦	32	4.3	43	29	4.1	44	-3	-9%
湘南東部	23	3.4	40	23	3.2	43	0	0%
湘南西部	21	3.6	41	22	3.7	44	1	5%
県央	36	4.4	43	32	3.8	44	-4	-11%
相模原	35	5.0	45	37	5.1	47	2	6%
県西	25	6.9	50	23	6.6	50	-2	-8%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 14-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
神奈川県	5,977	68	46	6,661	73	46	684	11%
横浜北部	1,044	72	48	1,247	79	50	203	19%
横浜西部	728	67	46	844	76	48	116	16%
横浜南部	831	79	51	886	84	52	55	7%
川崎北部	419	55	39	517	61	40	98	23%
川崎南部	442	79	52	461	73	46	19	4%
横須賀・三浦	575	78	51	531	74	47	-44	-8%
湘南東部	496	74	49	569	80	50	73	15%
湘南西部	358	61	42	385	66	42	27	8%
県央	473	57	41	541	64	42	68	14%
相模原	360	51	38	419	58	39	59	16%
県西	251	70	47	261	75	48	10	4%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 14-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
神奈川県	15,209	173	45	18,784	206	46	3,575	24%
横浜北部	2,076	144	42	2,817	179	43	741	36%
横浜西部	1,760	163	44	2,279	206	46	519	29%
横浜南部	2,337	221	51	3,033	289	55	696	30%
川崎北部	1,193	155	43	1,682	199	45	489	41%
川崎南部	1,277	229	52	1,548	245	51	271	21%
横須賀・三浦	1,271	173	45	1,570	220	48	299	24%
湘南東部	954	142	42	1,225	172	42	271	28%
湘南西部	1,307	221	51	1,264	215	47	-43	-3%
県央	976	119	39	1,136	134	38	160	16%
相模原	1,507	215	50	1,657	230	49	150	10%
県西	551	153	43	573	165	42	22	4%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

14.神奈川県(2018年版)

資_図表 14-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
神奈川県	80,171	91	41	76,366	84	41	-3,805	-5%
横浜北部	9,216	64	36	9,422	60	37	206	2%
横浜西部	10,980	102	43	10,711	97	44	-269	-2%
横浜南部	9,274	88	40	8,363	80	41	-911	-10%
川崎北部	5,029	65	36	5,961	71	39	932	19%
川崎南部	5,879	105	43	5,176	82	41	-703	-12%
横須賀・三浦	7,097	96	42	6,400	90	42	-697	-10%
湘南東部	4,821	72	37	5,024	71	39	203	4%
湘南西部	7,430	126	47	6,491	111	46	-939	-13%
県央	7,409	90	41	6,830	81	41	-579	-8%
相模原	8,304	118	46	7,790	108	46	-514	-6%
県西	4,732	131	48	4,198	121	48	-534	-11%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 14-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
神奈川県	52,665	60	42	48,791	53	41	-3,874	-7%
横浜北部	6,620	46	37	6,404	41	36	-216	-3%
横浜西部	6,654	62	42	6,188	56	42	-466	-7%
横浜南部	7,247	69	45	6,511	62	44	-736	-10%
川崎北部	3,174	41	35	3,628	43	37	454	14%
川崎南部	5,034	90	52	4,441	70	47	-593	-12%
横須賀・三浦	4,954	67	44	4,381	61	44	-573	-12%
湘南東部	2,894	43	36	3,154	44	37	260	9%
湘南西部	4,159	70	45	3,695	63	45	-464	-11%
県央	5,171	63	43	4,261	50	40	-910	-18%
相模原	4,175	60	41	4,004	56	42	-171	-4%
県西	2,583	72	46	2,124	61	44	-459	-18%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 14-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

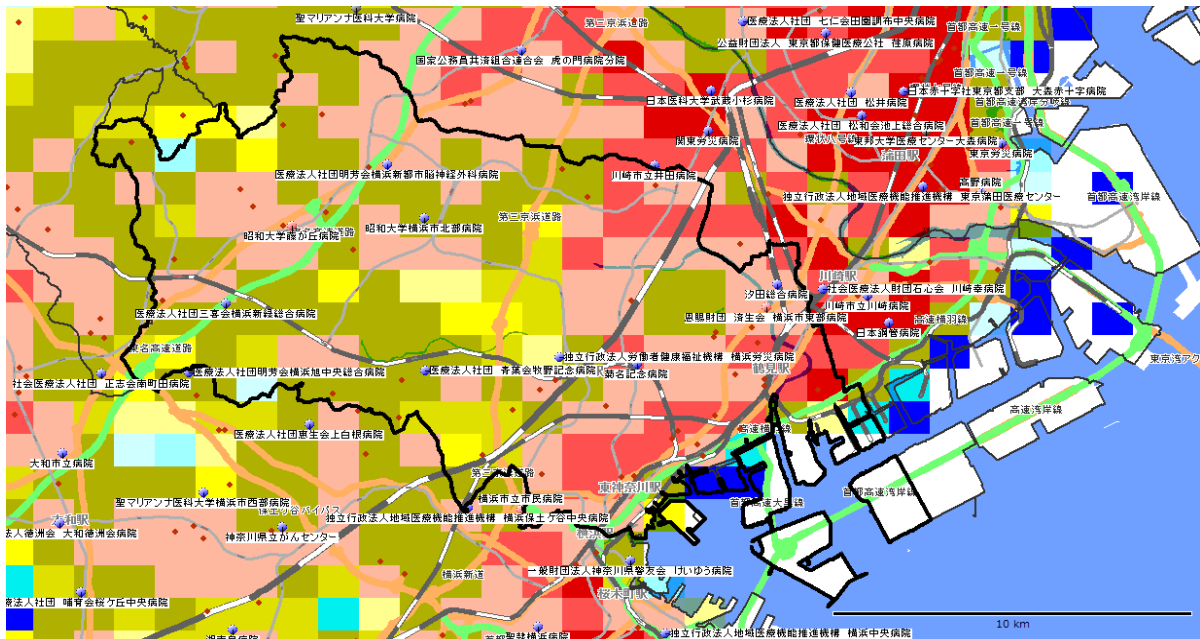
二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
神奈川県	12,221	20	43	13,460	14	44	1,239	10%
横浜北部	1,680	20	43	2,070	15	45	390	23%
横浜西部	1,099	14	40	1,334	10	41	235	21%
横浜南部	356	4	34	685	5	37	329	92%
川崎北部	569	14	40	813	11	41	244	43%
川崎南部	474	12	39	445	8	39	-29	-6%
横須賀・三浦	998	14	40	1,083	10	41	85	9%
湘南東部	952	21	43	951	12	43	-1	0%
湘南西部	1,348	32	50	1,232	18	48	-116	-9%
県央	651	15	40	977	12	42	326	50%
相模原	2,923	74	73	2,751	37	65	-172	-6%
県西	1,171	36	52	1,119	23	52	-52	-4%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

よこはまほくぶ 14-1. 横浜北部医療圏

構成市区町村 [鶴見区](#) [神奈川区](#) [港北区](#) [緑区](#)
[青葉区](#) [都筑区](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(横浜北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 横浜北部(横浜市鶴見区)は、総人口約1,570千人(2015年)、面積177km²、人口密度は8,874人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 横浜北部の総人口は2025年に1,635千人へと増加し(2015年比+4%)、2040年に1,641千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の142千人が、2025年にかけて218千人へと増加し(2015年比+54%)、2040年には263千人へと増加する(2025年比+21%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 横浜北部の一人当たり医療費(国保)は308千円(偏差値41)、介護給付費は249千円(偏差値49)であり、医療費は低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 横浜北部の一人当たり急性期医療密度指数は0.73、一人当たり慢性期医療密度指数は0.49で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数41、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は36と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は35で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。横浜北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の昭和大学横浜市北部病院(Ⅲ群)、横浜労災病院(Ⅲ群・救命)、昭和大学藤が丘病院(Ⅱ群・救命)、済生会横浜市東部病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の菊名記念病院(Ⅲ群)、500例以上のたちばな台病院(Ⅲ群)、横浜新都市脳神経外科病院(Ⅲ群)、横浜新緑総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は40で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 横浜北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18,115人(75歳以上1,000人当たりの偏差値64)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が8,766床(偏差値50)、高齢者住宅等が9,349床(偏差値65)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12,565人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム69、軽費ホーム47、グループホーム52、サ高住53である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、2,176人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-18%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(横浜北部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

横浜北部医療圏の総人口は、2005年1,442,557人が、2015年に1,570,303人と9%増加し、2025年の人口が1,635,089人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に23%増加し、2015年から2025年にかけて13%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

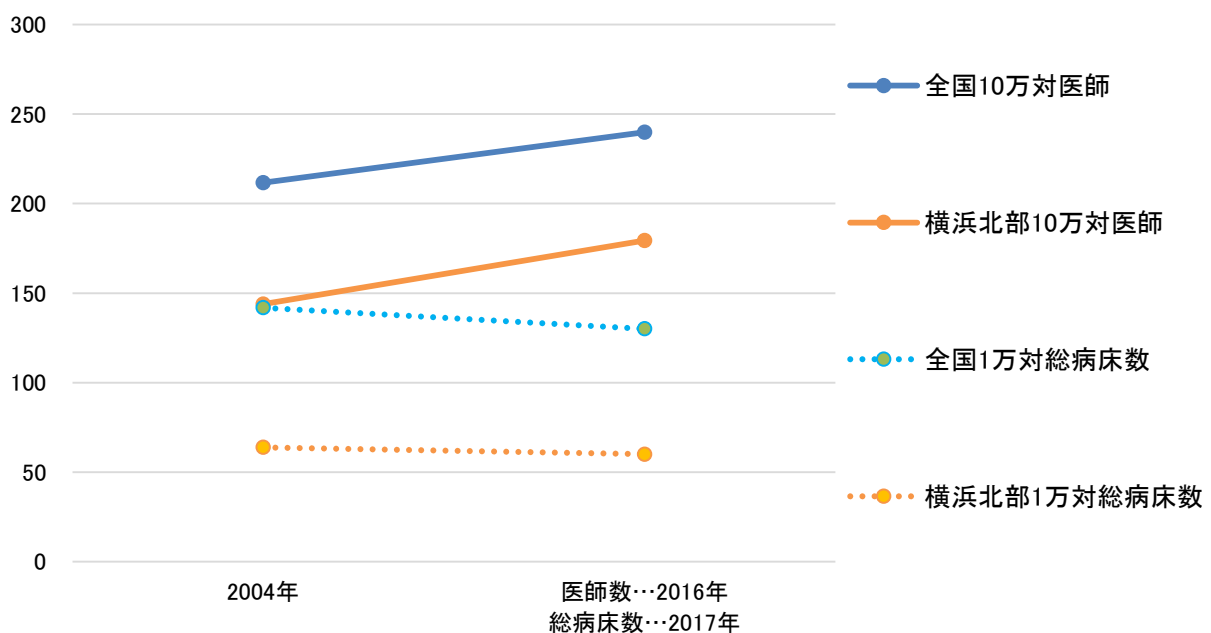
2004年の病院数が52(人口10万人当たり3.6病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2017年に49(人口10万人当たり3.1病院(全国平均6.6)偏差値42)となり、13年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が1,044(人口10万人当たり72診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2017年に1,247(人口10万人当たり79診療所(全国平均80)偏差値50)と、203診療所が増加した。

2004年の総病床数が9,216床(人口1万人当たり64(全国平均142)偏差値36)であったが、2017年に9,422床(人口1万人当たり60(全国平均130)偏差値37)と、206床の増加、率にして2%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

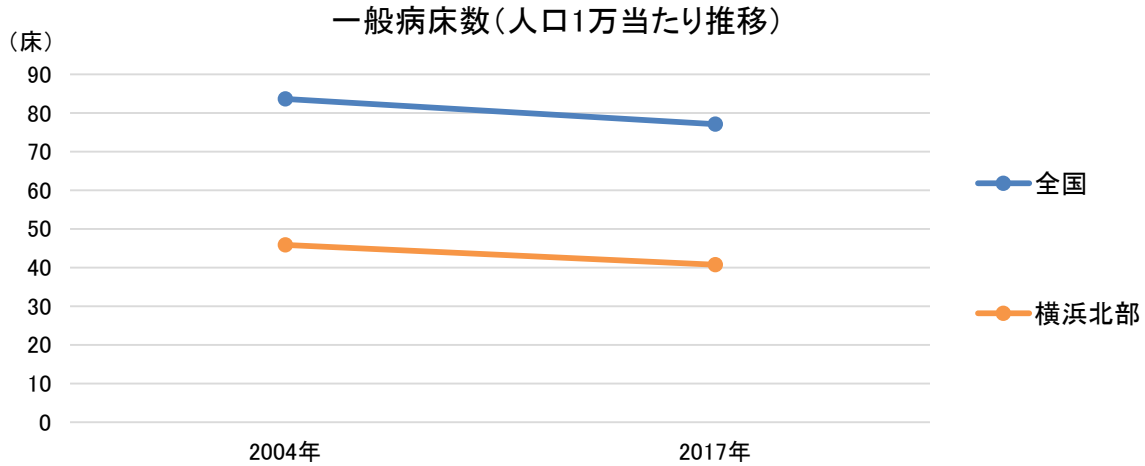
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,076人(人口10万人当たり144人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2016年に2,817人(人口10万人当たり179人(全国平均240人)偏差値43)と、741人の増加、率にして36%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



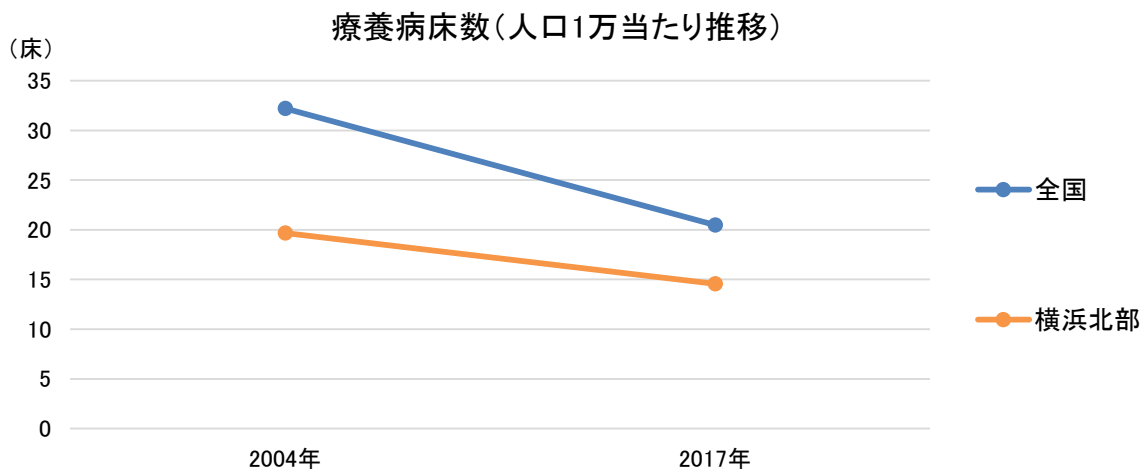
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6,620床(人口1万人当たり46(全国平均84)偏差値37)であったが、2017年に6,404床(人口1万人当たり41(全国平均77)偏差値36)と、216床の減少、率にして3%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



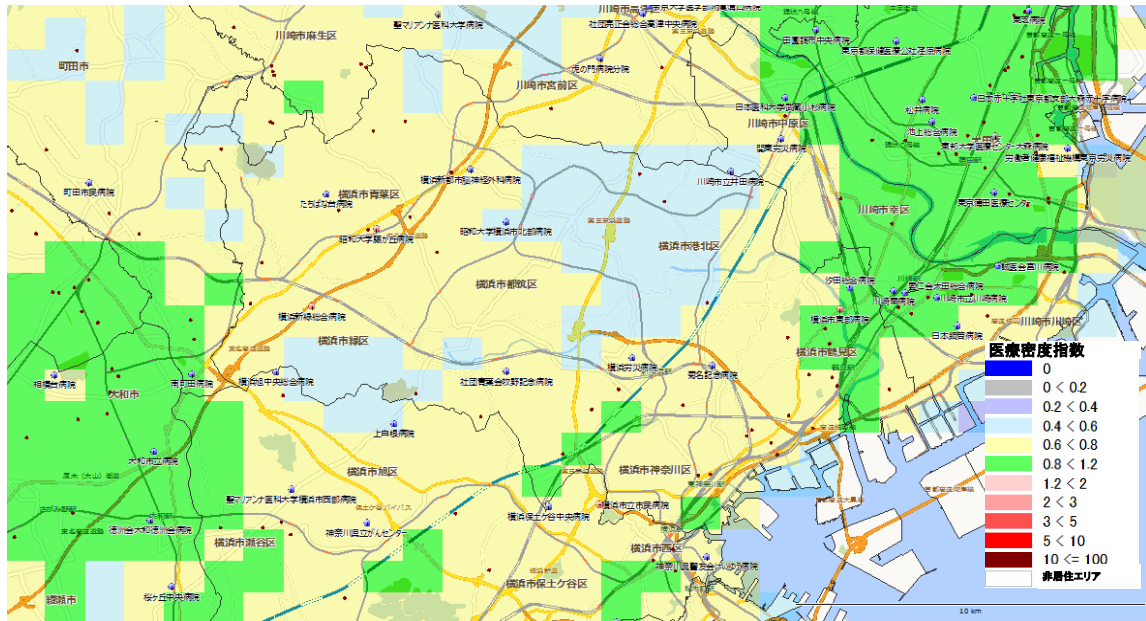
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,680床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2017年に2,070床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均20)偏差値45)と、390床の増加、率にして23%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



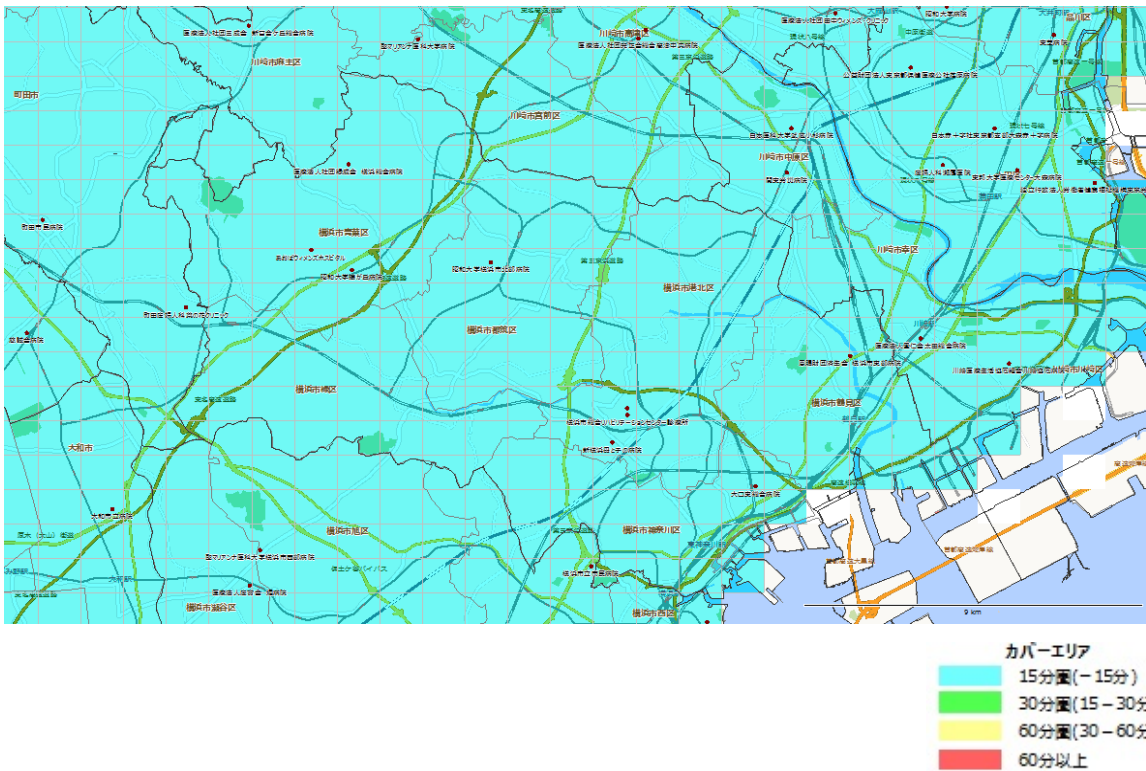
(横浜北部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

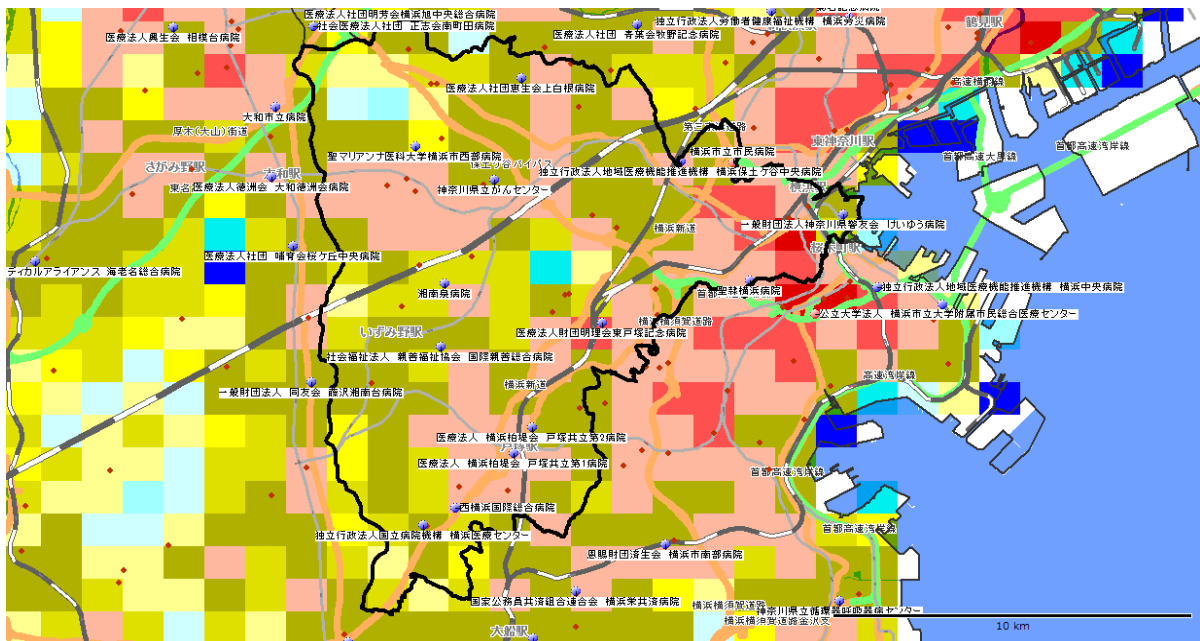


14-2. よこはませいぶ 横浜西部医療圏

構成市区町村 [西区](#) [保土ヶ谷区](#) [戸塚区](#) [旭区](#)
[瀬谷区](#) [泉区](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(横浜西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 横浜西部(横浜市西区)は、総人口約1,105千人(2015年)、面積138km²、人口密度は7,994人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 横浜西部の総人口は2025年に1,075千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に987千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の136千人が、2025年にかけて192千人へと増加し(2015年比+41%)、2040年には198千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 横浜西部の一人当たり医療費(国保)は345千円(偏差値50)、介護給付費は249千円(偏差値49)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 横浜西部の一人当たり急性期医療密度指数は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数は0.25で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46(病院医師数46、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は44と少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。横浜西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上のNHQ横浜医療センター(Ⅲ群・救命)、神奈川県立がんセンター(Ⅲ群)、けいゆう病院(Ⅲ群)、横浜市立市民病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の国際親善総合病院(Ⅲ群)、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院(Ⅲ群・救命)、横浜旭中央総合病院(Ⅲ群)、東戸塚記念病院(Ⅲ群)、500例以上の上白根病院(Ⅲ群)、戸塚共立第2病院(Ⅲ群)、戸塚共立第1病院(Ⅲ群)、聖隷横浜病院(Ⅲ群)、JCHO横浜保土ヶ谷中央病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 横浜西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18,934人(75歳以上1,000人当たりの偏差値71)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が10,559床(偏差値63)、高齢者住宅等が8,375床(偏差値62)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、13,292人(75歳以上1,000人当たりの偏差値67)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設63、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム69、軽費ホーム50、グループホーム57、サ高住43である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、1,635人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+8%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(横浜西部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

横浜西部医療圏の総人口は、2005年1,080,260人が、2015年に1,105,037人と2%増加し、2025年の人口が1,074,546人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

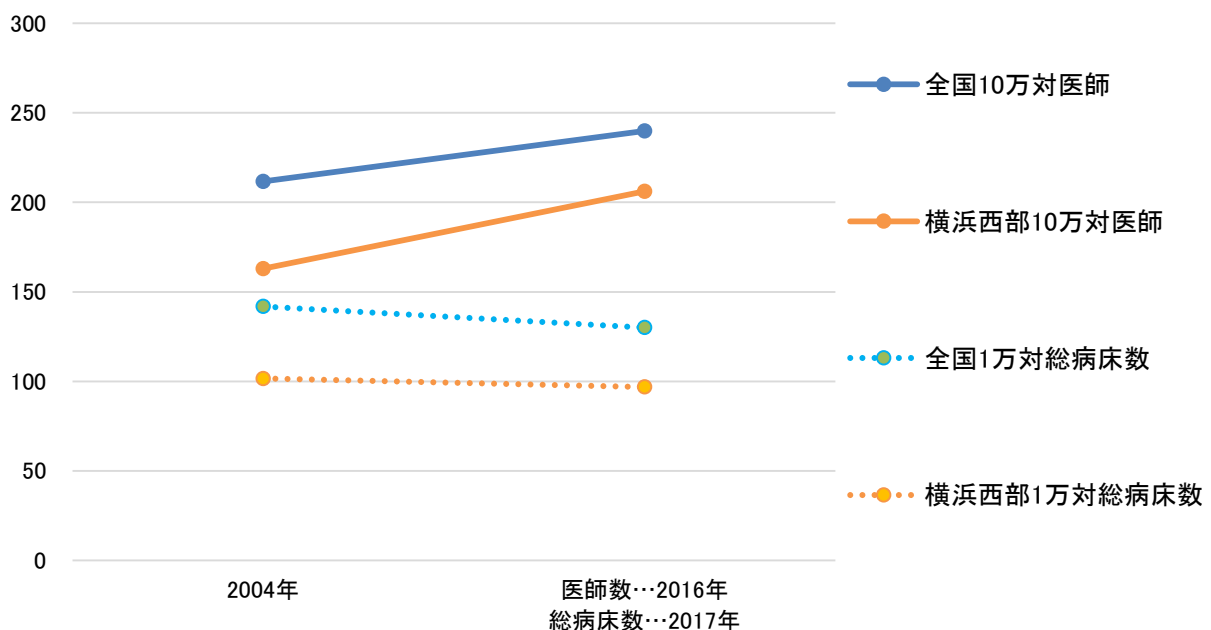
2004年の病院数が51(人口10万人当たり4.7病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2017年に49(人口10万人当たり4.4病院(全国平均6.6)偏差値45)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が728(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2017年に844(人口10万人当たり76診療所(全国平均80)偏差値48)と、116診療所が増加した。

2004年の総病床数が10,980床(人口1万人当たり102(全国平均142)偏差値43)であったが、2017年に10,711床(人口1万人当たり97(全国平均130)偏差値44)と、269床の減少、率にして2%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,760人(人口10万人当たり163人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2016年に2,279人(人口10万人当たり206人(全国平均240人)偏差値46)と、519人の増加、率にして29%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

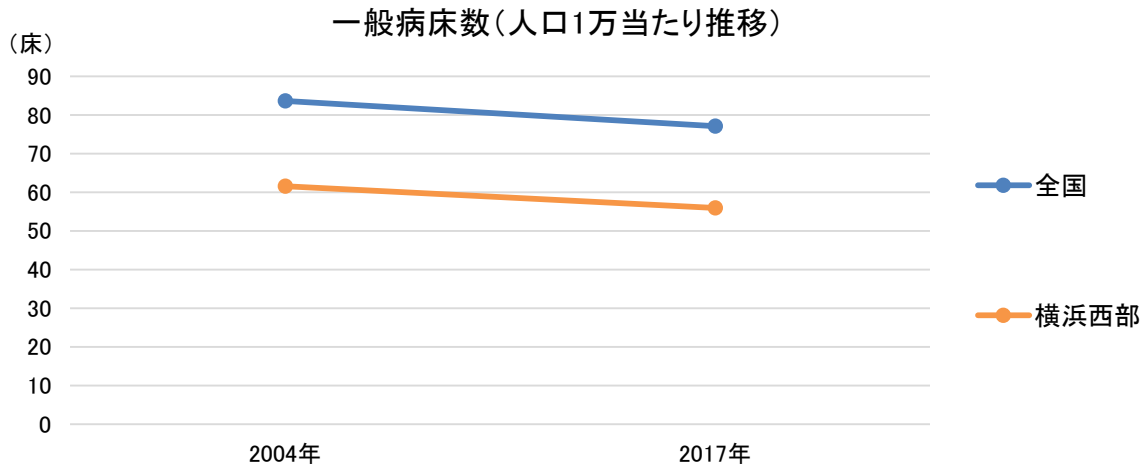
人口当たり医師数・総病床数の推移



14.神奈川県(2018年版)

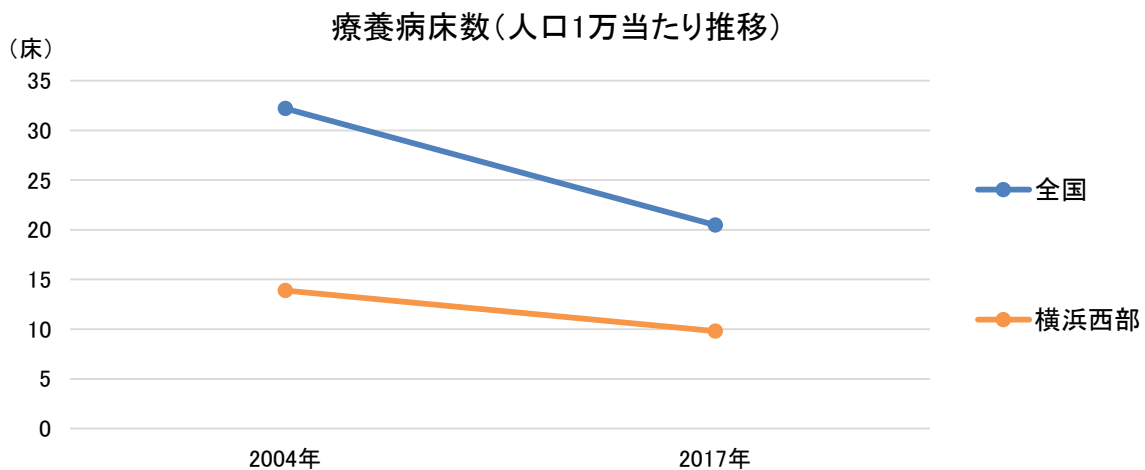
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6,654床(人口1万人当たり62(全国平均84)偏差値42)であったが、2017年に6,188床(人口1万人当たり56(全国平均77)偏差値42)と、466床の減少、率にして7%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



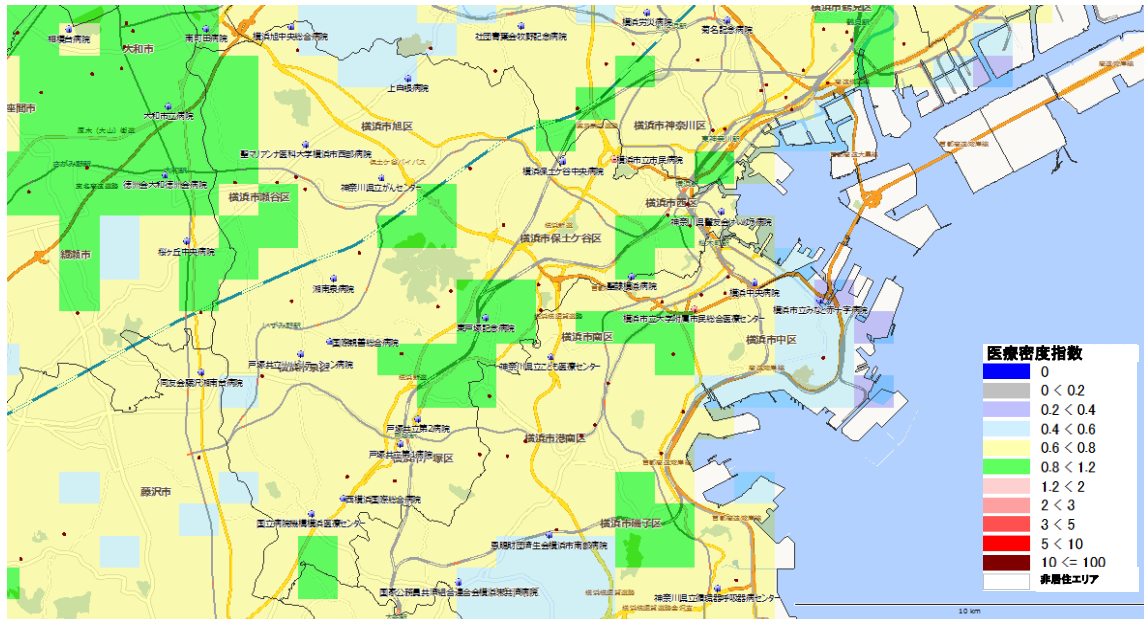
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,099床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2017年に1,334床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値41)と、235床の増加、率にして21%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



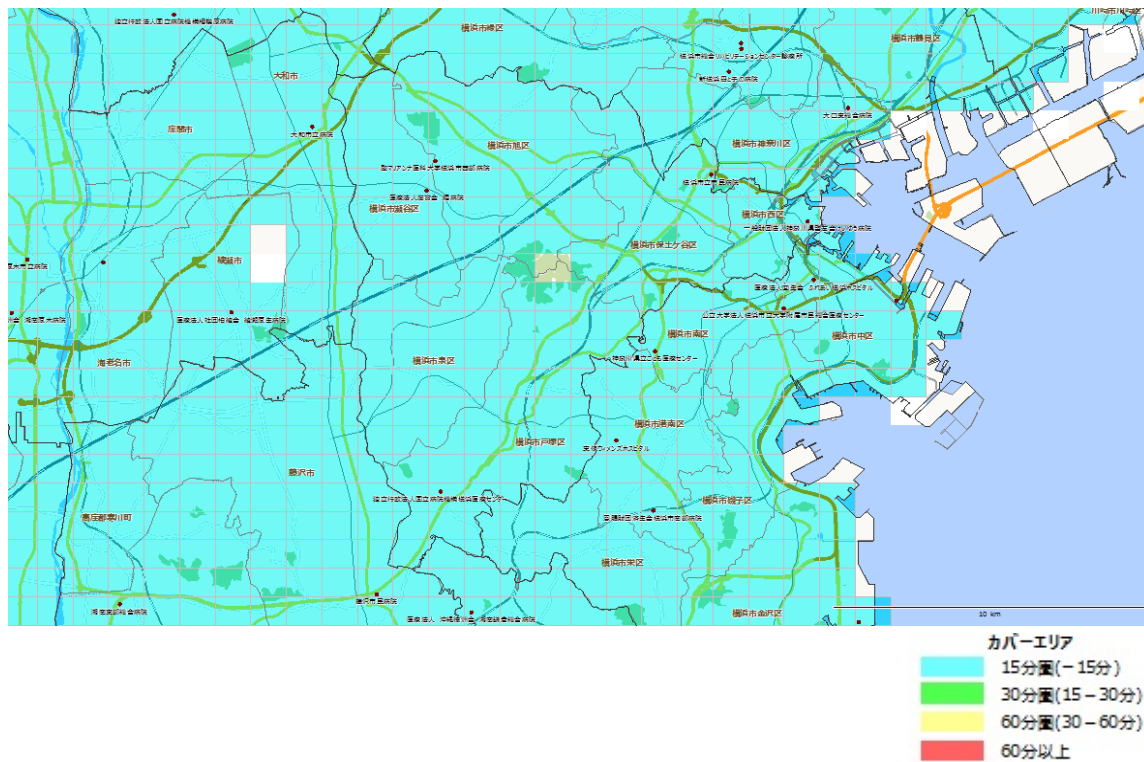
(横浜西部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

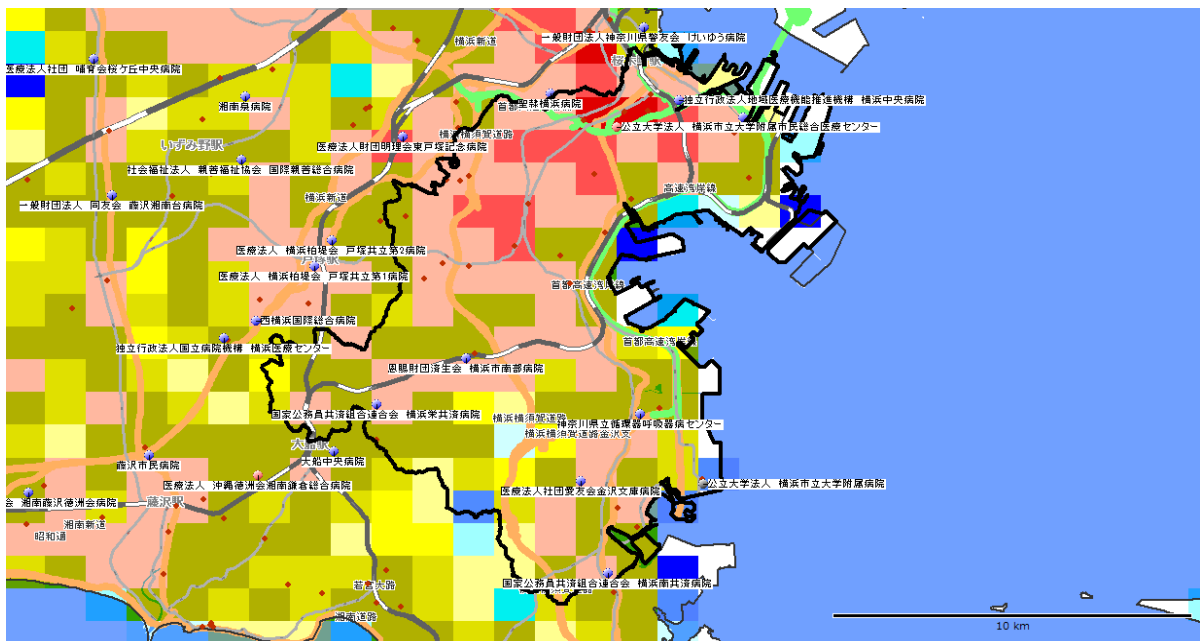


14-3. よこはまななぶ 横浜南部医療圏

構成市区町村 [中区](#) [南区](#) [磯子区](#) [金沢区](#)
[港南区](#) [栄区](#)

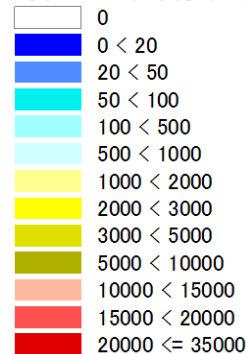
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(横浜南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 横浜南部(横浜市中区)は、総人口約1,050千人(2015年)、面積122km²、人口密度は8,583人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 横浜南部の総人口は2025年に1,005千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に902千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の127千人が、2025年にかけて178千人へと増加し(2015年比+40%)、2040年には175千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 横浜南部の一人当たり医療費(国保)は359千円(偏差値53)、介護給付費は249千円(偏差値49)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 横浜南部の一人当たり急性期医療密度指数は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数は0.37で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が55(病院医師数56、診療所医師数52)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。横浜南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の神奈川県立こども医療センター(Ⅲ群)、横浜市立みなと赤十字病院(Ⅱ群・救命)、済生会横浜市南部病院(Ⅱ群)、横浜南共済病院(Ⅱ群・救命)、横浜市立大学附属市民総合医療センター(Ⅱ群・救命)、横浜市立大学附属病院(Ⅰ群)、1000例以上の横浜栄共済病院(Ⅲ群)、500例以上のJCHO横浜中央病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は41と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は43で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 横浜南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,963人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が5,451床(偏差値35)、高齢者住宅等が4,512床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、8,066人(75歳以上1,000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム40、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム58、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム42、サ高住37である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,954人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-66%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(横浜南部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

横浜南部医療圏の総人口は、2005年1,056,811人が、2015年に1,049,504人と1%減少し、2025年の人口が1,005,322人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

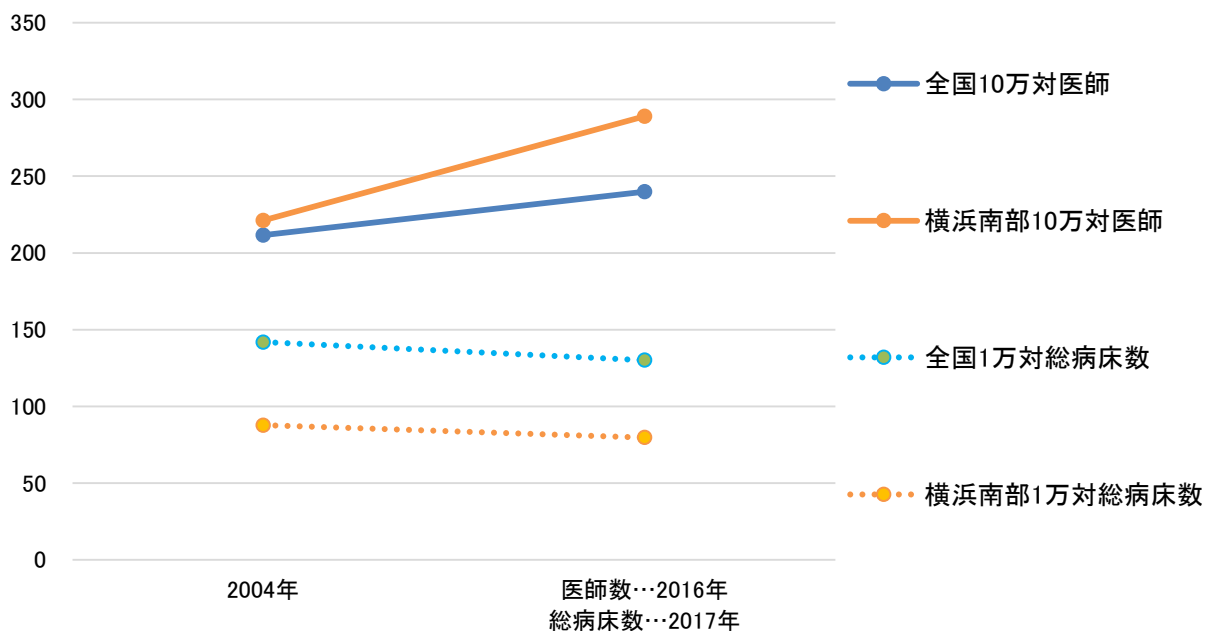
2004年の病院数が38(人口10万人当たり3.6病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2017年に35(人口10万人当たり3.3病院(全国平均6.6)偏差値43)となり、13年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が831(人口10万人当たり79診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2017年に886(人口10万人当たり84診療所(全国平均80)偏差値52)と、55診療所が増加した。

2004年の総病床数が9,274床(人口1万人当たり88(全国平均142)偏差値40)であったが、2017年に8,363床(人口1万人当たり80(全国平均130)偏差値41)と、911床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

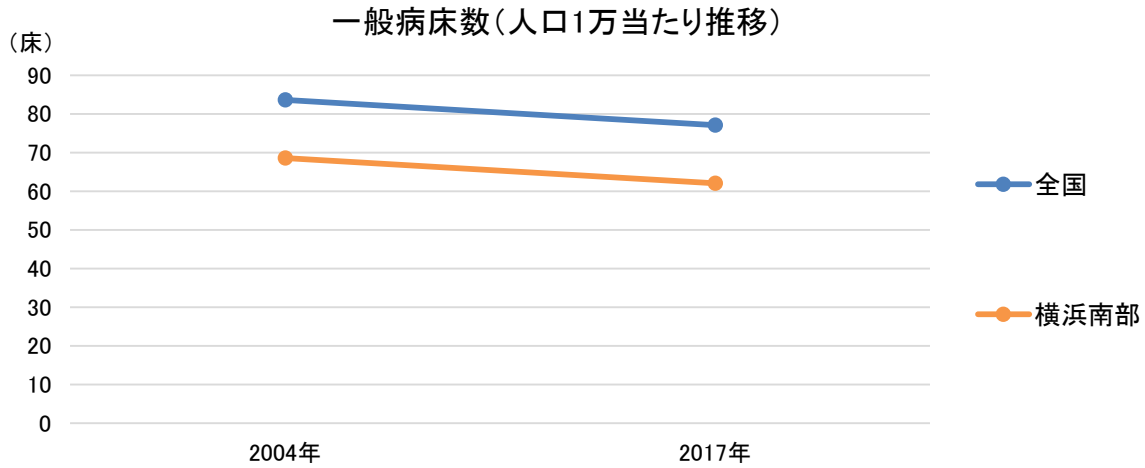
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,337人(人口10万人当たり221人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2016年に3,033人(人口10万人当たり289人(全国平均240人)偏差値55)と、696人の増加、率にして30%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



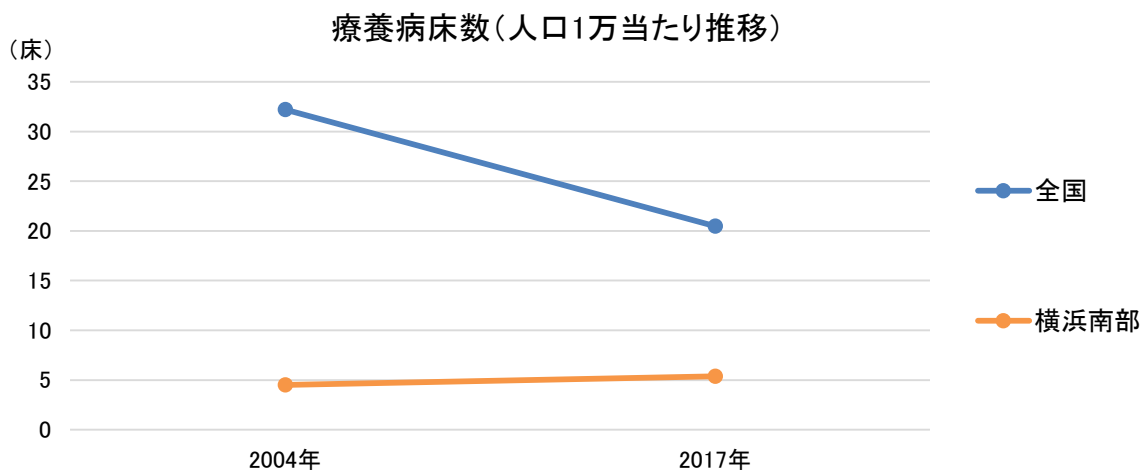
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7,247床(人口1万人当たり69(全国平均84)偏差値45)であったが、2017年に6,511床(人口1万人当たり62(全国平均77)偏差値44)と、736床の減少、率にして10%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



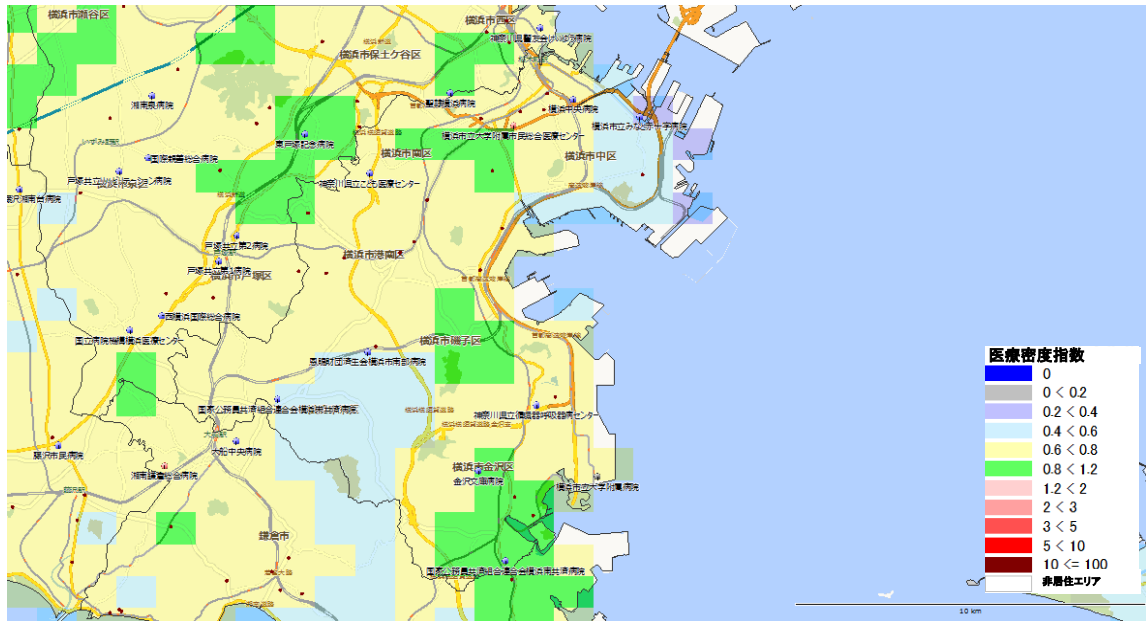
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が356床(75歳以上1,000人当たり4(全国平均32)偏差値34)であったが、2017年に685床(75歳以上1,000人当たり5(全国平均20)偏差値37)と、329床の増加、率にして92%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



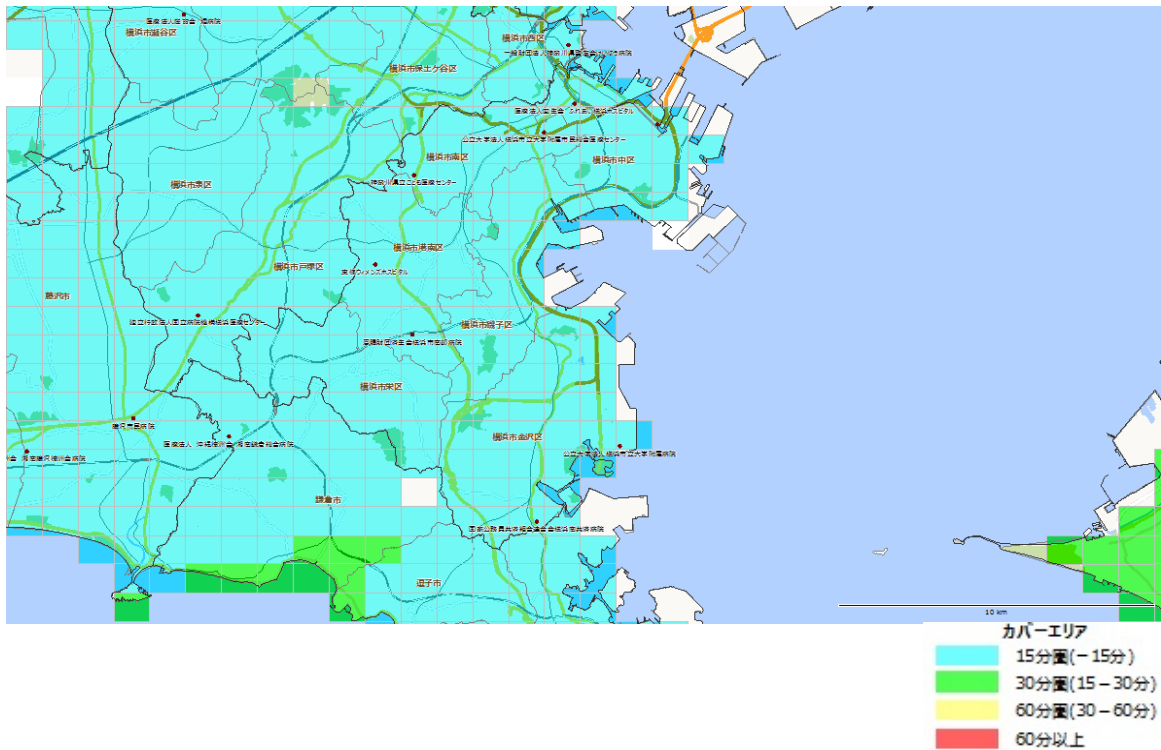
(横浜南部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

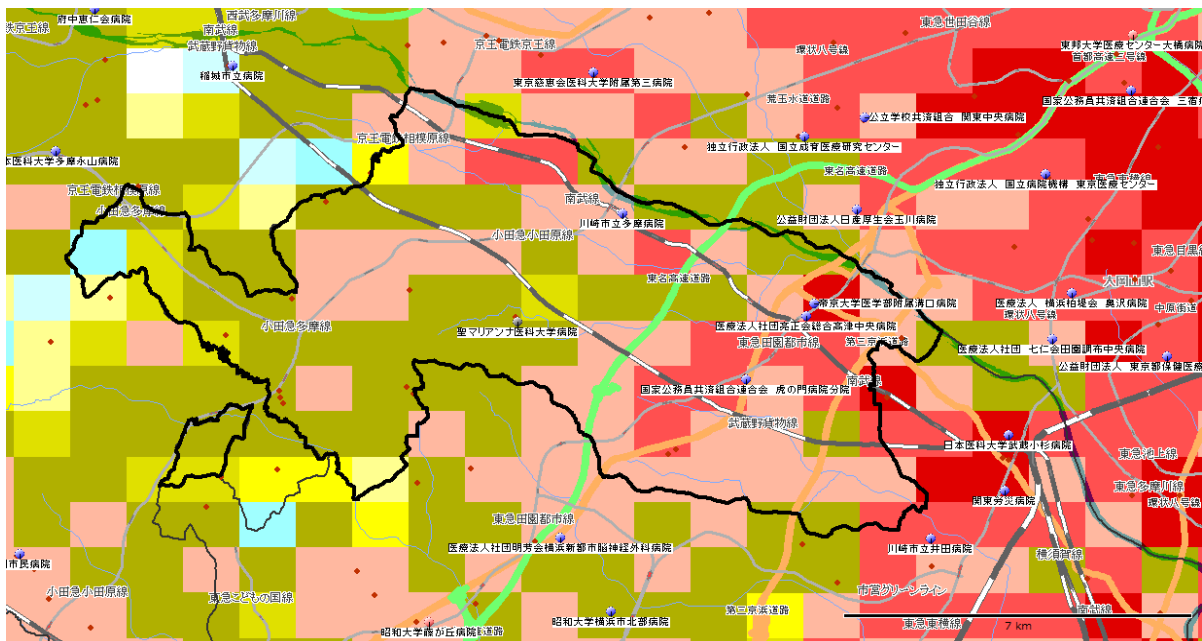


14-4. 川崎北部医療圏

構成市区町村 [高津区](#) [多摩区](#) [宮前区](#) [麻生区](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(川崎北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 川崎北部(川崎市高津区)は、総人口約843千人(2015年)、面積79km²、人口密度は10,714人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 川崎北部の総人口は2025年に876千人へと増加し(2015年比+4%)、2040年に873千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の76千人が、2025年にかけて121千人へと増加し(2015年比+59%)、2040年には148千人へと増加する(2025年比+22%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 川崎北部の一人当たり医療費(国保)は316千円(偏差値43)、介護給付費は251千円(偏差値50)であり、医療費は低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 川崎北部の一人当たり急性期医療密度指数は0.7、一人当たり慢性期医療密度指数は0.28で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数47、診療所医師数43)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は36と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は37で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。川崎北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の新百合ヶ丘総合病院(Ⅲ群)、帝京大学医学部附属溝口病院(Ⅲ群)、聖マリアンナ医科大学病院(I群・救命)、1000例以上の川崎市立多摩病院(Ⅲ群)、500例以上の総合高津中央病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値38と少なく、回復期病床数は偏差値42と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 川崎北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、12,525人(75歳以上1,000人当たりの偏差値87)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,332床(偏差値47)、高齢者住宅等が8,193床(偏差値92)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,871人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム106、軽費ホーム57、グループホーム55、サ高住51である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値42と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,005人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(川崎北部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

川崎北部医療圏の総人口は、2005年768,177人が、2015年に843,416人と10%増加し、2025年の人口が875,777人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に25%増加し、2015年から2025年にかけて15%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

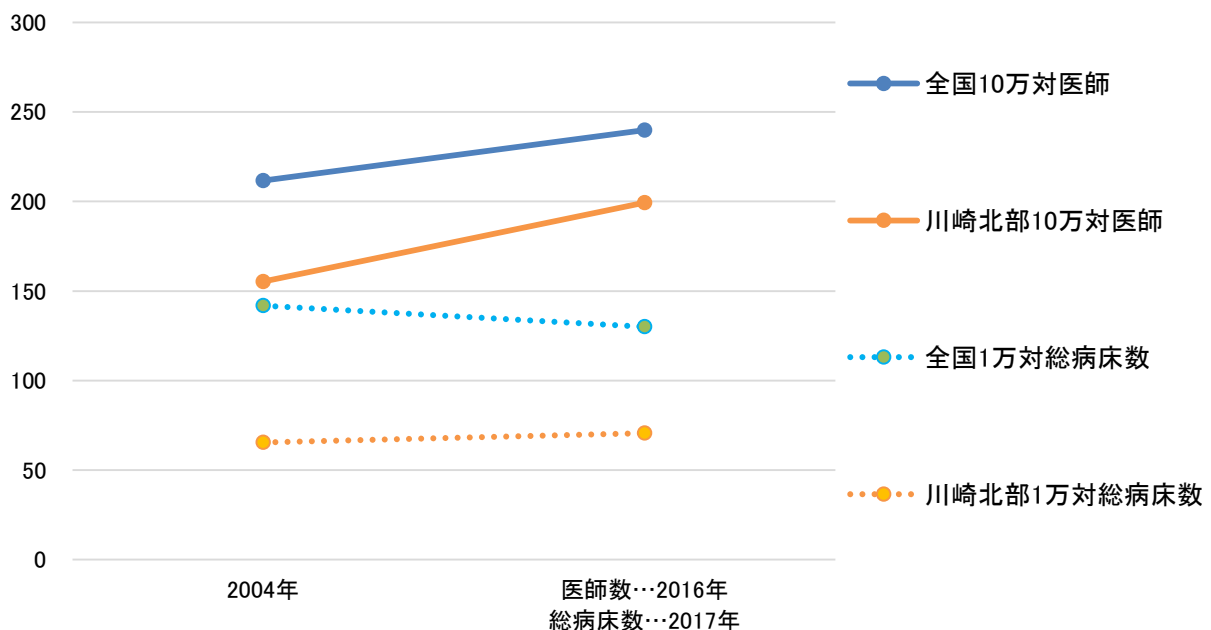
2004年の病院数が18(人口10万人当たり2.3病院(全国平均7.1)偏差値38)であったが、2017年に20(人口10万人当たり2.4病院(全国平均6.6)偏差値41)となり、13年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が419(人口10万人当たり55診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2017年に517(人口10万人当たり61診療所(全国平均80)偏差値40)と、98診療所が増加した。

2004年の総病床数が5,029床(人口1万人当たり65(全国平均142)偏差値36)であったが、2017年に5,961床(人口1万人当たり71(全国平均130)偏差値39)と、932床の増加、率にして19%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,193人(人口10万人当たり155人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2016年に1,682人(人口10万人当たり199人(全国平均240人)偏差値45)と、489人の増加、率にして41%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

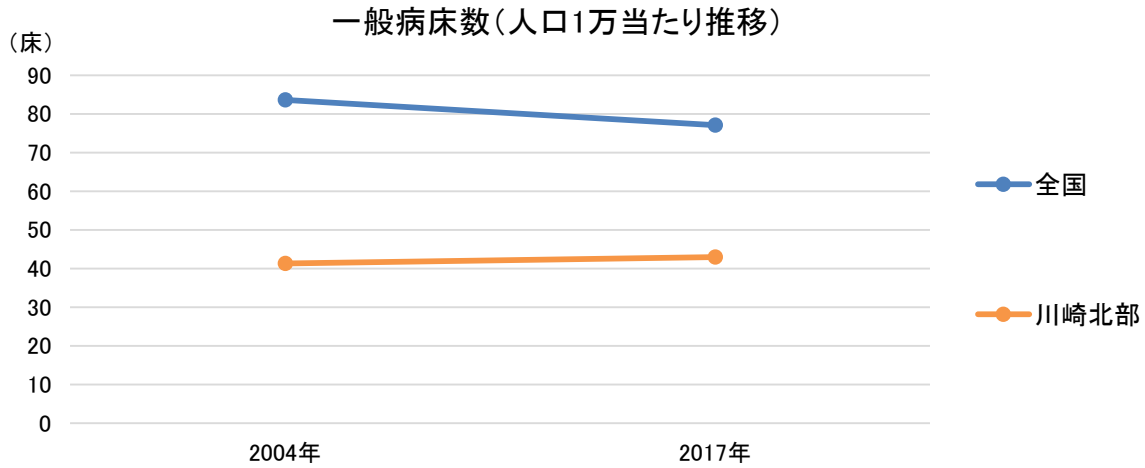
人口当たり医師数・総病床数の推移



14.神奈川県(2018年版)

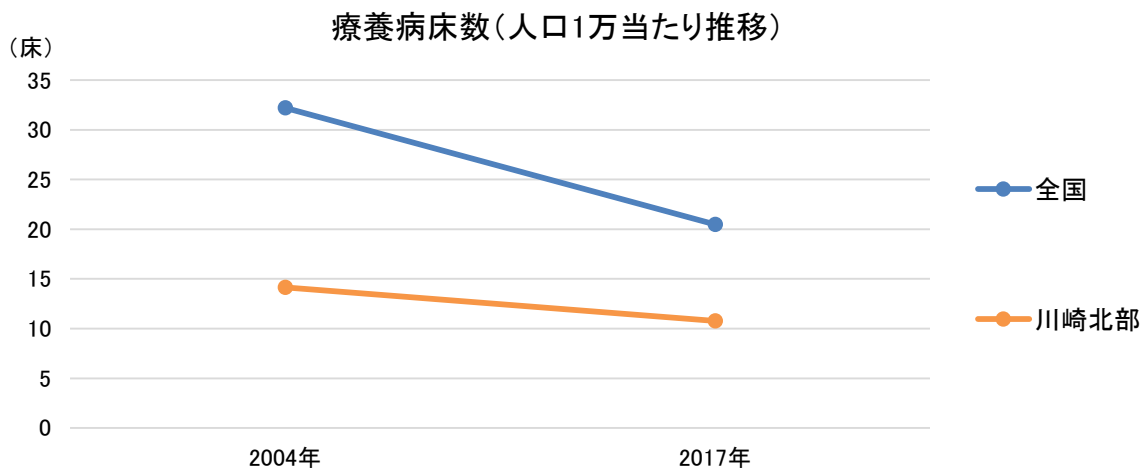
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,174床(人口1万人当たり41(全国平均84)偏差値35)であったが、2017年に3,628床(人口1万人当たり43(全国平均77)偏差値37)と、454床の増加、率にして14%の増加(全国平均8%の減少)が見られた。



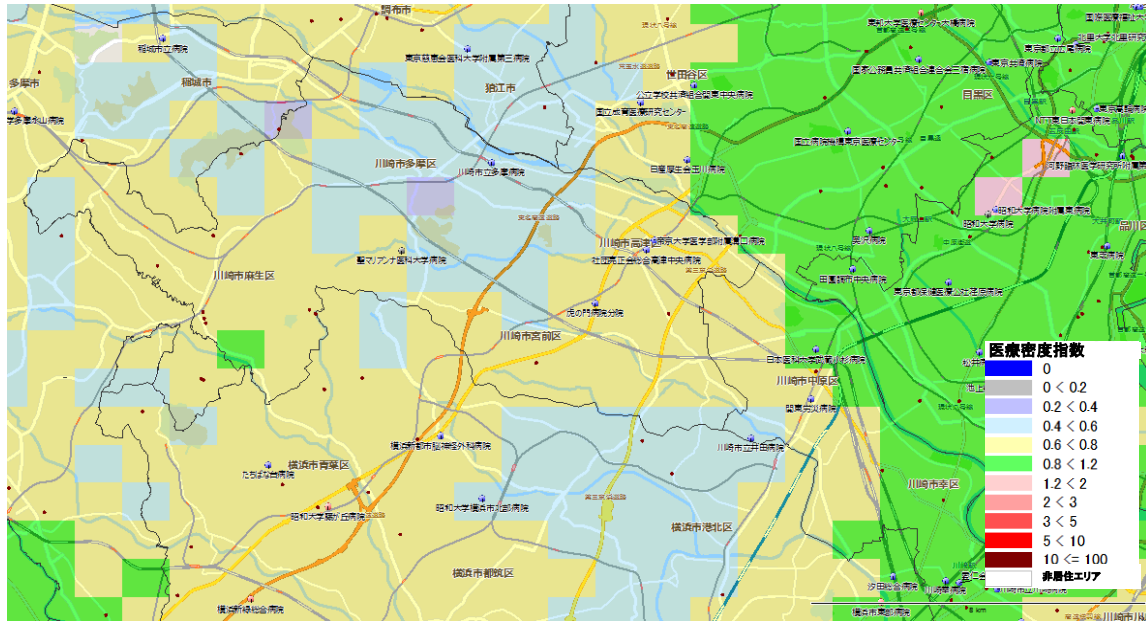
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が569床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2017年に813床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均20)偏差値41)と、244床の増加、率にして43%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



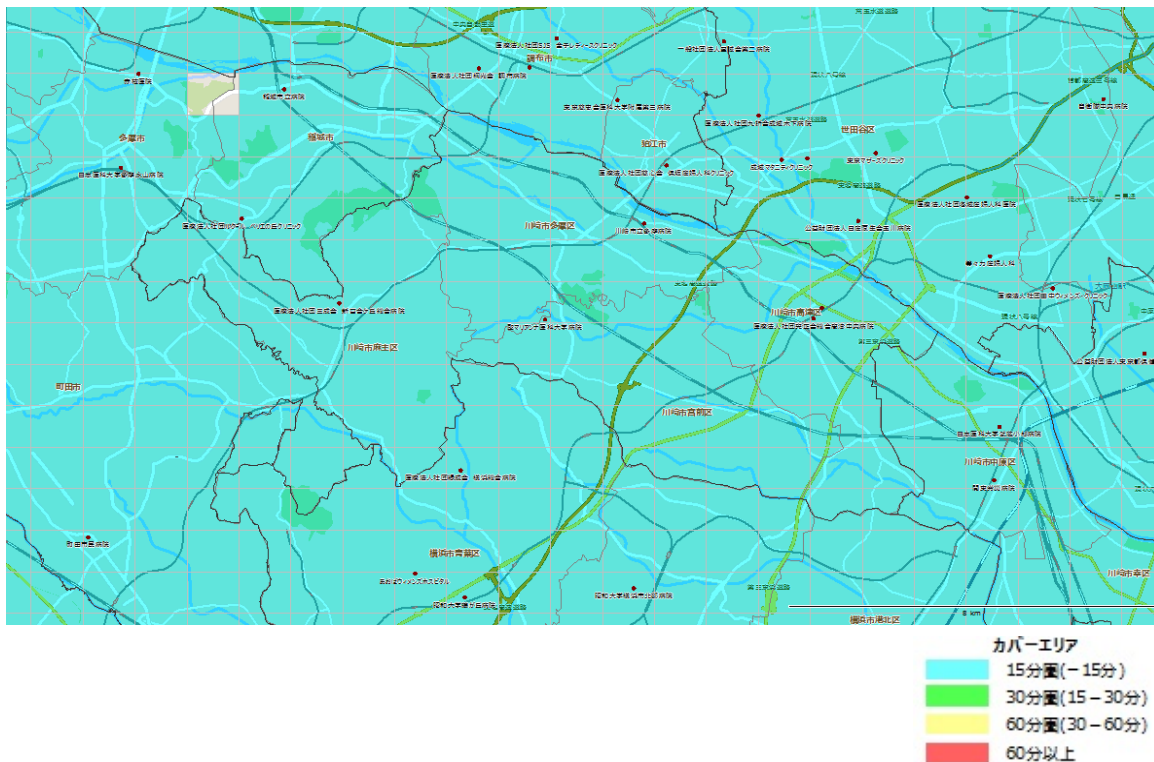
(川崎北部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

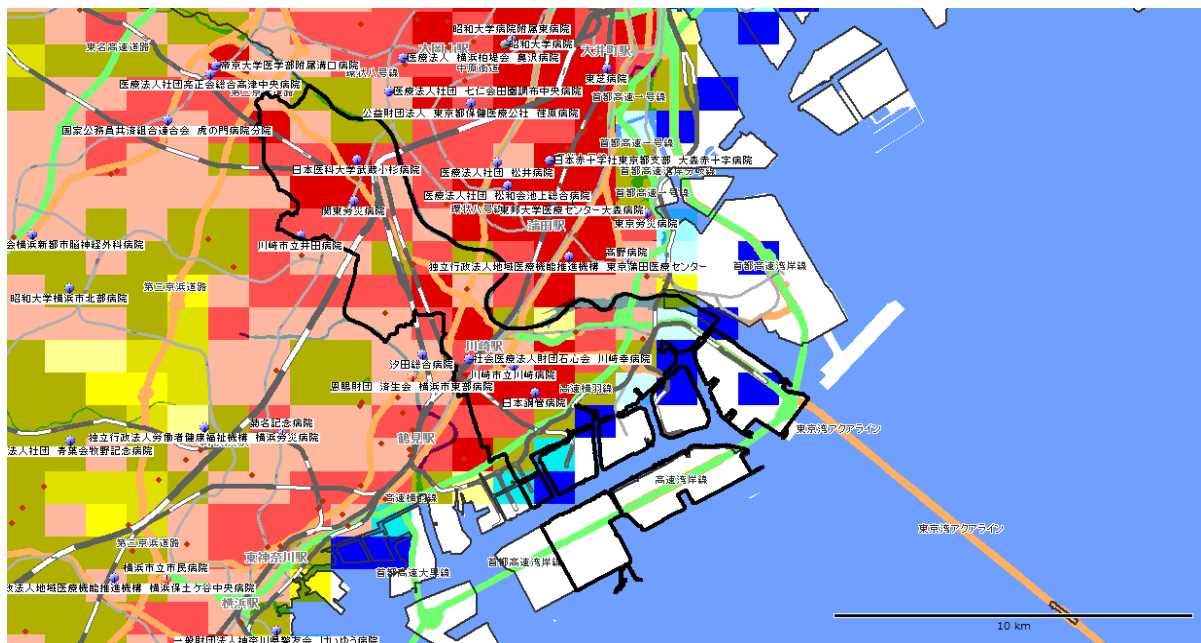


14-5. かわさきなんぶ 川崎南部医療圏

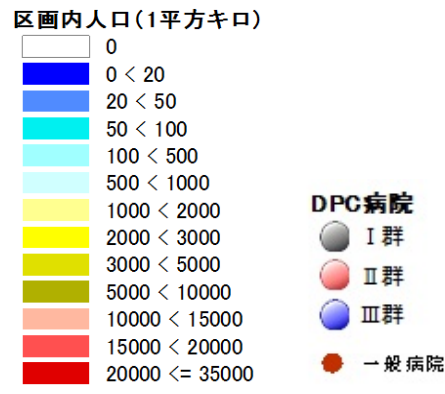
構成市区町村 [川崎市](#) [幸区](#) [中原区](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(川崎南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 川崎南部(川崎市川崎区)は、総人口約632千人(2015年)、面積64km²、人口密度は9,829人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 川崎南部の総人口は2025年に670千人へと増加し(2015年比+6%)、2040年に689千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の57千人が、2025年にかけて76千人へと増加し(2015年比+33%)、2040年には83千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 川崎南部の一人当たり医療費(国保)は330千円(偏差値46)、介護給付費は251千円(偏差値50)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 川崎南部の一人当たり急性期医療密度指数は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は0.35で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が51(病院医師数51、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。川崎南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の日本医科大学武蔵小杉病院(Ⅲ群・救命)、関東労災病院(Ⅲ群)、日本鋼管病院(Ⅲ群)、川崎市立川崎病院(Ⅲ群・救命)、川崎幸病院(Ⅱ群)、1000例以上の第一病院(Ⅲ群)、太田総合病院(Ⅲ群)、500例以上の川崎市立井田病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は41と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は39で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 川崎南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5,309人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,147床(偏差値31)、高齢者住宅等が3,162床(偏差値59)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,830人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設30、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム63、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム53、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、1,003人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-32%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(川崎南部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

川崎南部医療圏の総人口は、2005年558,834人が、2015年に631,797人と13%増加し、2025年の人口が670,119人と予測され、2005年→2025年の間に20%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に21%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

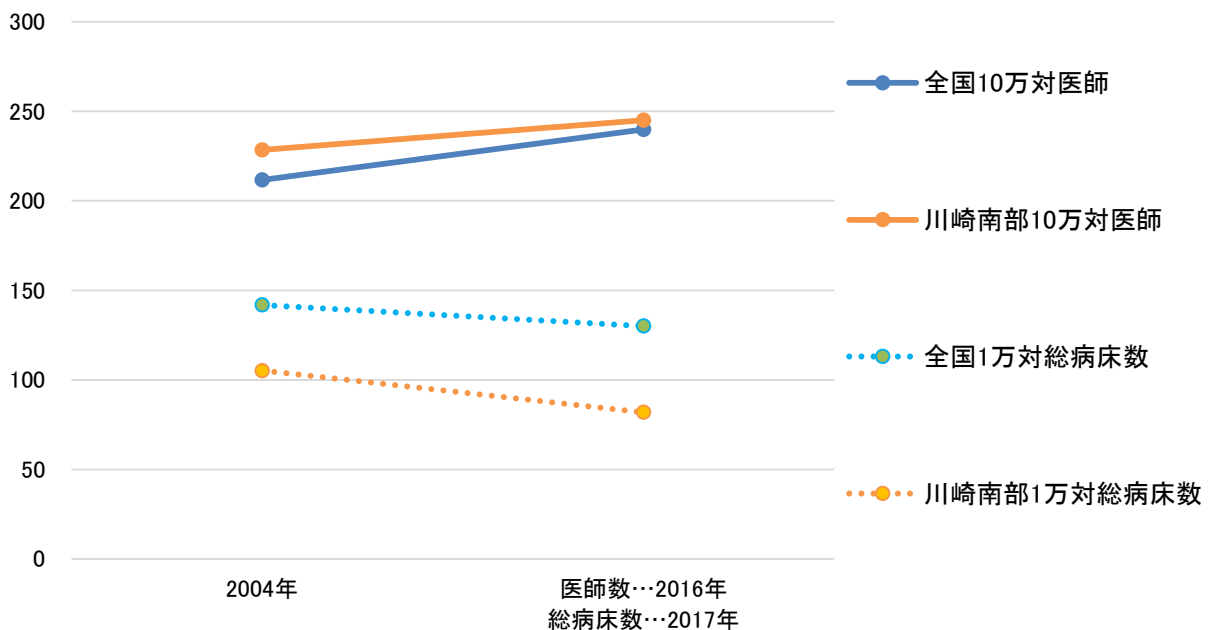
2004年の病院数が26(人口10万人当たり4.7病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2017年に19(人口10万人当たり3病院(全国平均6.6)偏差値42)となり、13年間で7病院が減少した。

2004年の診療所数が442(人口10万人当たり79診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2017年に461(人口10万人当たり73診療所(全国平均80)偏差値46)と、19診療所が増加した。

2004年の総病床数が5,879床(人口1万人当たり105(全国平均142)偏差値43)であったが、2017年に5,176床(人口1万人当たり82(全国平均130)偏差値41)と、703床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

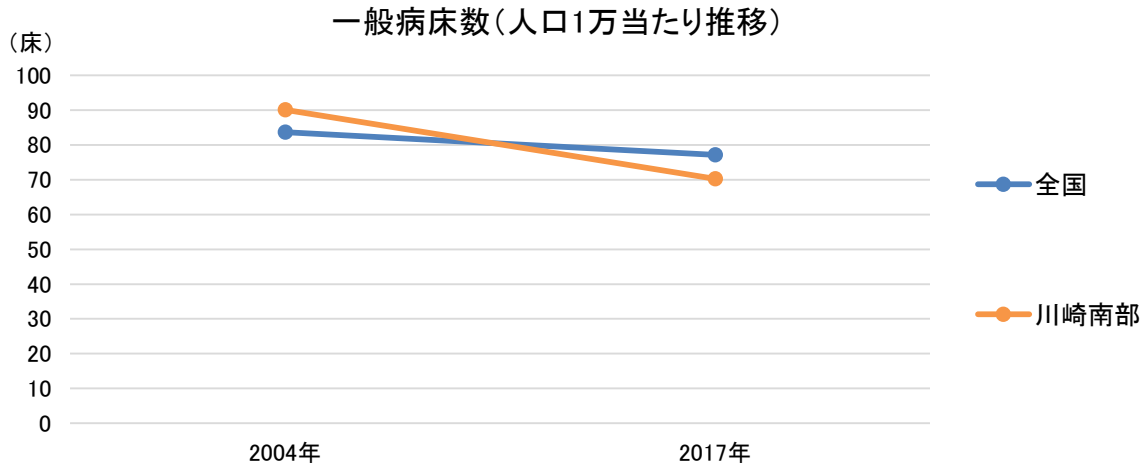
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,277人(人口10万人当たり229人(全国平均212人)偏差値52)であったが、2016年に1,548人(人口10万人当たり245人(全国平均240人)偏差値51)と、271人の増加、率にして21%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



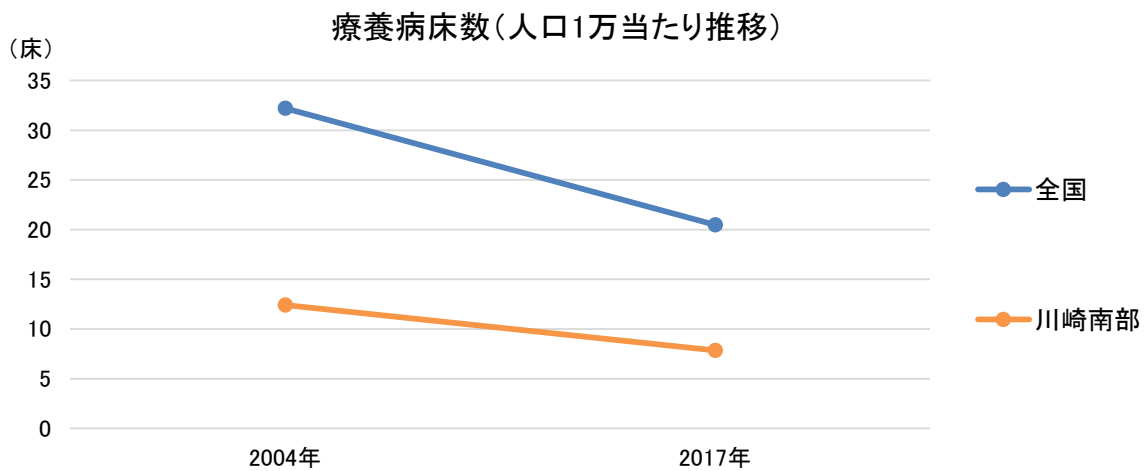
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5,034床(人口1万人当たり90(全国平均84)偏差値52)であったが、2017年に4,441床(人口1万人当たり70(全国平均77)偏差値47)と、593床の減少、率にして12%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



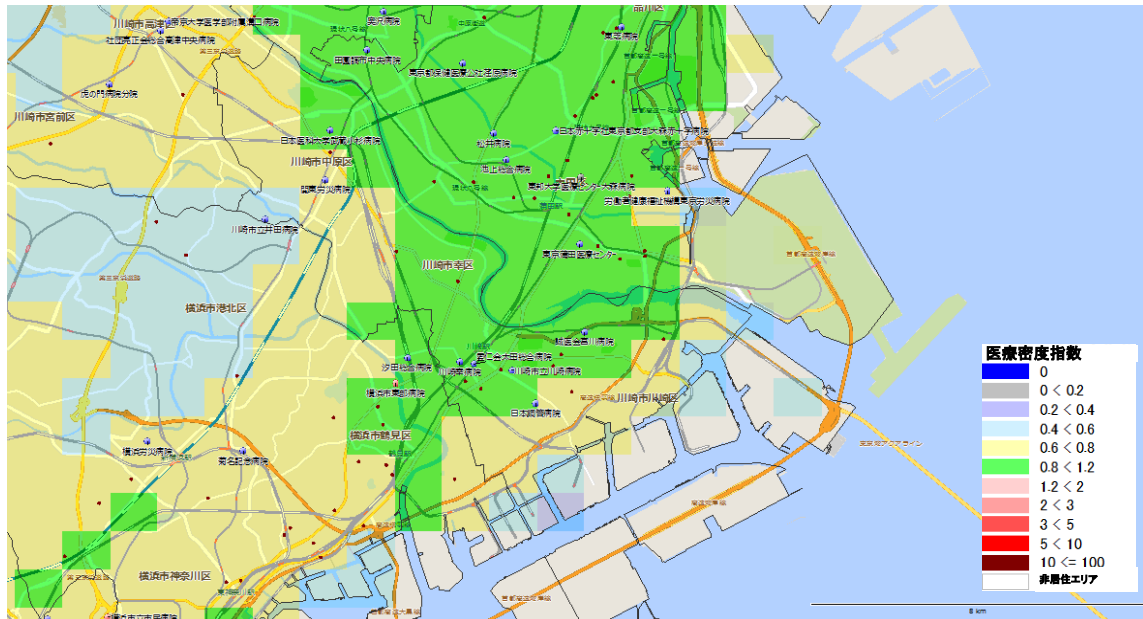
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が474床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均32)偏差値39)であったが、2017年に445床(75歳以上1,000人当たり8(全国平均20)偏差値39)と、29床の減少、率にして6%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



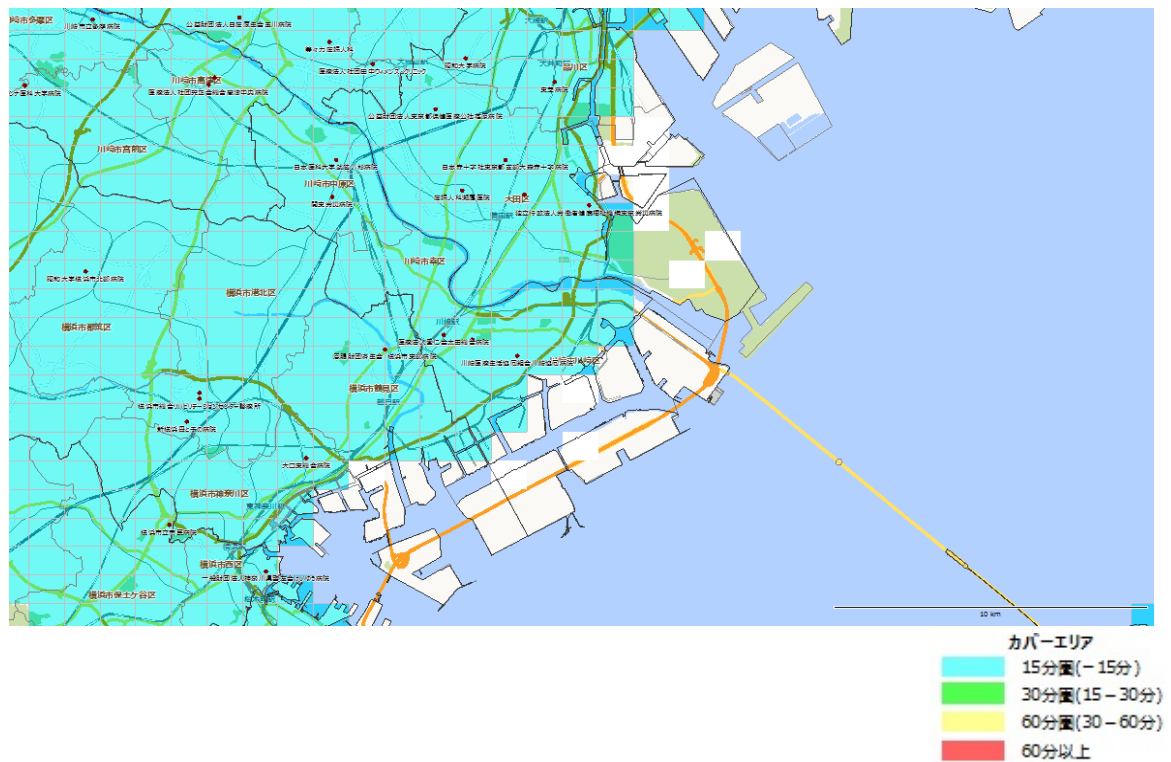
(川崎南部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

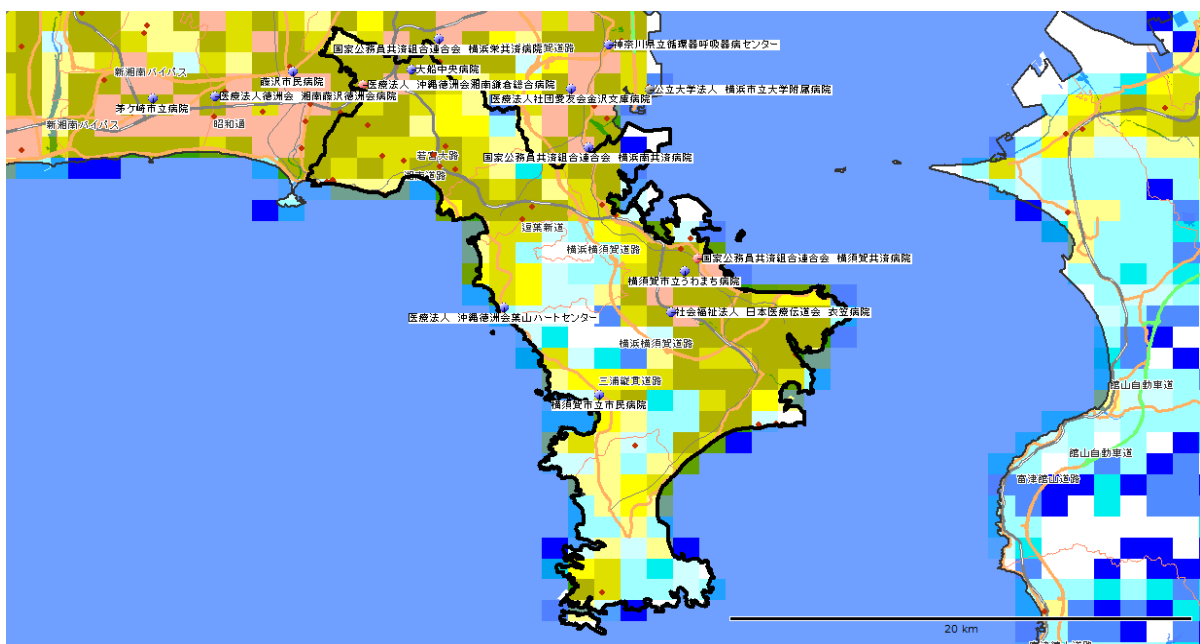


14-6. よこすか みうら 横須賀・三浦医療圏

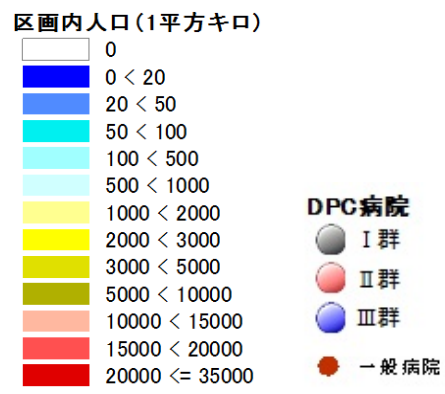
構成市区町村 [横須賀市](#) [鎌倉市](#) [逗子市](#) [三浦市](#)
[葉山町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(横須賀・三浦医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 横須賀・三浦(横須賀市)は、総人口約714千人(2015年)、面積207km²、人口密度は3,453人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 横須賀・三浦の総人口は2025年に661千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に564千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の106千人が、2025年にかけて138千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には124千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 横須賀・三浦の一人当たり医療費(国保)は347千円(偏差値50)、介護給付費は238千円(偏差値46)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 横須賀・三浦の一人当たり急性期医療密度指数は0.67、一人当たり慢性期医療密度指数は0.56で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が48(病院医師数46、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は39と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。横須賀・三浦には、年間全身麻酔件数が2000例以上の湘南鎌倉総合病院(Ⅱ群・救命)、横須賀共済病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の横須賀市立うわまち病院(Ⅲ群・救命)、横須賀市立市民病院(Ⅲ群)、500例以上の大船中央病院(Ⅲ群)、よこすか浦賀病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 横須賀・三浦の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10,760人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5,331床(偏差値41)、高齢者住宅等が5,429床(偏差値56)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7,434人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設41、有料老人ホーム69、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム47、サ高住38である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、1,226人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-10%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(横須賀・三浦医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

横須賀・三浦医療圏の総人口は、2005年736,761人が、2015年に714,415人と3%減少し、2025年の人口が661,310人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

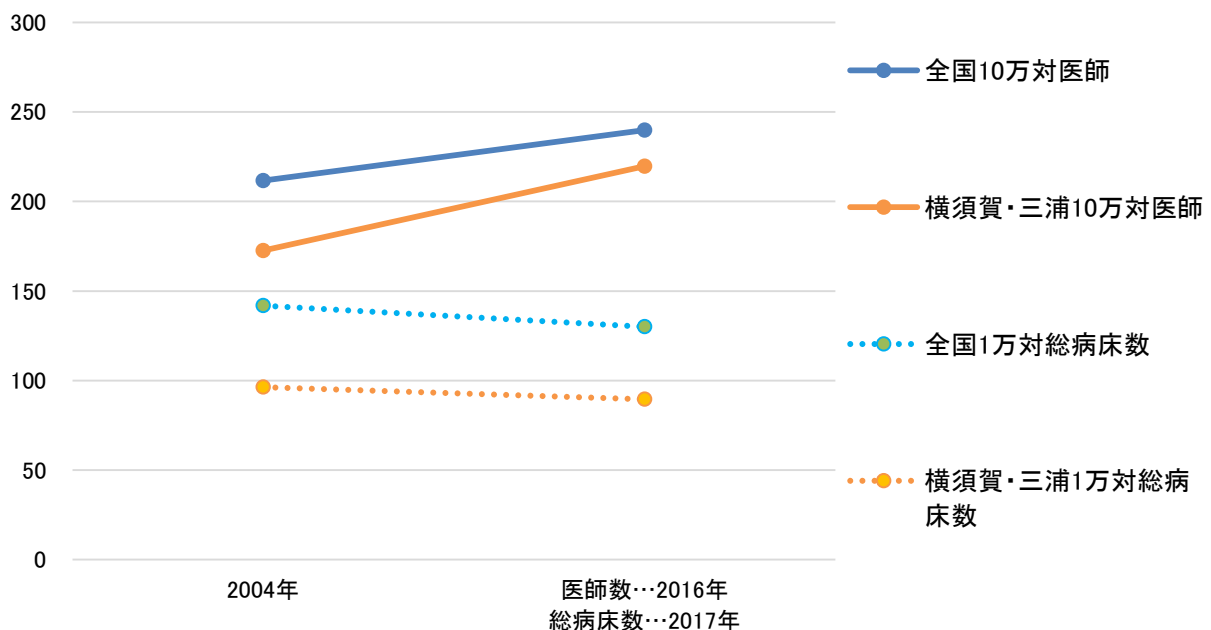
2004年の病院数が32(人口10万人当たり4.3病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2017年に29(人口10万人当たり4.1病院(全国平均6.6)偏差値44)となり、13年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が575(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2017年に531(人口10万人当たり74診療所(全国平均80)偏差値47)と、44診療所が減少した。

2004年の総病床数が7,097床(人口1万人当たり96(全国平均142)偏差値42)であったが、2017年に6,400床(人口1万人当たり90(全国平均130)偏差値42)と、697床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

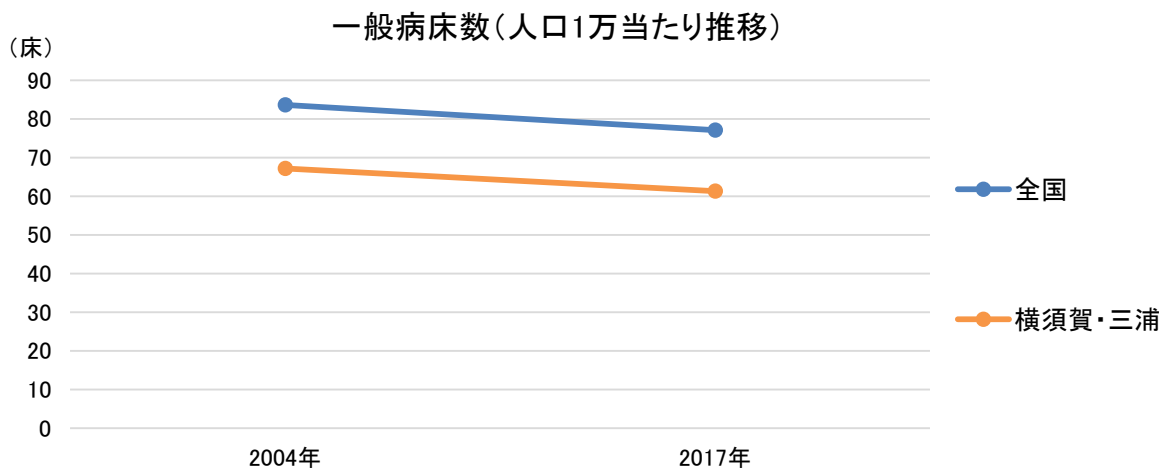
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,271人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2016年に1,570人(人口10万人当たり220人(全国平均240人)偏差値48)と、299人の増加、率にして24%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



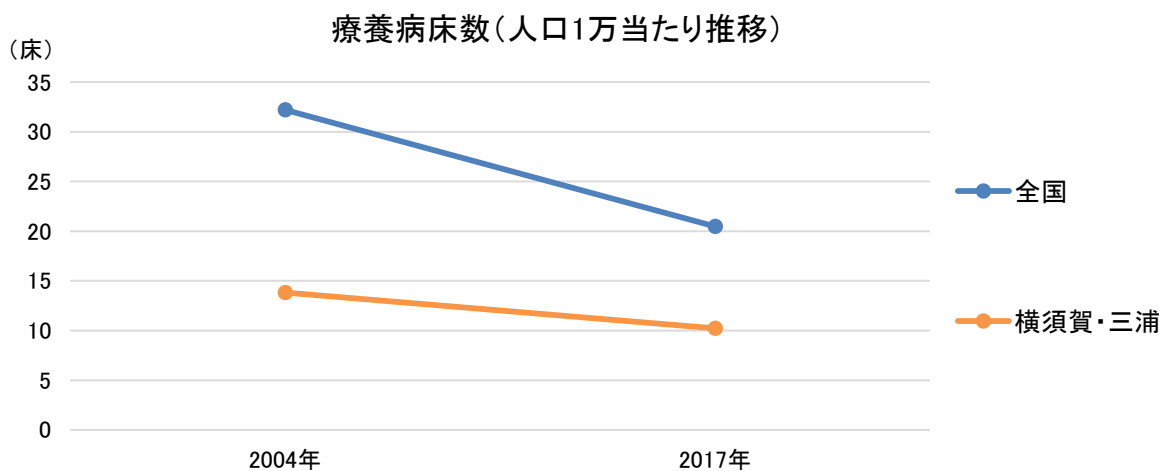
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4,954床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2017年に4,381床(人口1万人当たり61(全国平均77)偏差値44)と、573床の減少、率にして12%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



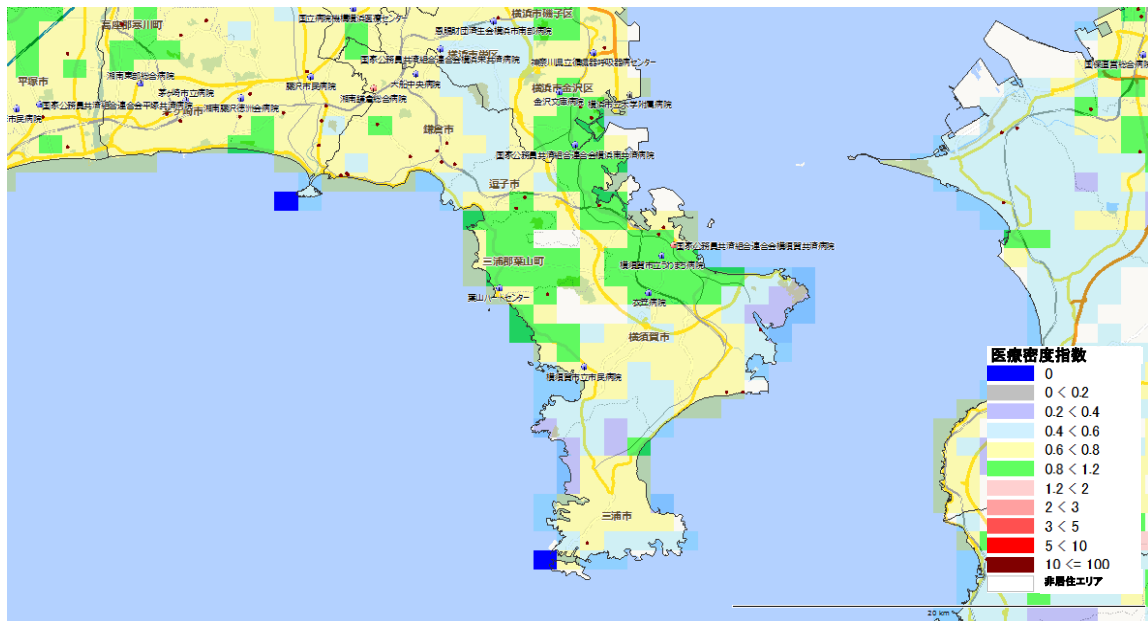
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が998床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2017年に1,083床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値41)と、85床の増加、率にして9%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



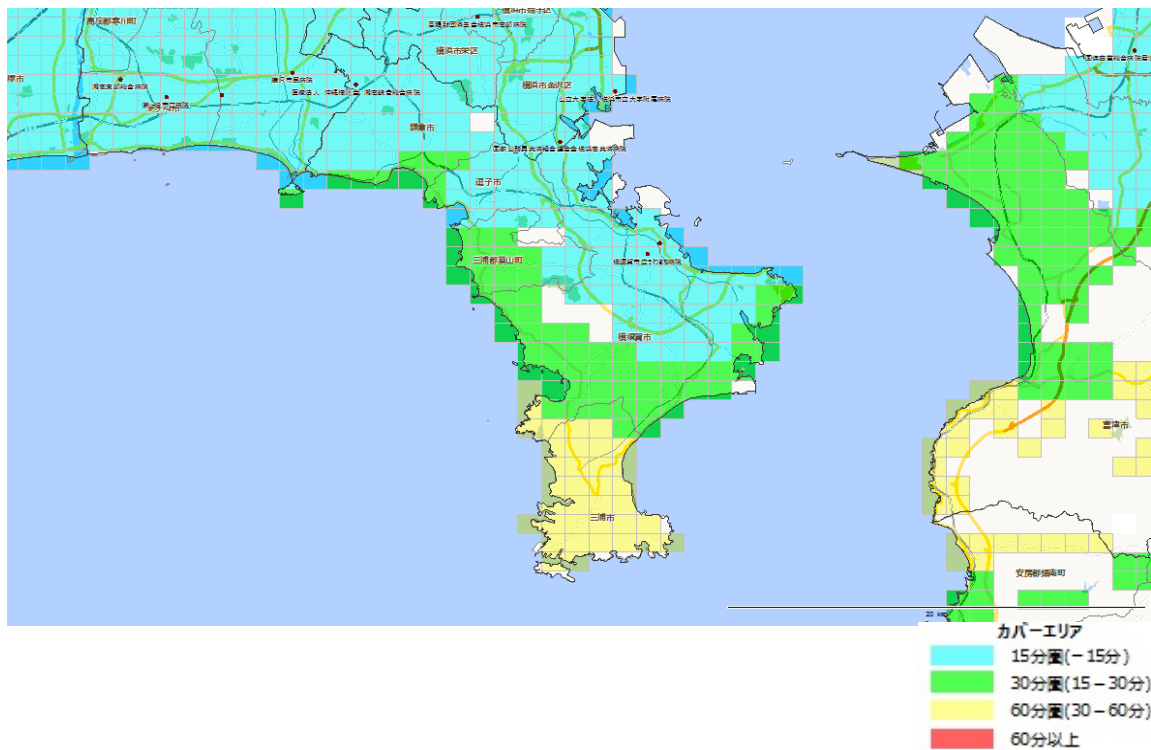
(横須賀・三浦医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

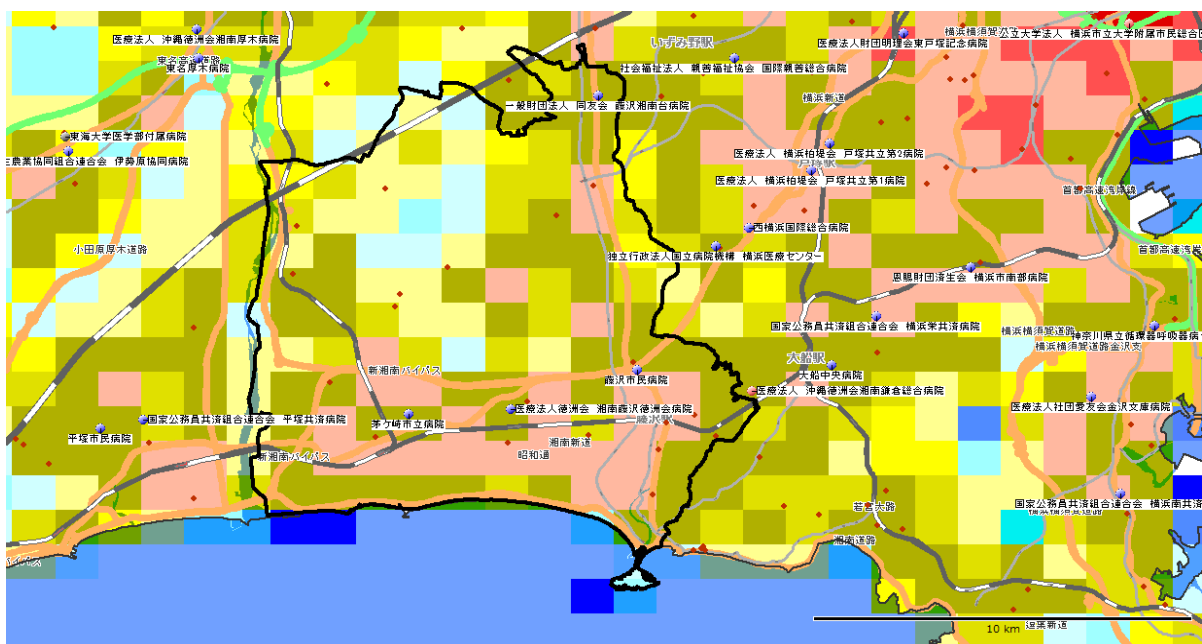


14-7. しょうなんとうぶ 湘南東部医療圏

構成市区町村 [藤沢市](#) [茅ヶ崎市](#) [寒川町](#)

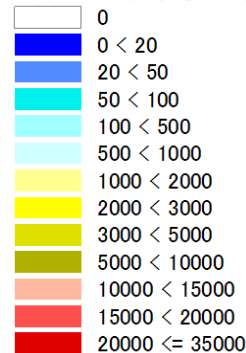
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(湘南東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 湘南東部(藤沢市)は、総人口約711千人(2015年)、面積119km²、人口密度は5,996人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 湘南東部の総人口は2025年に724千人へと増加し(2015年比+2%)、2040年に701千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の78千人が、2025年にかけて117千人へと増加し(2015年比+50%)、2040年には126千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 湘南東部の一人当たり医療費(国保)は318千円(偏差値43)、介護給付費は205千円(偏差値36)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 湘南東部の一人当たり急性期医療密度指数は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数は0.79で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数40、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は36と少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は37で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。湘南東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の湘南藤沢徳洲会病院(Ⅲ群)、藤沢市民病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の茅ヶ崎市立病院(Ⅲ群)、藤沢湘南台病院(Ⅲ群)、500例以上の湘南東部総合病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 湘南東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8,113人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3,708床(偏差値39)、高齢者住宅等が4,405床(偏差値59)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,748人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。
施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設40、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム62、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住58である。
- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値56と多く、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,047人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-37%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(湘南東部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

湘南東部医療圏の総人口は、2005年671,891人が、2015年に711,178人と6%増加し、2025年の人口が723,768人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に22%増加し、2015年から2025年にかけて11%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

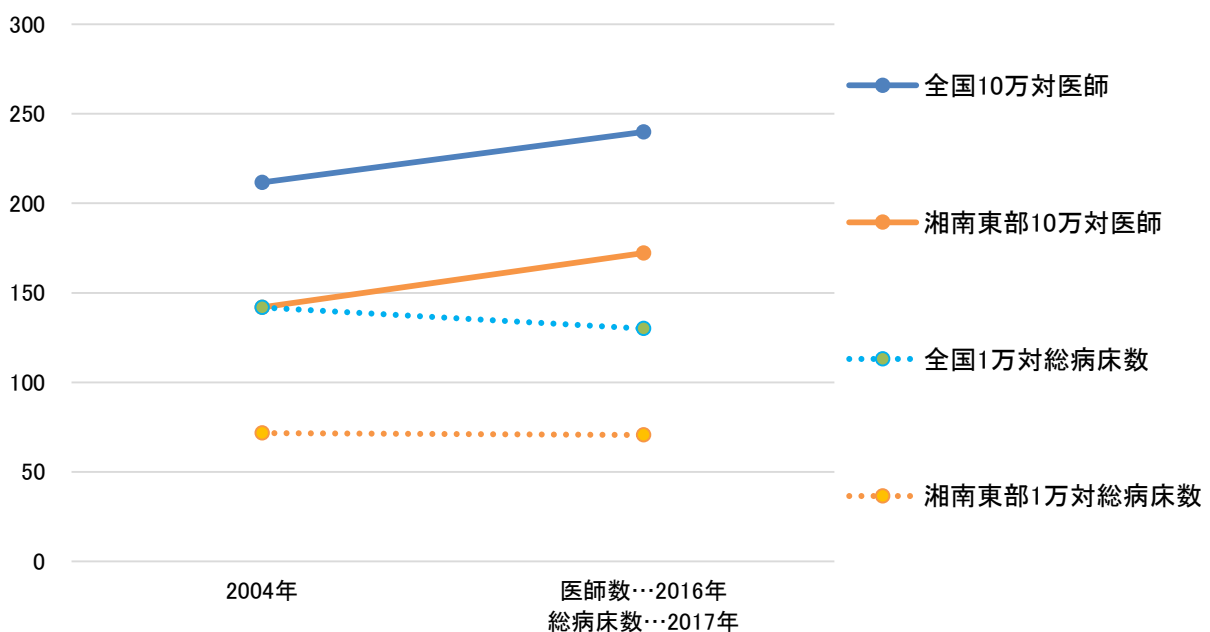
2004年の病院数が23(人口10万人当たり3.4病院(全国平均7.1)偏差値40)であったが、2017年に23(人口10万人当たり3.2病院(全国平均6.6)偏差値43)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が496(人口10万人当たり74診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2017年に569(人口10万人当たり80診療所(全国平均80)偏差値50)と、73診療所が増加した。

2004年の総病床数が4,821床(人口1万人当たり72(全国平均142)偏差値37)であったが、2017年に5,024床(人口1万人当たり71(全国平均130)偏差値39)と、203床の増加、率にして4%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

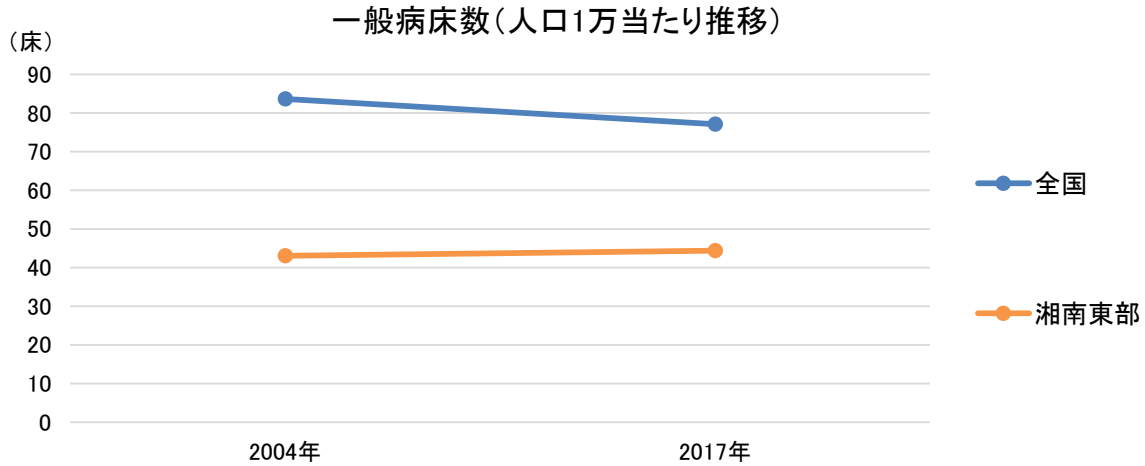
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が954人(人口10万人当たり142人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2016年に1,225人(人口10万人当たり172人(全国平均240人)偏差値42)と、271人の増加、率にして28%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



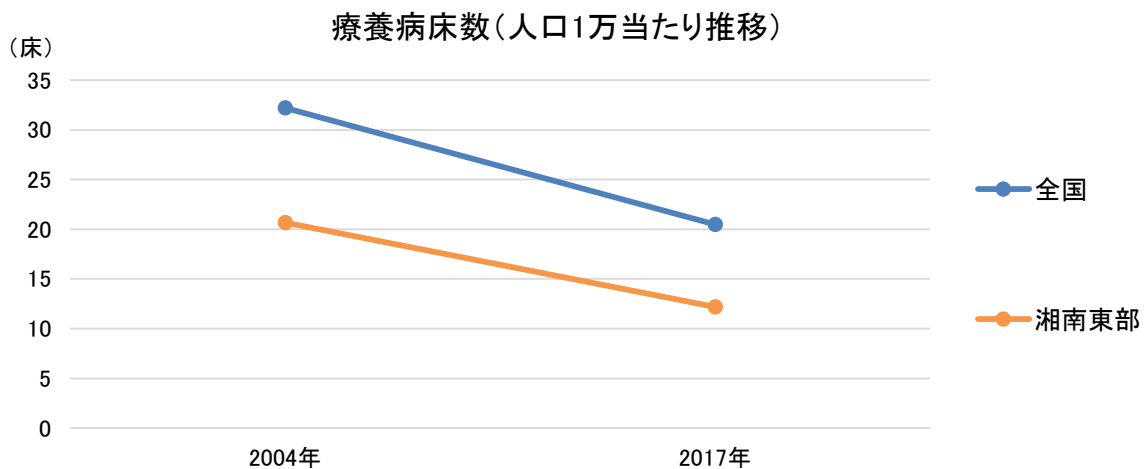
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,894床(人口1万人当たり43(全国平均84)偏差値36)であったが、2017年に3,154床(人口1万人当たり44(全国平均77)偏差値37)と、260床の増加、率にして9%の増加(全国平均8%の減少)が見られた。



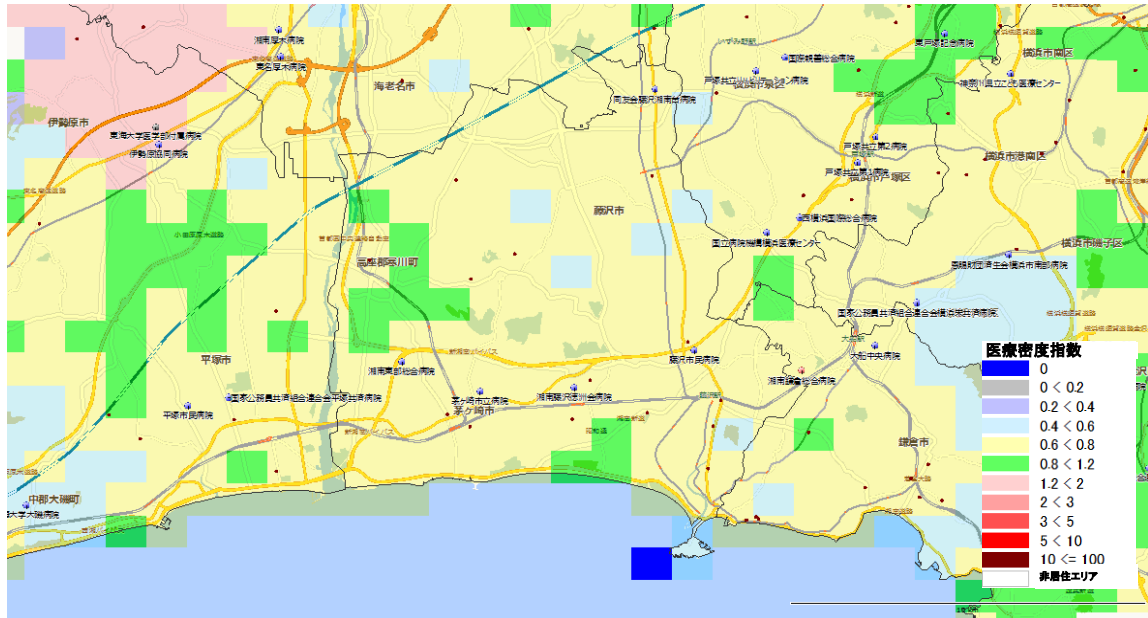
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が952床(75歳以上1,000人当たり21(全国平均32)偏差値43)であったが、2017年に951床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均20)偏差値43)と、1床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



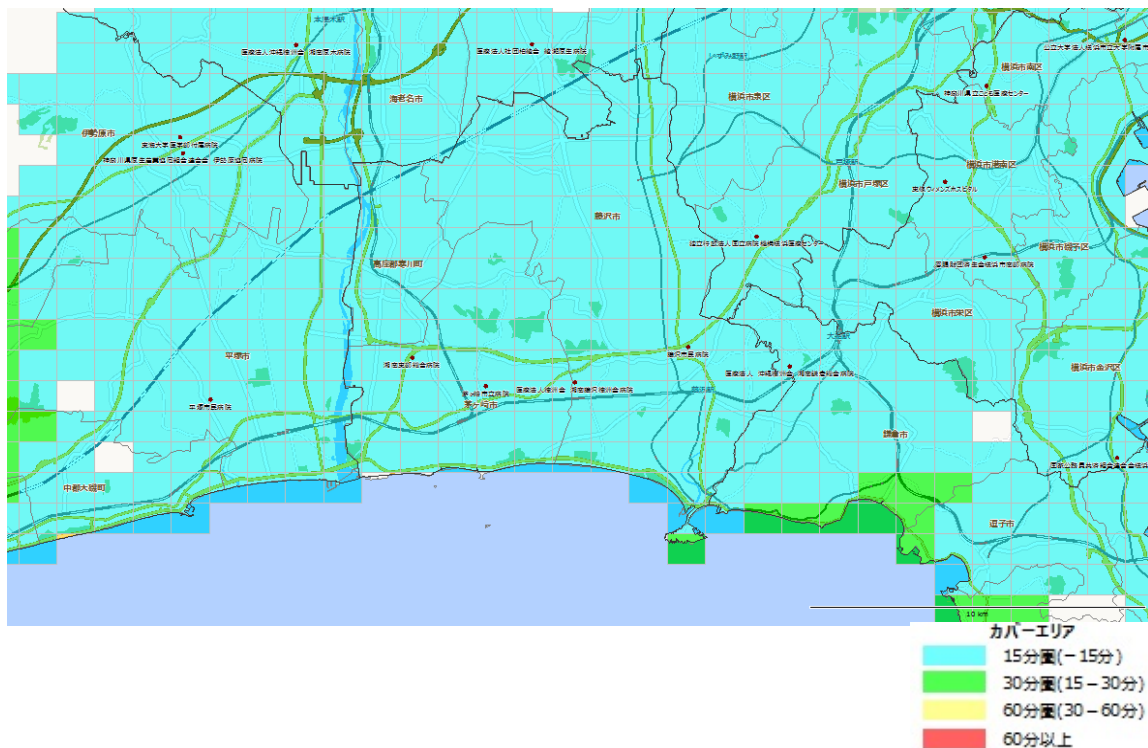
(湘南東部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

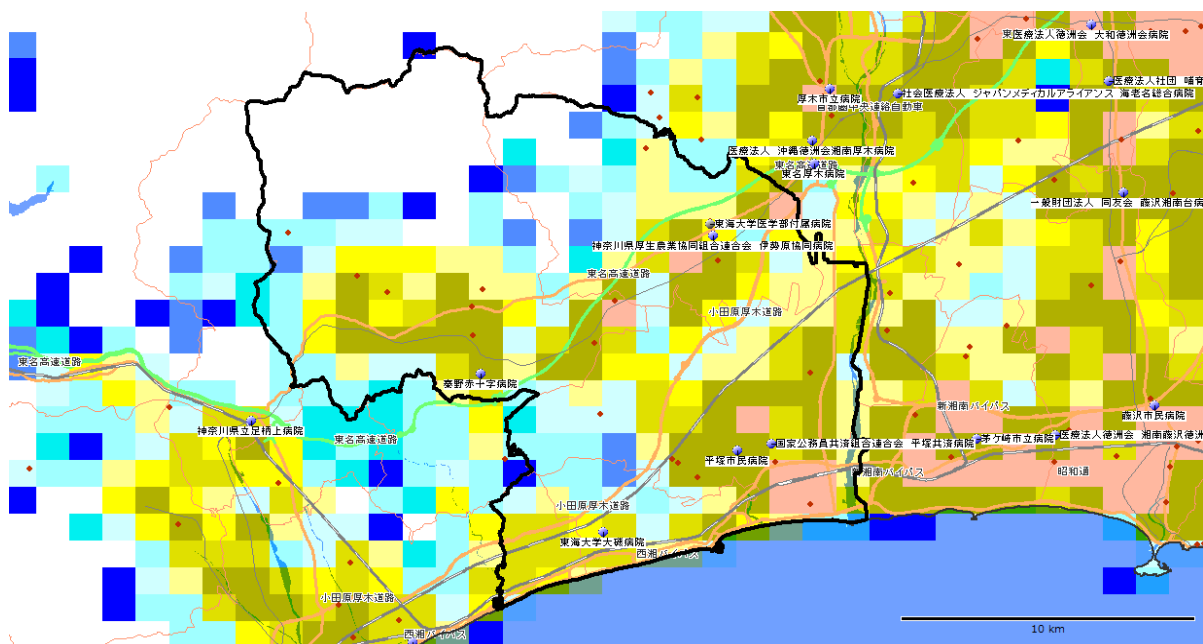


14-8. しょうなんせいぶ 湘南西部医療圏

構成市区町村 [平塚市](#) [秦野市](#) [伊勢原市](#) [大磯町](#)
[二宮町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(湘南西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 湘南西部(平塚市)は、総人口約587千人(2015年)、面積253km²、人口密度は2,317人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 湘南西部の総人口は2025年に560千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に490千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の67千人が、2025年にかけて106千人へと増加し(2015年比+58%)、2040年には108千人へと増加する(2025年比+2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 湘南西部の一人当たり医療費(国保)は334千円(偏差値47)、介護給付費は211千円(偏差値38)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 湘南西部の一人当たり急性期医療密度指数は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は0.67で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数52、診療所医師数32)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。湘南西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の平塚市民病院(Ⅲ群・救命)、平塚共済病院(Ⅲ群)、東海大学医学部付属病院(I群・救命)、1000例以上の伊勢原協同病院(Ⅲ群)、500例以上の秦野赤十字病院(Ⅲ群)、東海大学医学部付属大磯病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 湘南西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7,995人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,500床(偏差値42)、高齢者住宅等が4,495床(偏差値65)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,983人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム73、軽費ホーム59、グループホーム46、サ高住49である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値42と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、705人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-17%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(湘南西部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

湘南西部医療圏の総人口は、2005年590,691人が、2015年に587,047人と1%減少し、2025年の人口が560,205人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

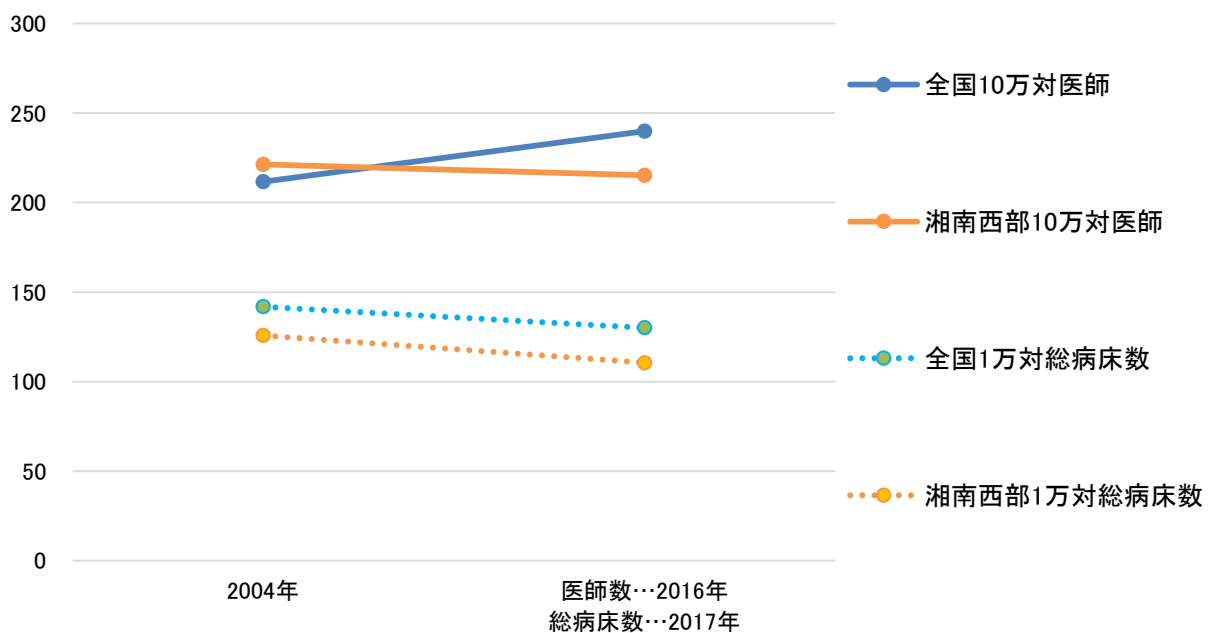
2004年の病院数が21(人口10万人当たり3.6病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2017年に22(人口10万人当たり3.7病院(全国平均6.6)偏差値44)となり、13年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が358(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2017年に385(人口10万人当たり66診療所(全国平均80)偏差値42)と、27診療所が増加した。

2004年の総病床数が7,430床(人口1万人当たり126(全国平均142)偏差値47)であったが、2017年に6,491床(人口1万人当たり111(全国平均130)偏差値46)と、939床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,307人(人口10万人当たり221人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2016年に1,264人(人口10万人当たり215人(全国平均240人)偏差値47)と、43人の減少、率にして3%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

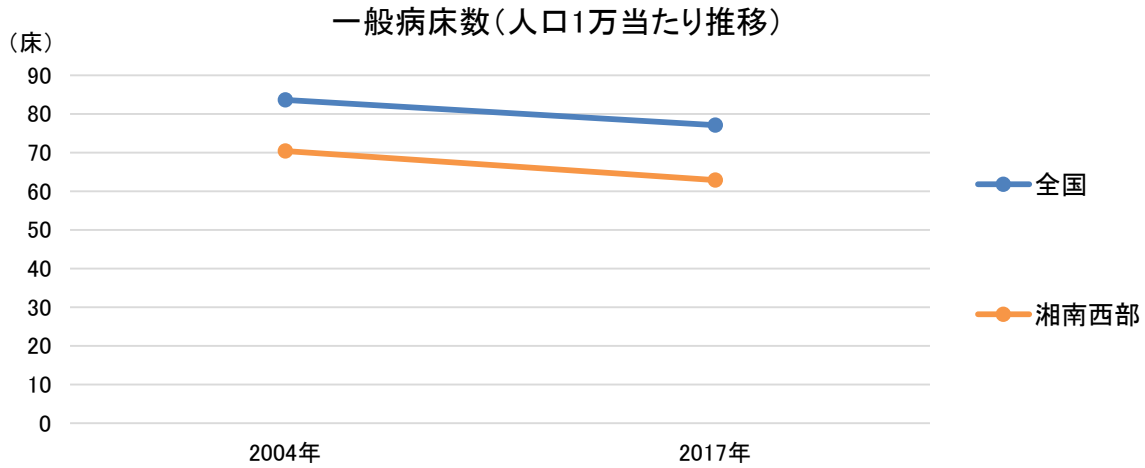
人口当たり医師数・総病床数の推移



14.神奈川県(2018年版)

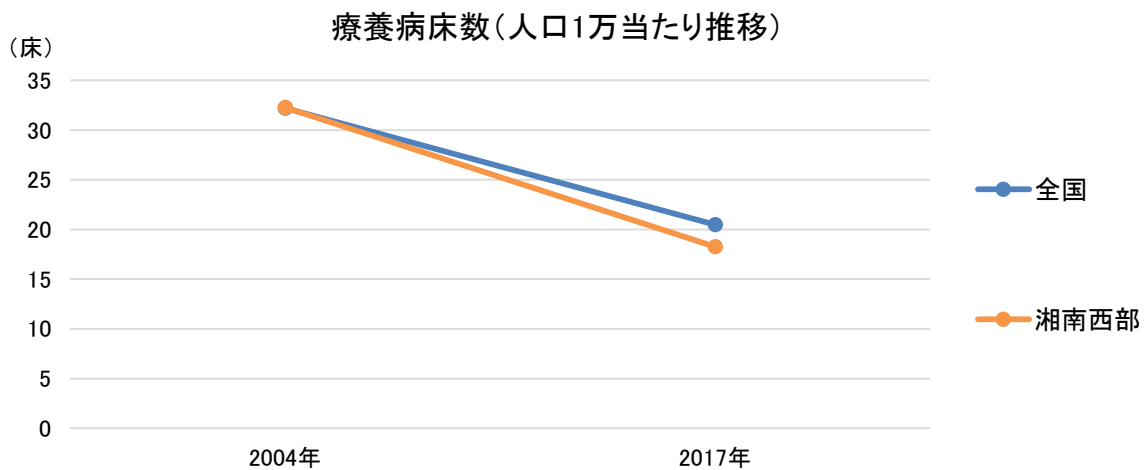
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4,159床(人口1万人当たり70(全国平均84)偏差値45)であったが、2017年に3,695床(人口1万人当たり63(全国平均77)偏差値45)と、464床の減少、率にして11%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



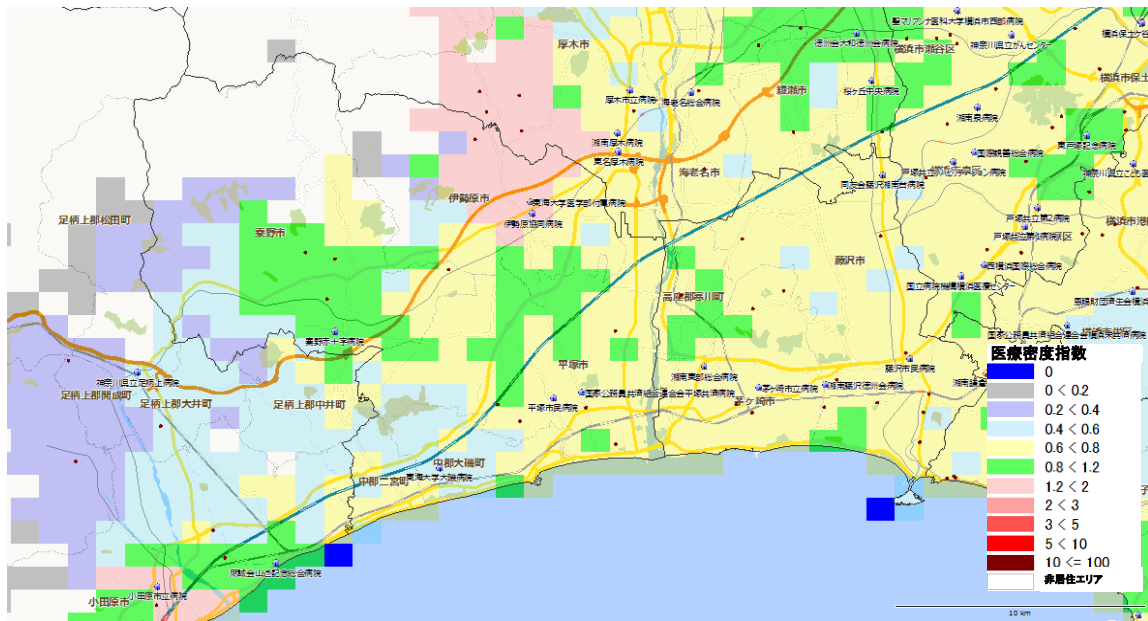
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,348床(75歳以上1,000人当たり32(全国平均32)偏差値50)であったが、2017年に1,232床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均20)偏差値48)と、116床の減少、率にして9%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



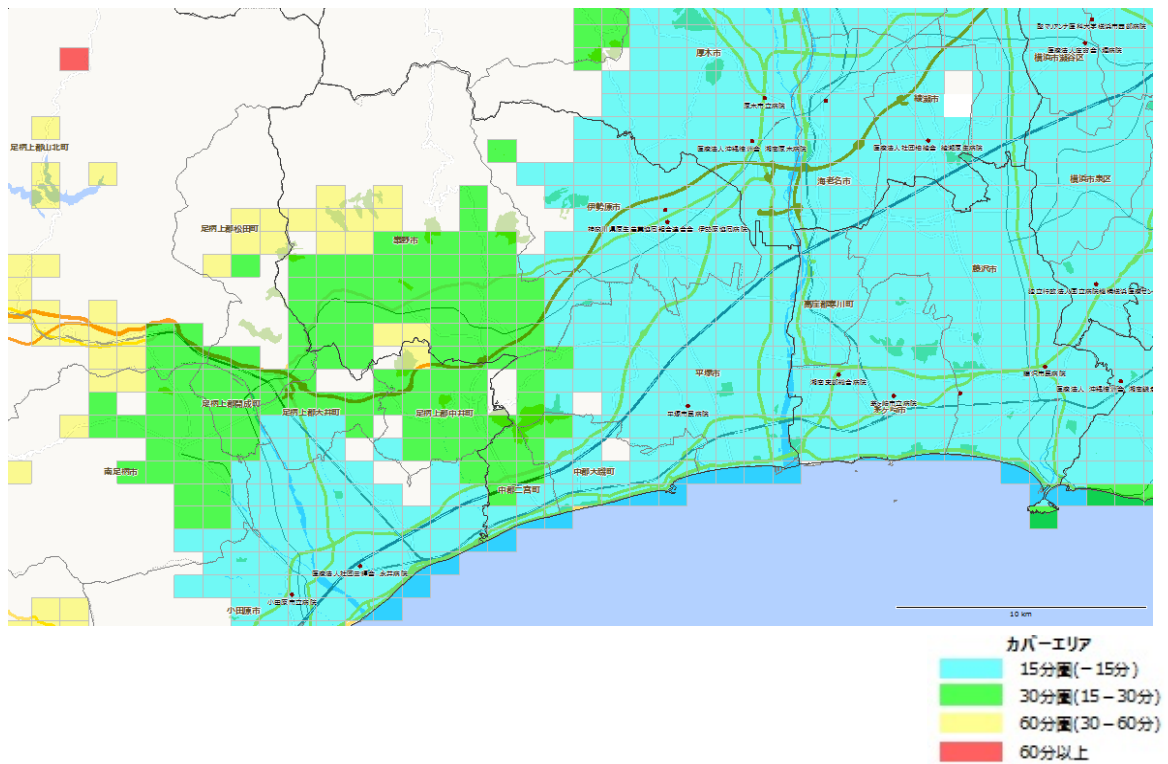
(湘南西部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-8-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

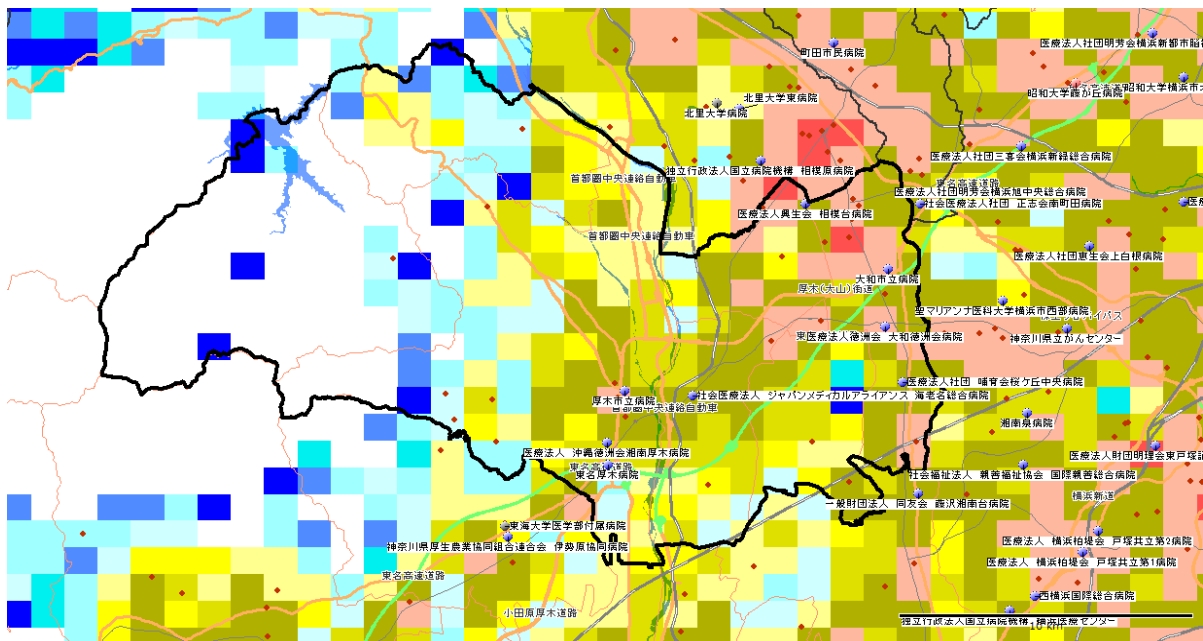


14-9. けんおう 県央医療圏

構成市区町村 [厚木市](#) [綾瀬市](#) [大和市](#) [愛川町](#) [海老名市](#) [清川村](#) [座間市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



(県央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県央(厚木市)は、総人口約846千人(2015年)、面積293km²、人口密度は2,888人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県央の総人口は2025年に833千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に767千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の82千人が、2025年にかけて134千人へと増加し(2015年比+63%)、2040年には135千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県央の一人当たり医療費(国保)は319千円(偏差値44)、介護給付費は195千円(偏差値33)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県央の一人当たり急性期医療密度指数は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数は0.93で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が38(病院医師数39、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は37と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。県央には、年間全身麻酔件数が2000例以上の海老名総合病院(Ⅲ群・救命)、大和市立病院(Ⅲ群)、1000例以上の厚木市立病院(Ⅲ群)、500例以上の相模台病院(Ⅲ群)、湘南厚木病院(Ⅲ群)、東名厚木病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,032人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,562床(偏差値45)、高齢者住宅等が4,470床(偏差値58)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,521人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム61、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム46、サ高住54である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、994人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-35%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(県央医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

県央医療圏の総人口は、2005年822,880人が、2015年に845,580人と3%増加し、2025年の人口が833,158人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に22%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

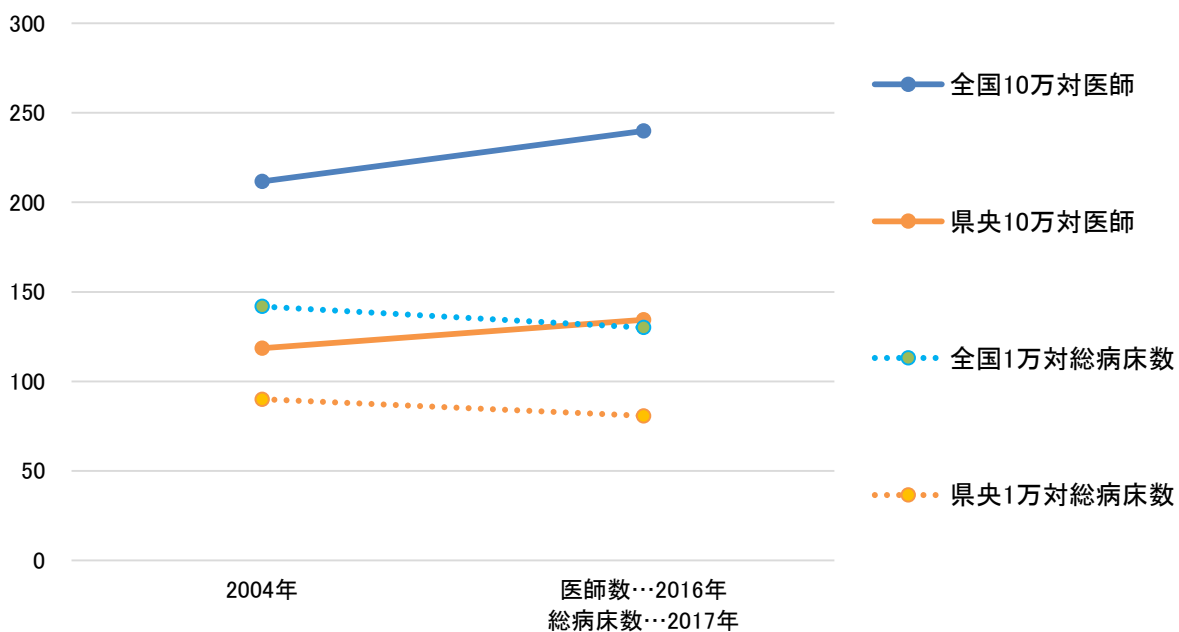
2004年の病院数が36(人口10万人当たり4.4病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2017年に32(人口10万人当たり3.8病院(全国平均6.6)偏差値44)となり、13年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が473(人口10万人当たり57診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2017年に541(人口10万人当たり64診療所(全国平均80)偏差値42)と、68診療所が増加した。

2004年の総病床数が7,409床(人口1万人当たり90(全国平均142)偏差値41)であったが、2017年に6,830床(人口1万人当たり81(全国平均130)偏差値41)と、579床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

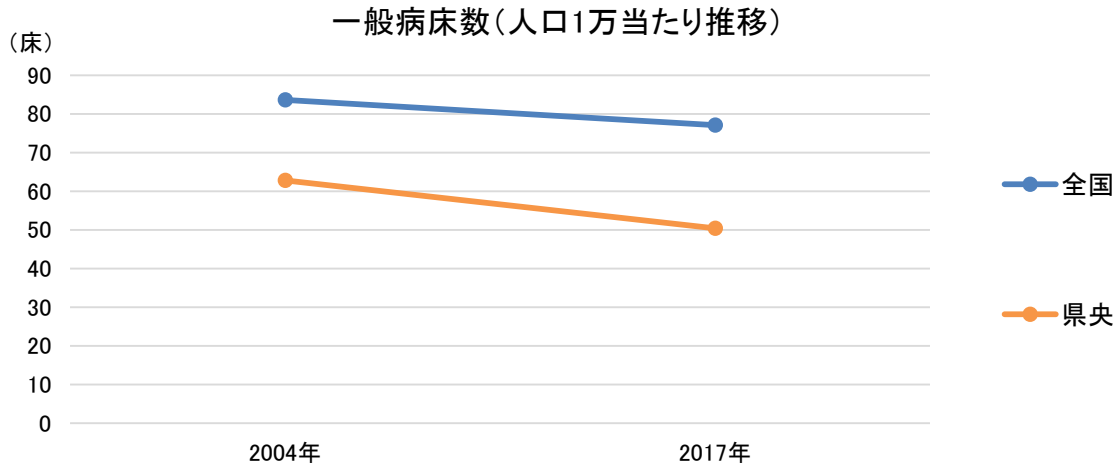
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が976人(人口10万人当たり119人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2016年に1,136人(人口10万人当たり134人(全国平均240人)偏差値38)と、160人の増加、率にして16%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



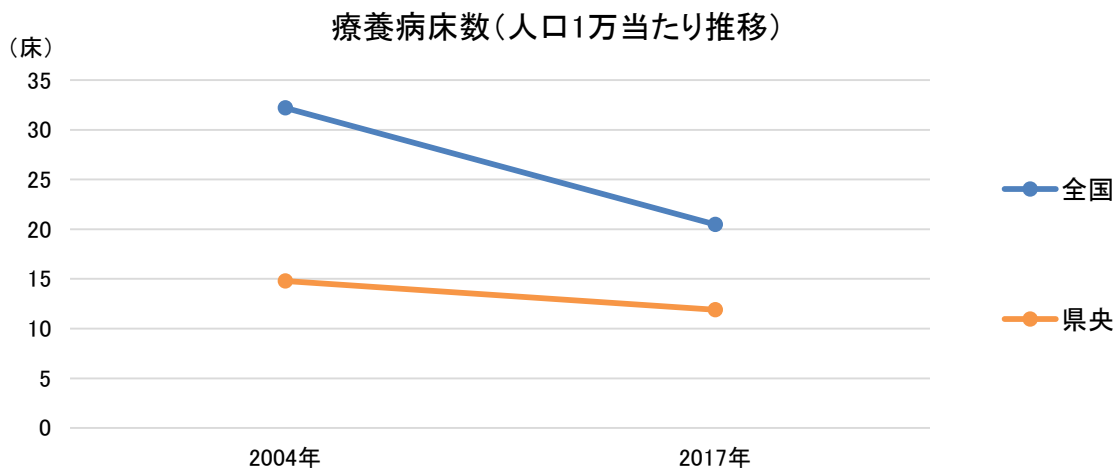
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5,171床(人口1万人当たり63(全国平均84)偏差値43)であったが、2017年に4,261床(人口1万人当たり50(全国平均77)偏差値40)と、910床の減少、率にして18%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



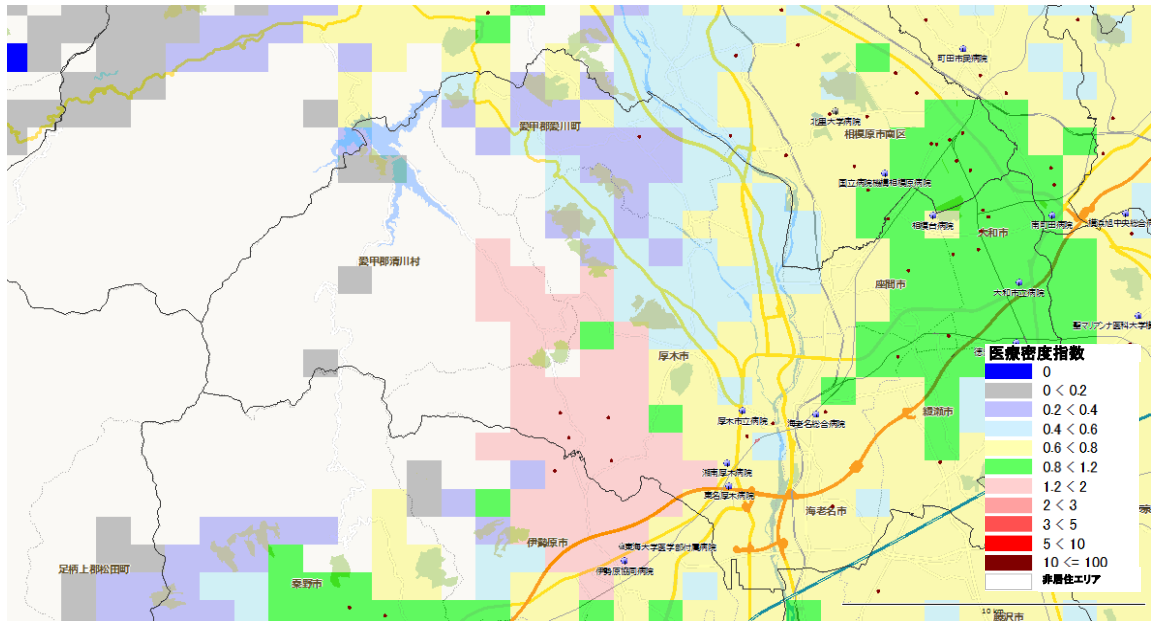
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が651床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均32)偏差値40)であったが、2017年に977床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均20)偏差値42)と、326床の増加、率にして50%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



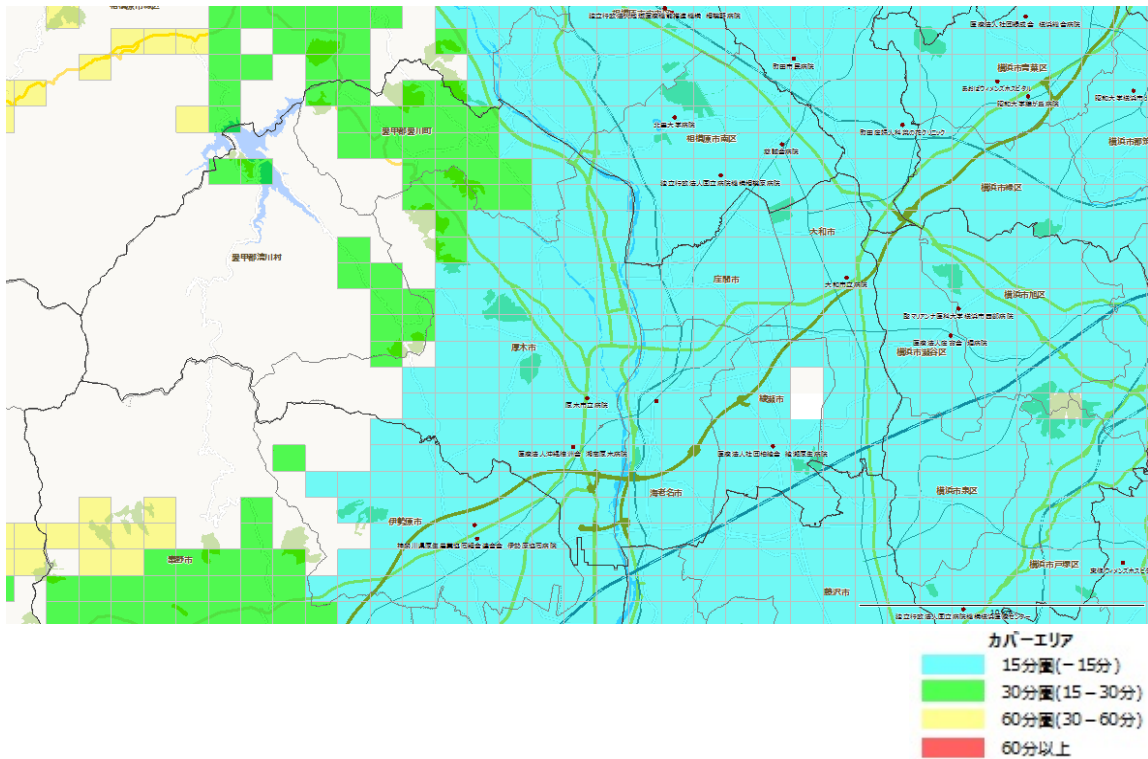
(県央医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-9-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

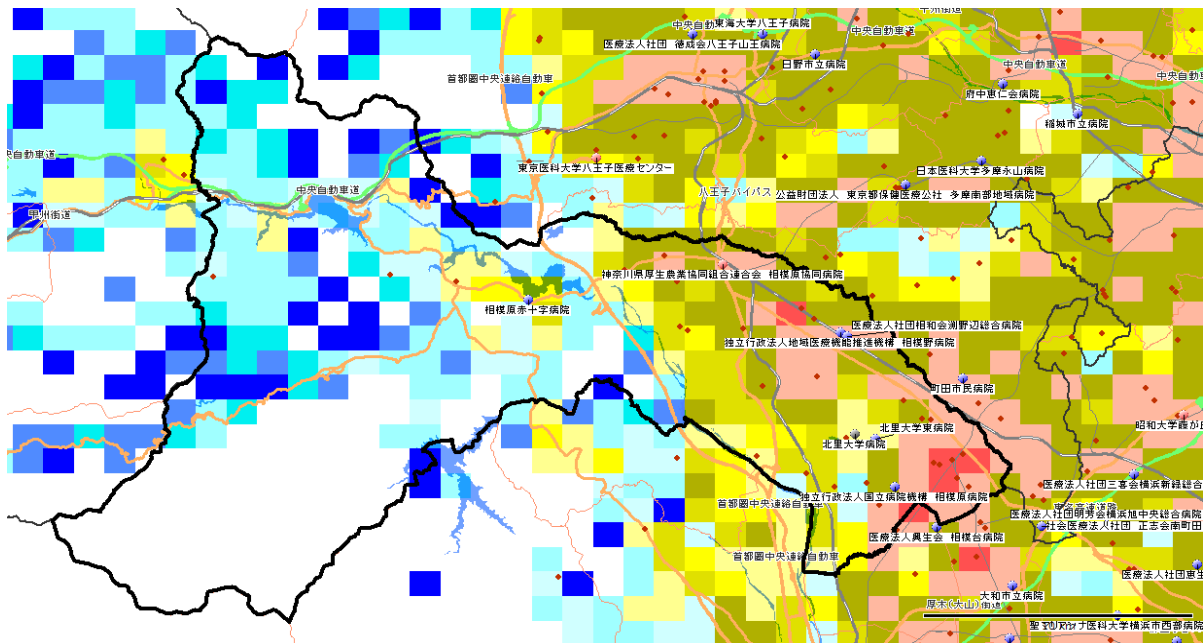


さがみはら 14-10. 相模原医療圏

構成市区町村 [緑区](#) [中央区](#) [南区](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(相模原医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 相模原(相模原市緑区)は、総人口約721千人(2015年)、面積329km²、人口密度は2,193人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 相模原の総人口は2025年に711千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に658千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の73千人が、2025年にかけて121千人へと増加し(2015年比+66%)、2040年には131千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 相模原の一人当たり医療費(国保)は319千円(偏差値44)、介護給付費は218千円(偏差値40)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 相模原の一人当たり急性期医療密度指数は0.64、一人当たり慢性期医療密度指数は0.82で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。
- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が49(病院医師数53、診療所医師数36)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。相模原には、年間全身麻酔件数が2000例以上のNH0相模原病院(Ⅲ群)、相模原協同病院(Ⅲ群)、北里大学病院(I群・救命)、500例以上のJCH0相模野病院(Ⅲ群)、渕野辺総合病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 相模原の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,422人(75歳以上1,000人当たりの偏差値65)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が5,180床(偏差値57)、高齢者住宅等が4,242床(偏差値60)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,385人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設64、有料老人ホーム62、軽費ホーム46、グループホーム57、サ高住49である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、991人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(相模原医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

相模原医療圏の総人口は、2005年701,630人が、2015年に720,780人と3%増加し、2025年の人口が710,539人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に22%増加し、2015年から2025年にかけて11%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

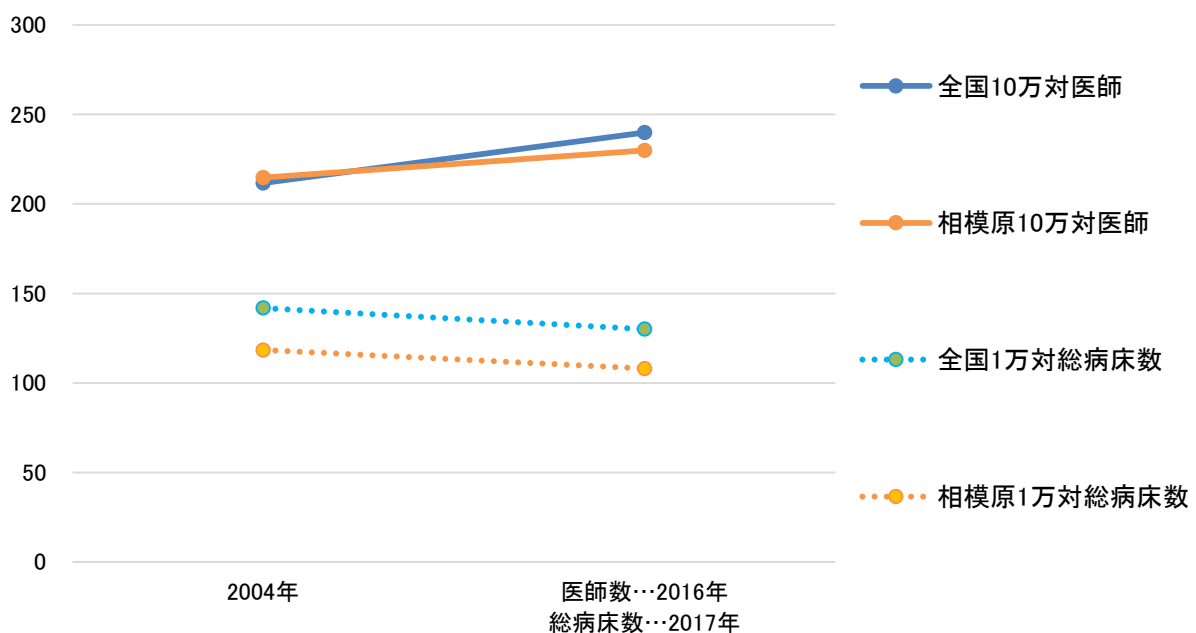
2004年の病院数が35(人口10万人当たり5病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2017年に37(人口10万人当たり5.1病院(全国平均6.6)偏差値47)となり、13年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が360(人口10万人当たり51診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2017年に419(人口10万人当たり58診療所(全国平均80)偏差値39)と、59診療所が増加した。

2004年の総病床数が8,304床(人口1万人当たり118(全国平均142)偏差値46)であったが、2017年に7,790床(人口1万人当たり108(全国平均130)偏差値46)と、514床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,507人(人口10万人当たり215人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2016年に1,657人(人口10万人当たり230人(全国平均240人)偏差値49)と、150人の増加、率にして10%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

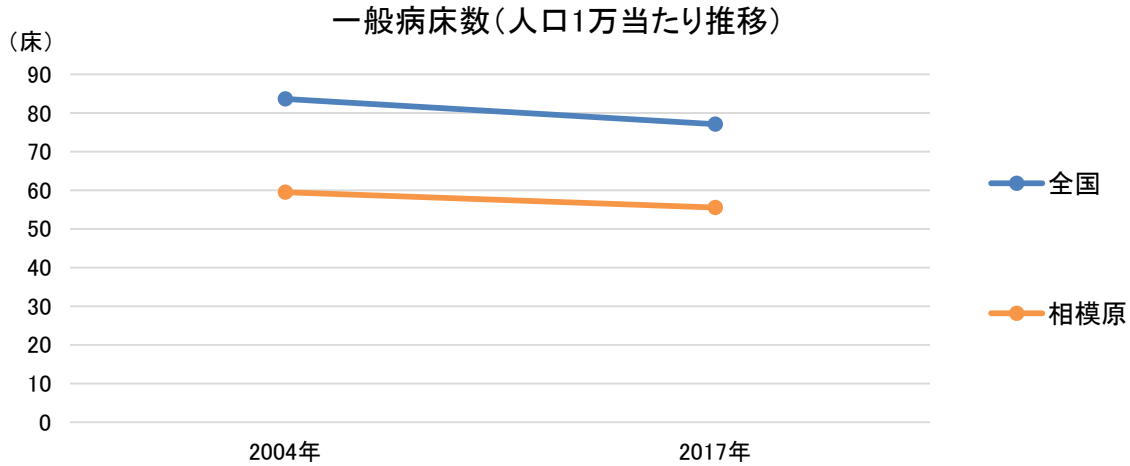
人口当たり医師数・総病床数の推移



14.神奈川県(2018年版)

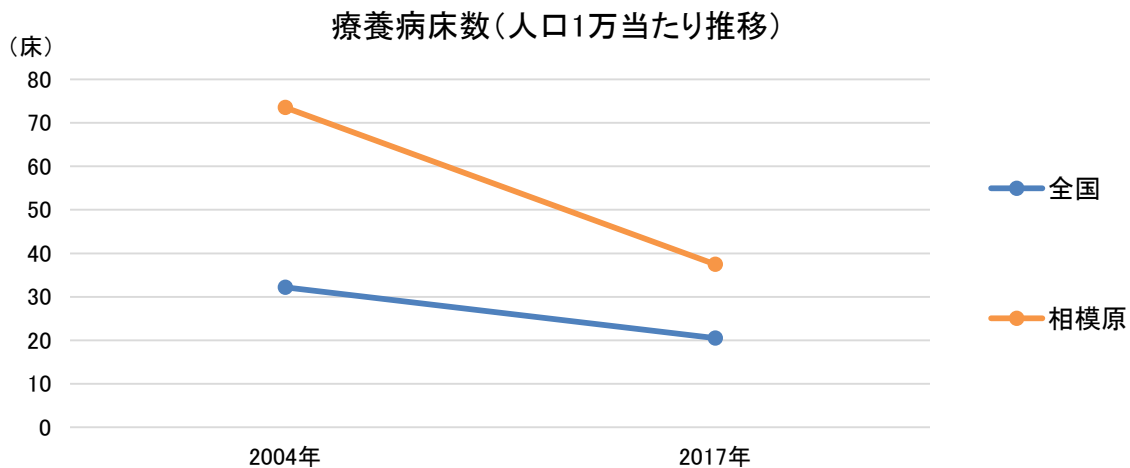
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4,175床(人口1万人当たり60(全国平均84)偏差値41)であったが、2017年に4,004床(人口1万人当たり56(全国平均77)偏差値42)と、171床の減少、率にして4%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



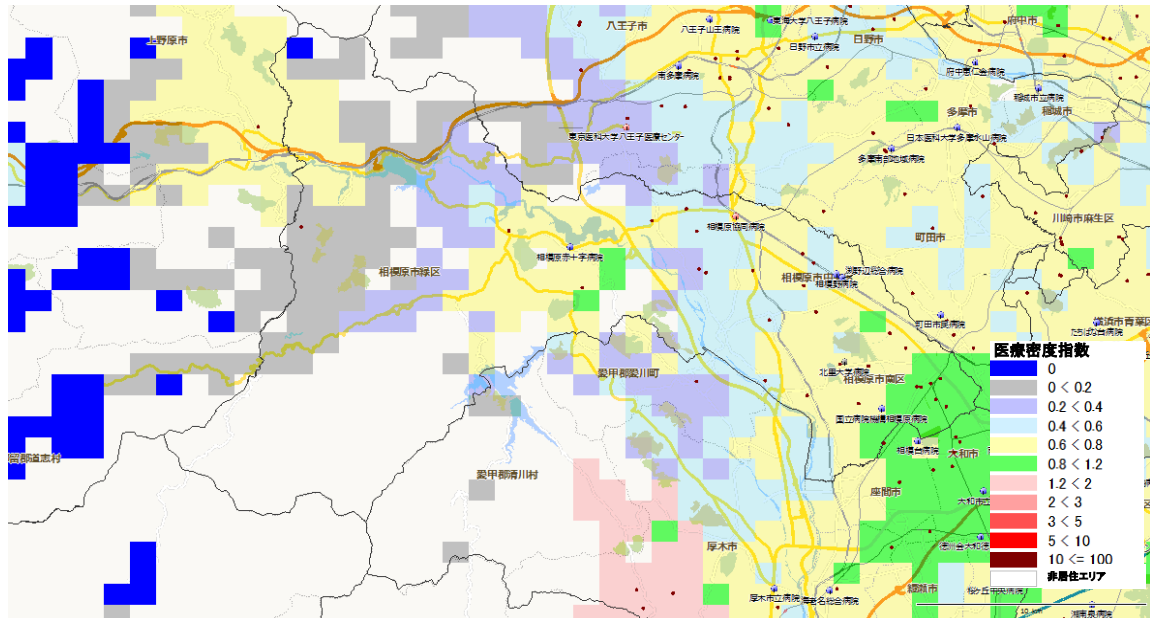
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2,923床(75歳以上1,000人当たり74(全国平均32)偏差値73)であったが、2017年に2,751床(75歳以上1,000人当たり37(全国平均20)偏差値65)と、172床の減少、率にして6%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



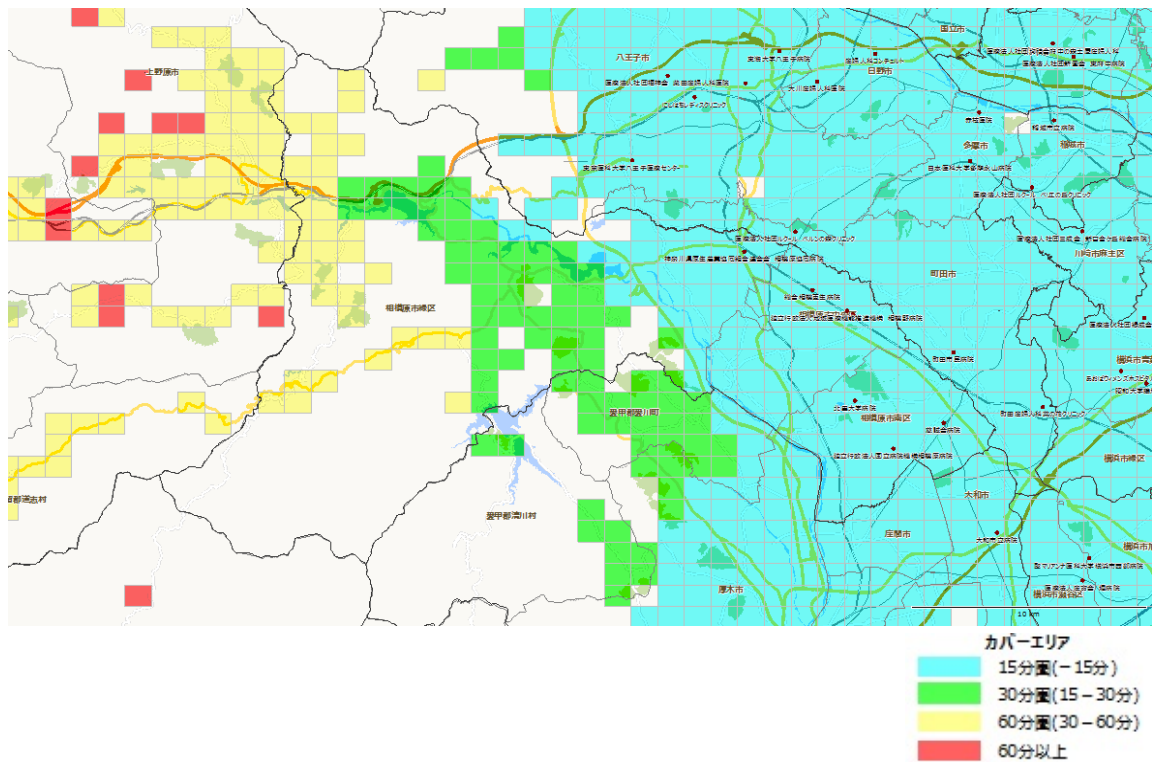
(相模原医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-10-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

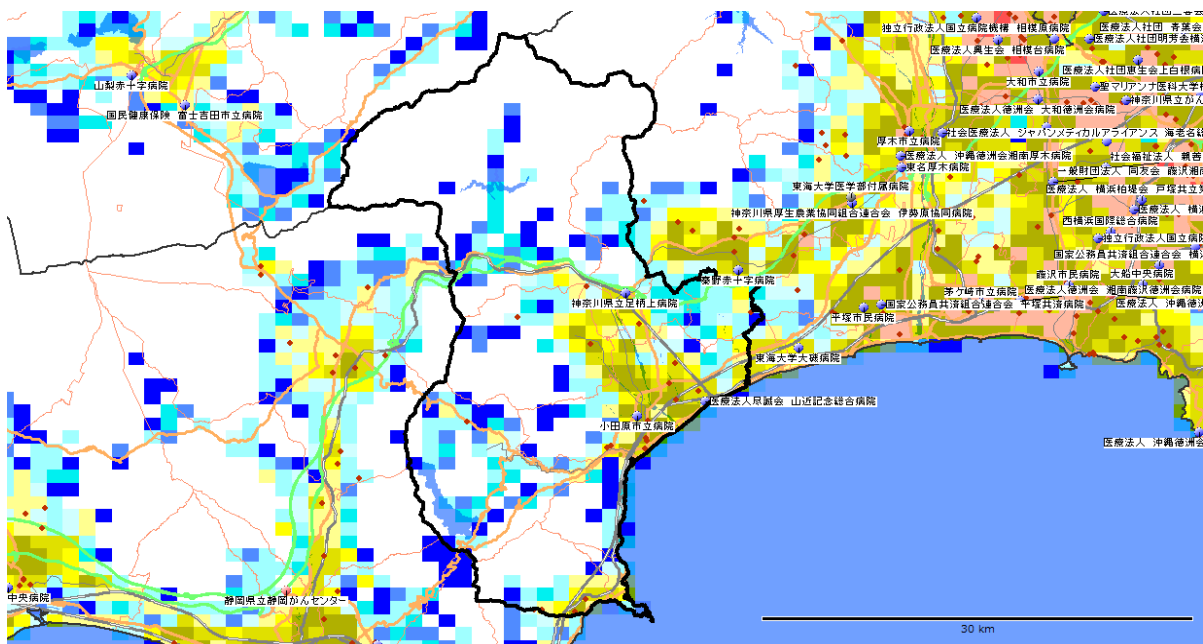


14-11. けんせい 県西医療圏

構成市区町村 [小田原市](#) [南足柄市](#) [中井町](#) [大井町](#)
[松田町](#) [山北町](#) [開成町](#) [箱根町](#)
[真鶴町](#) [湯河原町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(県西医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県西(小田原市)は、総人口約347千人(2015年)、面積635km²、人口密度は547人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県西の総人口は2025年に320千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に268千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の48千人が、2025年にかけて65千人へと増加し(2015年比+35%)、2040年には63千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県西の一人当たり医療費(国保)は353千円(偏差値51)、介護給付費は216千円(偏差値39)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県西の一人当たり急性期医療密度指数は0.68、一人当たり慢性期医療密度指数は1.01で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数42、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。県西には、年間全身麻酔件数が2000例以上の小田原市立病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の山近記念総合病院(Ⅲ群)、神奈川県立足柄上病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県西の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5,892人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,757床(偏差値46)、高齢者住宅等が3,135床(偏差値64)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,765人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム73、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム49、サ高住50である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、403人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+7%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(県西医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

県西医療圏の総人口は、2005年361,105人が、2015年に347,157人と4%減少し、2025年の人口が319,729人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に13%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

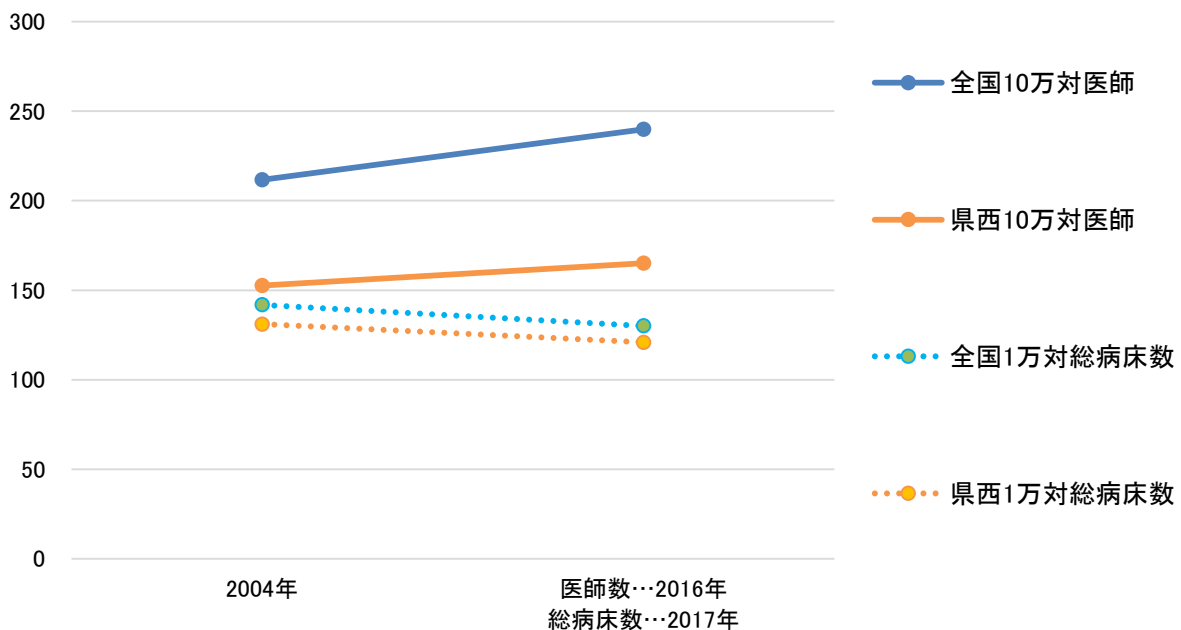
2004年の病院数が25(人口10万人当たり6.9病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2017年に23(人口10万人当たり6.6病院(全国平均6.6)偏差値50)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が251(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2017年に261(人口10万人当たり75診療所(全国平均80)偏差値48)と、10診療所が増加した。

2004年の総病床数が4,732床(人口1万人当たり131(全国平均142)偏差値48)であったが、2017年に4,198床(人口1万人当たり121(全国平均130)偏差値48)と、534床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

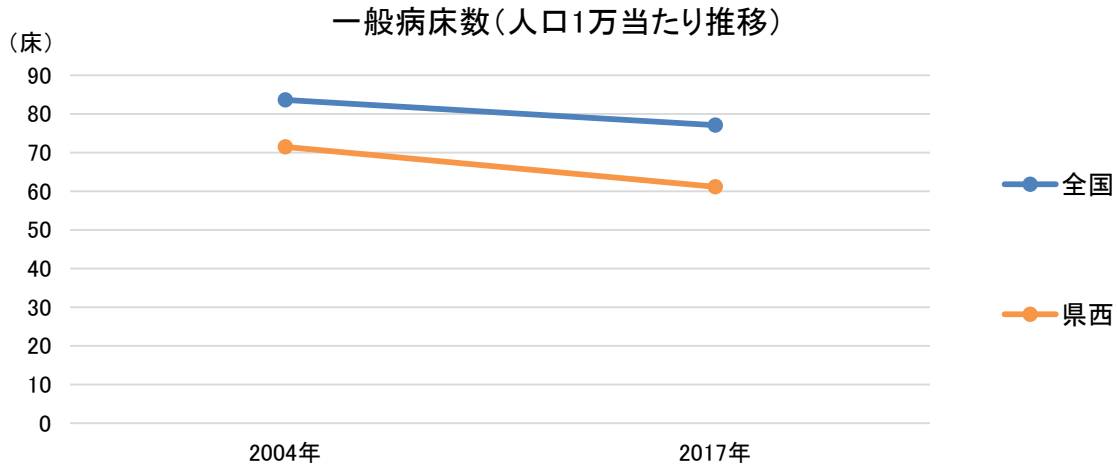
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が551人(人口10万人当たり153人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2016年に573人(人口10万人当たり165人(全国平均240人)偏差値42)と、22人の増加、率にして4%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



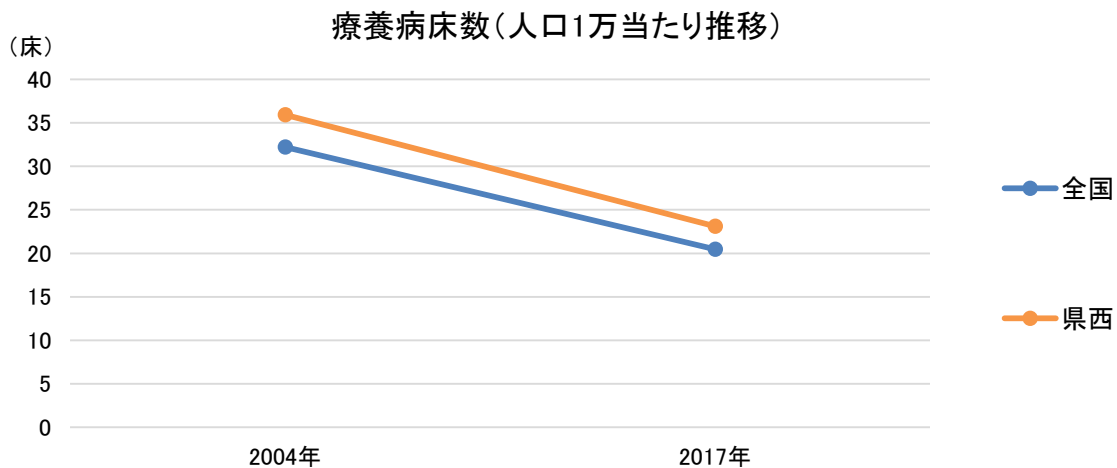
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,583床(人口1万人当たり72(全国平均84)偏差値46)であったが、2017年に2,124床(人口1万人当たり61(全国平均77)偏差値44)と、459床の減少、率にして18%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



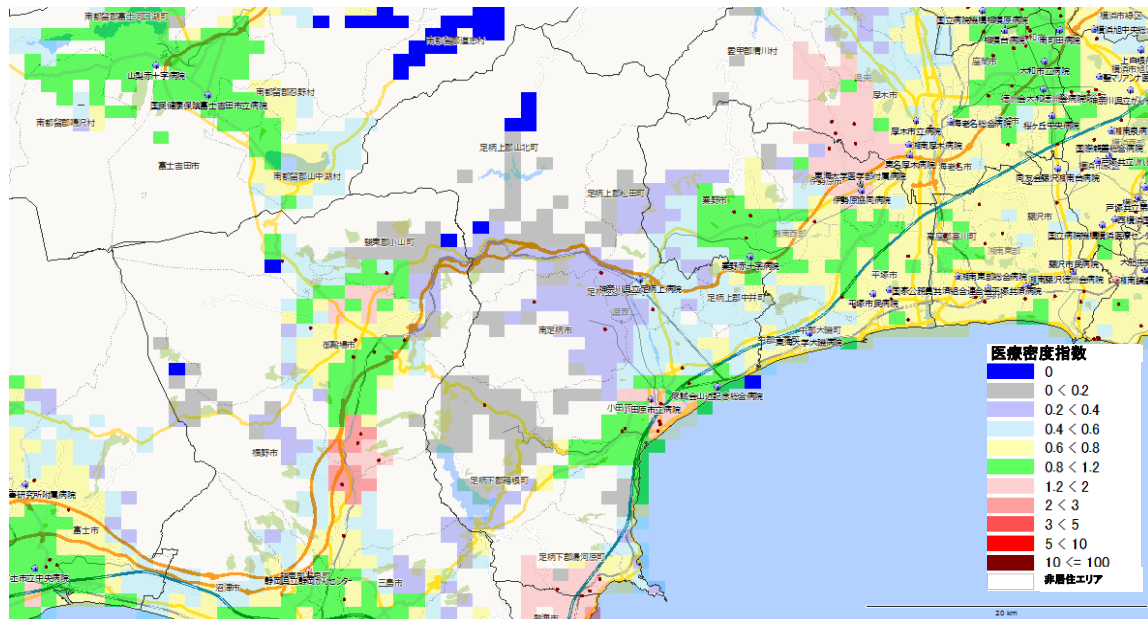
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,171床(75歳以上1,000人当たり36(全国平均32)偏差値52)であったが、2017年に1,119床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均20)偏差値52)と、52床の減少、率にして4%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



(県西医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-11-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-11-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

